この冊子の使い方

この冊子には、千里国際学園中等部･高等部で開講されている授業の情報が載せられています。授業の内容を調べたり、時間割を作る際の選択の助けに使ってください。

情報は、各教科ごとにまとめられており、

1. 国語科(中等部の書道も含む)
2. 数学科
3. 社会科
4. 理科
5. 英語科
6. 音楽科(芸術)
7. 美術科(芸術　高等部の書道も含む)
8. 保健体育科
9. 生活科学科
10. 情報科
11. 総合科
12. 第二外国語

という順序で載せられています。また、各教科のセクションの中では、低学年で履修する授業からの順で並べられています。冊子を閉じた状態で上から見ると、辞書のように各教科ごとに灰色の筋が入っていて、おおよその場所が、わかりやすくなっています。左から、「国語科」～という順序になっていて、最後が「総合科」です。「第二外国語」の部分には筋はありません。

中等部の 1 年生から 3 年生秋学期（第 1 学期から第 8 学期）まででは、あまり選択の幅は広くないので各授業の内容を知ることが中心になりますが、英語科、音楽科などでは選択の必要性もあります。

中等部 3 年冬学期以降、また高等部では、授業を選択する際はこの冊子をよく読んで、それぞれの授業がどのような内容なのか、いつ開講されているのか、また、自分はその授業を履修できるのかをよく調べてください。担当の先生、コース・アドバイザーの助けはもちろんありますが、自分の時間割を作るのは自分です。

この冊子が発行された後に、開講される授業が変更になる場合がありますので、学園のウエッブサイトの「開講科目」のページも確認してください。

http://www.senri.ed.jp/departments/curriculum2.htm

必修単位と卒業単位

中等部では、義務教育であり単位制ではないので、心配はありませんが、高等学校では文部科学省の定めた学習指導要領に則って、卒業までに必ず学習しなければならない科目（必修科目）と、必要な単位数が決められています。本校は、帰国生徒の編入生が多く、編入の時期によって、卒業までの必修と卒業単位数が変わってきます。それをまとめたのが下の表です。

【表の見方】

1. 表の一番上から自分の本校に入学した時期をみつけてください。
2. その部分を縦に見ると、自分にとって卒業までに履修すべき必修科目とその単位数がわかります。一番下の欄の「卒業までに必要な総単位数」は自由選択科目も含めた総単位数になっています。
3. 高 1 の始めから入学の場合は、全てが必要（必修 39 単位、その他を含めて合計 80 単位）であるのでまったく問題はありませんが、編入生の場合、短い在校期間で全ての必修をとり終えることは不可能なので、他校で「履修済み」という処置をとります。その際に、自分の編入時期によって、必修科目と単位数が変わってくるので、上の表の編入時期に従って、縦に表を見て確認してください。例えば、高 2 春学期からの編入の場合、＜世界史から 2 単位、日本史・地理のいずれかから 2 単位、体育の 4 単位、家庭基礎の 2 単位＞の合計 10 単位が必修、そして卒業までに、必修単位を含めて、合計 50 単位を本校で取得することが必要となります。ここにあげた単位数は最低限であるので、もちろん、必要･余裕があれば、より多くの単位をとることは可能です。

入学・編入学の時期による本校高等部の(最低限の)必修単位と卒業単位

教科	科目名(校内)	科目名(調査書)	高1春	高1秋	高1冬	高2春	高2秋	高2冬	高3春	高3秋		留学の場合 *3 高1～高2	留学の場合 *3 高2～高3
国語	国語総合1,2	国語総合	4	4	2						*1	2	4
地歴	世界史A1～A4	世界史A	2	**2**	**2**	2	2					2	2
	日本史A1～A4	日本史A	2	**2**	**2**	2							
	地理	地理A											
公民	比較文化	現代社会+総合(比較文化)	3	2	1								
数学	数学Ⅰα	数学Ⅰ	2	2							*2		
	数学Ⅰβ	数学Ⅰ	2										
	数学基礎	数学基礎	(2)	(2)	(2)								
理科	物理Ia, Ib	物理Ⅰ	2	2	2								
	化学I-2	化学Ⅰ											
	生物I-2	生物Ⅰ											
	地学Ia,b,c	地学Ⅰ											
	総合理科 / 理科総合A, B, 理科基礎		2										
保健体育	体育	体育	7	6	5	4	3	2	1			4	4
	保健	保健	2	2	1								
芸術	さまざま	音楽Ⅰ	2	1									
	さまざま	美術Ⅰ											
	さまざま	書道Ⅰ											
英語	さまざま	英語Ⅰ orｵｰﾗﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	2	2									
家庭	HFL4	家庭基礎	2	2	2	2	**2**	2	2			2	
情報	さまざま	情報B, C	2										
総合的な学習	さまざま	総合的な学習	3	2	1								
卒業までに必要な総単位数			80	70	60	50	40	30	20	10	*4	80-(x+y)	80-(x+y)

表の中の、■の部分は、履修が不可能な時期を、⊡の部分は、履修可能であるが難しい時期をあらわす。カッコで複数の科目が示されている部分は、選択必修(必修以外の選択科目の中で、特定の分野又は科目の中から所定の単位数を修得しなければならないものをいいます)を表します。

*1　高 1 冬学期以降の国語総合の履修は、プレイスメント･テストの結果と進路も考慮に入れます。(例

えば入試で国語が必要な場合は 1,2 を履修し、さらに学習を継続するのが望ましい)

*2　数学Ｉの 4 単位か、数学基礎の 2 単位が必修単位。数学基礎の授業は冬学期にのみ開講されます。

*3　各科目の単位数は、留学前に本校で取得したものも含みます。(ex.国語総合は 2 単位が必修と書かれているが、留学前に二単位取得していれば、終了したものとしてもよい）この表は秋学期から翌年の春学期にかけての期間（米国、英国など）を想定しているが、留学先によって期間が違う(豪州など）場合がある。その際は、個別に担任、コース･アドバイザーなどに相談してください。

*4　x は、以前に本校で取得した単位数　y は留学中に認定された単位数（留学中の成績などを元に、一年あたり最大 30 単位(各学期最大 10 単位)が与えられます。

学期完結制について

千里国際学園では、4～6 月の春学期、9～11 月の秋学期、12～3 月の冬学期の三学期制をとっており、各学期には 60 日の授業日がある。また、高等部ではほとんどの授業が、各学期毎に完結して、成績・単位を認定する制度をとっている。これが、学期完結制だ。学期完結制（Term Course System）と呼ばれる本校のシステムには下記の 3 本の柱となる特徴がある。

【学期完結制】

1 年間を 60 授業日の均等な 3 学期に分け、学期ごとに完結する授業を置いて単位を認定する。日本の学校の始まり：4 月、 OIS（併設校の大阪インターナショナルスクール）など欧米の学校の始まり：9 月、 そして 12 月と、1 年に 3 回の新しいスタートが切れることにより、世界各地からの帰国生や編入生そして留学をする生徒達の学習がなめらかに積み上げられていく。また、授業を学期単位に分割したことにより、必修科目が無駄なく最小限に押さえられるので、取りたい科目をより自由に選択する幅がひろがる。更に、OIS も同じ流れのカレンダーで動いているので、合同授業や交換授業を増やしていくことができる。

【自由選択制】

1 学期の中で効率良く授業を組むために、全授業時間を 7 つのブロックに分け、それぞれに学校が提供する授業を散りばめて置いた。そのブロックごとに、生徒達がそれぞれ、自分の取りたい授業を選ぶ。それでこそ活気ある教室が生まれ、教師の創意工夫が更に引き出される。今まで通りの、無難な、与える授業やカリキュラムでいいのだろうか。もっと主体的に自分自身で選び取るカリキュラムがあってもいいはずだ。学校の思想が反映されたカリキュラムを与えるのではなく、生徒達に自分のカリキュラムを創らせる学校も独自の思想を持つということができるのではないか。もちろん生徒達は授業選択の中で失敗し、試行錯誤を繰り返すこともあるだろうが、将来を考えながら学習計画を組み立てていくうちに、少しずつ自分を見つけることになる。

進路の変更に対応し易いのは言うまでもない。学校の決めたカリキュラムのベルトコンベアーに運ばれて卒業まで来てしまうのでは、その先の進路も他人のものさしを借りることになるかもしれない。

【無学年制】

幅広い選択肢の中から、取りたい授業を、取りたい時に、選ぶとしたら、それはもう横並びになるはずはない。一般の学校では非常に抵抗が大きいであろうが、本校ではこれを乗り越えた。多くの人々がこのシステムの意義を理解してくれたからだと思う。海外現地校から来た生徒達に最も適合する授業が 1 学年の枠に収まるはずがない。日本人学校や国内からの生徒達も大変個性的だ。生徒ひとりひとりの個性を生かすためには、学年の枠を外すことが必要になることもある。

できるだけ選択の幅をひろげ、今学期取れなければ、次の学期、そうでなければ来年というように、選択の機会を繰り返すためには、学期完結制、自由選択制、無学年制の組み合わせが効力を発揮する。

必修科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
国語	JNL	JN178B	基礎国語 Basic JNL
国語	JNL	JN107	国語1 JNL1
国語	JNL	JN108	国語2 JNL2
国語	JNL	JN109	国語3 JNL3
国語	JNL	JN31m	国語総合1(現) HS JNL1 modern Japanese
国語	JNL	JN31c	国語総合1(古) HS JNL1 classics
国語	JNL	JN32m	国語総合2(現) HS JNL2 modern Japanese
国語	JNL	JN32c	国語総合2(古) HS JNL2 classics
国語	JNL	JN107CAL	G7書写 G7 Calligraphy
社会	Social Studies	SS1BSS1	基礎社会1 Basic Social Studies 1
社会	Social Studies	SS1BSS2	基礎社会2 Basic Social Studies 2
社会	Social Studies	SS1BSS3	基礎社会3 Basic Social Studies 3
社会	Social Studies	SS1CC	比較文化 Comparative Culture
数学	Mathematics	MA1MS1	中学数学1 MS Mathematics 1
数学	Mathematics	MA1MS2	中学数学2 MS Mathematics 2
数学	Mathematics	MA1MS3	中学数学3 MS Mathematics 3
理科	Science	SC1BS	基礎理科 Basic Science
理科	Science	SC1CH	理科(化学分野) Science (Chemistry)
理科	Science	SC1BI	理科(生物分野) Science(Biology)
理科	Science	SC1PH	理科(物理分野) Science (Physics)
理科	Science	SC19ES	G9地学 G9 Earth Science
理科	Science	SC1GS	一般理科 General Science
英語	English	EN17sE	Grade 7 English s (E)
英語	English	EN17sJ	Grade 7 English s (J)
英語	English	EN18sE	Grade 8 English s (E)
英語	English	EN18sJ	Grade 8 English s (J)
英語	English	EN178iE	Grade 7/8 i (E) English
英語	English	EN178iJ	Grade 7/8 i (J) English
英語	English	EN178hE	Grade 7/8 h (E)

必修科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
英語	English	EN178hJ	Grade 7/8 h (J) English
英語	English	EN178hpE	Grade 7/8 h+(E)
英語	English	EN178hpJ	Grade 7/8 h+(J) English
芸術	Art	AR307	Grade Seven Art
芸術	Art	AR308	Grade Eight Art
保健体育	PE/Health	PE3HE1	保健Ⅰ Health 1
保健体育	PE/Health	PE3HE2	保健Ⅱ Health 2
保健体育	PE/Health	PE3MS0	MS0
保健体育	PE/Health	PE3MS1	PE MS1
保健体育	PE/Health	PE3MS2	PE MS2
保健体育	PE/Health	PE3MS3	PE MS3
保健体育	PE/Health	PE3MS4	PE MS4
保健体育	PE/Health	PE3HS1	PE HS1
保健体育	PE/Health	PE3HS2	PE HS2
保健体育	PE/Health	PE3HS3	PE HS3
生活科学	Home and Family Life	HF1HFL1	生活科学1 Home and Family Life 1
生活科学	Home and Family Life	HF1HFL2	生活科学2 Home and Family Life2
生活科学	Home and Family Life	HF1HFL3	生活科学3 Home and Family Life3
生活科学	Home and Family Life	HF1HFL4	生活科学4 Home and Family Life 4
情報	IT	CS107a	コンピューター基礎 7 Computer Basics 7
情報	IT	CS1B	コンピュータ基礎 Computer Basics
情報	IT	CS1BM	コンピュータ基礎 Computer Basics
総合	Integrated Studies	EX1SE	知の探検隊 Study Explorers
総合	Integrated Studies	EX1SES	知の探検隊 理科編 Study Explorers for Science
総合	Integrated Studies	EX15RES	5リスペクト 5 Respects
総合	Integrated Studies	EX1HE7r	からだ探検 G7 Integrated Health
総合	Integrated Studies	EX1HE8	自分で作る「からだ」G8 Integrated Health
総合	Integrated Studies	EX1HE3	自分で守る「からだ」G9 Integrated Health

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
国語	JNL	JN3m0	現代文0 Modern Japanese 0
国語	JNL	JN3c0	古典0 Classics 0
国語	JNL	JN3m1	現代文1 Modern Japanese 1
国語	JNL	JN3c1	古典1 Classics 1
国語	JNL	JN3m2a	現代文2a Modern Japanese 2a
国語	JNL	JN3c2a	古典2a Classics 2a
国語	JNL	JN3m2b	現代文2b Modern Japanese 2b
国語	JNL	JN3c2b	古典2b Classics 2b
国語	JNL	JN3m3a	現代文3a Modern Japanese 3a
国語	JNL	JN3m3b	現代文3b Modern Japanese 3b
国語	JNL	JN3m3c	現代文3c Modern Japanese 3c
国語	JNL	JN3c3a	古文3a Japanese Classics 3a
国語	JNL	JN3c3b	古文3b Japanese Classics 3b
国語	JNL	JN3c3c	古文3c Japanese Classics 3c
国語	JNL	JN3k3a	漢文3a Chinese Classics 3a
国語	JNL	JN3k3b	漢文3b Chinese Classics 3b
国語	JNL	JN3m3s1	現代文演習1 Mondern Japanese Seminar 1
国語	JNL	JN3m3s2	現代文演習2 Mondern Japanese Seminar 2
国語	JNL	JN3m3s3	現代文演習3 Mondern Japanese Seminar 3
国語	JNL	JN3c3s1	古典演習1 Classics Seminar 1
国語	JNL	JN3c3s2	古典演習2 Classics Seminar 2
国語	JNL	JN3c3s3	古典演習3 Classics Seminar 3
国語	JNL	JN3e	小論文 Composition
社会	Social Studies	SS1WHA1	世界史A1 World History A1
社会	Social Studies	SS1WHA2	世界史A2 World History A2
社会	Social Studies	SS1WHA3	世界史A3 World History A3
社会	Social Studies	SS3IBH1	世界史A4 (IB Histry) World History A4 (IB History)
社会	Social Studies	SS1JHA1	日本史A1 Japanese History A1

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
社会	Social Studies	SS1JHA2	日本史A2 Japanese History A2
社会	Social Studies	SS1JHA3	日本史A3 Japanese History A3
社会	Social Studies	SS3IBH2	日本史A4 (IB Histry) Japanese HistoryA4 (IB History)
社会	Social Studies	SS1GEO	地理学 Geography
社会	Social Studies	SS1PE	政治･経済 Politics/Economics
社会	Social Studies	SS1REL	宗教学 Religion
数学	Mathematics	MA1BM	数学基礎 Basic Mathematics
数学	Mathematics	MA11a	数学Ⅰα Math I Alpha
数学	Mathematics	MA11b	数学Ⅰβ Math I Beta
数学	Mathematics	MA12c	数学Ⅱγ Math II Gamma
数学	Mathematics	MA1Ar	数学A Math A
数学	Mathematics	MA12a	数学Ⅱα Math II Alpha
数学	Mathematics	MA12b	数学Ⅱβ Math II Beta
数学	Mathematics	MA1Br	数学B Math B
数学	Mathematics	MA13a	数学Ⅲα Math III Alpha
数学	Mathematics	MA13b	数学Ⅲβ Math III Beta
数学	Mathematics	MA1C	数学C Math C
数学	Mathematics	MA11APS	数学ⅠA演習S Math IA Practice S
数学	Mathematics	MA11APH	数学ⅠA演習H Math IA Practice H
数学	Mathematics	MA12BPS	数学ⅡB演習S Math IIB Practice S
数学	Mathematics	MA12BPH	数学ⅡB演習H Math II B Practice H
数学	Mathematics	MA13CP	数学ⅢC演習 Math III C Practice
数学	Mathematics	MA1MR	数学講読 Math Reading
数学	Mathematics	MA1PM	物理数学 Physics Math
数学	Mathematics	MA1PP	プログラミング演習 Programming with graphing calculator
数学	Mathematics	MA1ST	統計学 Statistics
数学	Mathematics	MA1P	数学的思考力を鍛える演習 Mathematics Seminar
数学	Mathematics	MA1IBME	IB Math Extraction IB Math Extraction
数学	Mathematics	MA1BMM	数学基礎 Basic Mathematics

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
数学	Mathematics	MA11aM	数学Ⅰα Math I Alpha
数学	Mathematics	MA11bMS	数学Ⅰβ Math I Beta
数学	Mathematics	MA1ArM	数学A Math A
数学	Mathematics	MA1MRM	数学講読 Math Reading
理科	Science	SC1IS	総合理科 Integrated Science
理科	Science	SC1SBd	理科基礎 Scientific Base
理科	Science	SC1ISAc	理科総合A Integrated Science A
理科	Science	SC1CH12r	化学Ⅰ2(無機・有機) Chemistry Ⅰ2 (Inorganic, Organic)
理科	Science	SC1CH21	化学Ⅱ1 Chemistry II 1
理科	Science	SC1CH22	化学Ⅱ2 Chemistry II 2
理科	Science	SC1CHS	化学演習 Chemistry Seminar
理科	Science	SC1ISB	理科総合B Integrated Science B
理科	Science	SC1BI12	生物Ⅰ2(生物探求) Biology Ⅰ2 (Bio Investigations)
理科	Science	SC1BI2a	生物Ⅱa(生命・進化) Biology II a(Life)
理科	Science	SC1BI2b	生物Ⅱb Biology II b
理科	Science	SC1BIS	生物演習 Biology Seminar
理科	Science	SC1BIR	生物自由研究 Biology Research
理科	Science	SC1PH1A	物理Ⅰa(波動・電気) Physics Ⅰa
理科	Science	SC1PH1B	物理Ⅰb(力学・熱) Physics Ⅰb
理科	Science	SC1PH21	物理Ⅱ1 Physics II 1
理科	Science	SC1PH22r	物理Ⅱ2 Physics II 2
理科	Science	SC1PHSP	物理特論 Physics Special Lecture
理科	Science	SC1PHS	物理演習 Physics Seminar
理科	Science	SC1ESA	地学a (地球) Earth Science - a (The Earth)
理科	Science	SC1ESB	地学b (気象・海洋) Earth Science - b (Meteorology)
理科	Science	SC1ESC	地学c (宇宙) Earth Science - c (Universe)
理科	Science	SC1ESS	地学演習 Earth Science - Semi.
理科	Science	SC1ISM	総合理科 Integrated Science
理科	Science	SC1ISAcM	理科総合A Integrated Science A

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
理科	Science	SC1ISBM	理科総合B Integrated Science B
理科	Science	SC1BIRM	生物自由研究 Biology Research
英語	English	EN1Cs	HS Communication s
英語	English	EN1Ci	HS Communication i
英語	English	EN1Ch	HS Communication h
英語	English	EN1ES1i	English Structure 1
英語	English	EN1ES2i	English Structure 2
英語	English	EN1ES3i	English Structure 3
英語	English	EN1Fah	Focus on Form a
英語	English	EN1Fbh	Focus on Form b
英語	English	EN1EMGi	English Mastery Grammar i
英語	English	EN1EMGh	English Mastery Grammar h
英語	English	EN1EMRi	English Mastery Reading i
英語	English	EN1EMRh	English Mastery Reading h
英語	English	EN1TRi	Translation i
英語	English	EN1TRh	Translation h
英語	English	EN1LC1h	Language and Culture 1: Speaking Performance
英語	English	EN1LC5i	Language and Culture 5: Model United Nations i
英語	English	EN1LC5h	Language and Culture 5: Model United Nations h
英語	English	EN1LC7ih	Language and Culture 7: Bilingualism
英語	English	EN1LC8ih	Language and Culture 8：English Through Music
英語	English	EN1LC9ih	Language and Culture 9: An Introduction to Cultural Psychology
英語	English	EN1LC14si	Language and Culture 14: Focus on Australia
英語	English	EN1LC16h	Language and Culture 16: Nonfiction
英語	English	EN1LC18h	Language and Culture 18: Research Writing
英語	English	EN1LC19i	Language and Culture 19: Speech and Debate i
英語	English	EN1LC20h	Language and Culture 20: Speech and Debate h
英語	English	EN1LC21ih	言語学入門 Language and Culture 21: An Introduction to Linguistics

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
英語	English	EN1LC22i	Language and Culture 22: Schindler's List
英語	English	EN1LC26i	Language and Culture 26: Video Shawshank Redemption
英語	English	EN1LC26h	Language and Culture 26:Nonfiction II:Social & Historical Issues
英語	English	EN1LC27i	Language and Culture 27: Video Stand by Me
英語	English	EN1LC28i	Language and Culture 28: Media in English
英語	English	EN1LC35i	Language and Culture 35: Journeys
英語	English	EN1LC36i	Language and Culture 36: Topics for Today
英語	English	EN1LC40h	Language and Culture 40: New Zealand Studies
英語	English	EN1LL13h	Language and Literature 13: Shakespeare Twelfth Night
英語	English	EN1LL3h	Language and Literature 3: Romeo and Juliet
英語	English	EN1LL14h	Language and Literature 14: Native Americans in Literature
英語	English	EN1LL18h	Language and Literature 18: Children's Literature
英語	English	EN1LL19i	Language and Literature 19: Short Stories i
英語	English	EN1LL20h	Language and Literature 20: Short Stories h
英語	English	EN1LL23i	Language and Literature 23: Storytelling
英語	English	EN1LL26h	Language and Literature 26: Pride and Prejudice
英語	English	EN1LL27h	Language and Literature 27: Creative Writing
英語	English	EN1LL28h	Language and Literature 28: Process Writing
英語	English	EN1LL32i	Language and Literature 32: The Great Gatsby
英語	English	EN1LL33i	Language and Literature 33: Poetry
英語	English	EN1LL34i	Language and Literature 34: Wuthering Heights
英語	English	EN3IA21h	IB English A2 - Identity and Dreams
英語	English	EN3IA22h	IB English A2 - Disillusionment
英語	English	EN3IA23h	IB English A2 - Literary Analysis and Individual Research
英語	English	EN3ISB1ih	English B The Outsiders
英語	English	EN3ISB2ih	English B Culture Shock
英語	English	EN3ISB3ih	English B The Lonely Planet
英語	English	EN1CsM	HS Communication s

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
英語	English	EN1CiM	HS Communication i
英語	English	EN1ChM	HS Communication h
芸術	Music	MU3MCH	MSコーラス MS Chorus
芸術	Music	MU3MBB	MSビギニングバンド MS Beginning Band
芸術	Music	MU3MIB	MSインターミディエイトバンド MS Intermediate Band
芸術	Music	MU3MPB	MSパフォーマンスバンド MS Performance Band
芸術	Music	MU3MBS	MSビギニングストリングス MS Beginning Strings
芸術	Music	MU3MIS	MSインターミディエイトストリングス MS Intermediate Strings
芸術	Music	MU3MPS	MSパフォーマンスストリングス MS Performance Strings
芸術	Music	MU3HCH	HSコーラス HS Chorus
芸術	Music	MU3HRB	HSルーキーバンド HS Rookie Band
芸術	Music	MU3HCB	HSコンサートバンド HS Concert Band
芸術	Music	MU3HWE	HSウィンドアンサンブル HS Wind Ensemble
芸術	Music	MU3HJB	HSジャズバンド HS Jazz Band
芸術	Music	MU3HRS	HSルーキーストリングス HS Rookie Strings
芸術	Music	MU3HCS	HSコンサートストリングス HS Concert Strings
芸術	Music	MU3HSE	HSストリングアンサンブル HS String Ensemble
芸術	Music	MU3HBG	HSビギニングギター HS Beginning Guitar
芸術	Music	MU3IB1	IBミュージック 1 IB Music i
芸術	Music	MU3IB2	IBミュージック 2 IB Music ii
芸術	Art	AR3CE	Ceramics
芸術	Art	AR3DR	Drawing
芸術	Art	AR3HA	Living Spaces
芸術	Art	AR3TC	Textile/Costume
芸術	Art	AR3LA	Advertising
芸術	Art	AR3MIX	Mixed Media
芸術	Art	AR3PG	Painting
芸術	Art	AR3PM	Printmaking
芸術	Art	AR3PP	Personal Programmes

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
芸術	Art	AR3PTr	Photography
芸術	Art	AR3SC	Sculpture
芸術	Art	AR3CAL1	書道 I Calligraphy I
芸術	Art	AR3CAL2	書道 II Calligraphy II
芸術	Art	AR3CEM	Ceramics
芸術	Art	AR3DRM	Drawing
芸術	Art	AR3HAM	Living Spaces
芸術	Art	AR3TCM	Textile/Costume
芸術	Art	AR3LAM	Advertising
芸術	Art	AR3MIXM	Mixed Media
芸術	Art	AR3PGM	Painting
芸術	Art	AR3PMM	Printmaking
芸術	Art	AR3PPM	Personal Programmes
芸術	Art	AR3PTrM	Photography
芸術	Art	AR3SCM	Sculpture
芸術	Art	AR3CAL1M	書道 I Calligraphy I
芸術	Art	AR3CAL2M	書道 II Calligraphy II
保健体育	PE/Health	PE3SR1	PE SR1
保健体育	PE/Health	PE3SR2	PE SR2
生活科学	Home and Family Life	HF1CL1	衣服1 Clothing 1
生活科学	Home and Family Life	HF1CL2	衣服2 Clothing 2
生活科学	Home and Family Life	HF1CL3	衣服3 Clothing 3
生活科学	Home and Family Life	HF1FO	食物 Food a
生活科学	Home and Family Life	HF1CH	保育 Child Care
生活科学	Home and Family Life	HF1KW	編物 Knit Ware
生活科学	Home and Family Life	HF1CO	カラーコーディネート Color Coordination
生活科学	Home and Family Life	HF1FOM	食物 Food a
生活科学	Home and Family Life	HF1KWM	編物 Knit Ware
情報	IT	CS3IT0a	インフォメーション・テクノロジー0a Information Technology 0a

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
情報	IT	CS3IT0b	インフォメーション・テクノロジー0b Information Technology 0b
情報	IT	CS3IT12	インフォメーション・テクノロジー1 Information Technology 1
情報	IT	CS3IT22	インフォメーション・テクノロジー2 Information Technology 2
情報	IT	CS3IT32	インフォメーション・テクノロジー3 Information Technology 3
情報	IT	CS3IT4	インフォメーション・テクノロジー4 Information Technology 4
情報	IT	CS3IT5	インフォメーション・テクノロジー5 Information Technology 5
情報	IT	CS3IT6	MultiMedia Contents 制作 MultiMedia Contents
情報	IT	CS3MM	マルチメディア MultiMedia
情報	IT	CS1HLR	情報の技術 Library and Research
情報	IT	CS1RS	Research Skills Research Skills
情報	IT	CS1MA	Marketing Marketing
情報	IT	CS3IT0aM	インフォメーション・テクノロジー0a Information Technology 0a
情報	IT	CS3IT0bM	インフォメーション・テクノロジー0b Information Technology 0b
情報	IT	CS3IT12M	インフォメーション・テクノロジー1 Information Technology 1
情報	IT	CS3IT22M	インフォメーション・テクノロジー2 Information Technology 2
情報	IT	CS3IT32M	インフォメーション・テクノロジー3 Information Technology 3
情報	IT	CS3IT4M	インフォメーション・テクノロジー4 Information Technology 4
情報	IT	CS3IT5M	インフォメーション・テクノロジー5 Information Technology 5
総合	Integrated Studies	EX1HLR	情報の技術 Library and Research
総合	Integrated Studies	EX1RS	Research Skills Research Skills
総合	Integrated Studies	EX1CS	文化研究 Cultural Study
総合	Integrated Studies	EX1LC5i	Language and Culture 5: Model United Nations i
総合	Integrated Studies	EX1LC5h	Language and Culture 5: Model United Nations h
総合	Integrated Studies	EX1LC7ih	Language and Culture 7: Bilingualism
総合	Integrated Studies	EX1LC8ih	Language and Culture 8：English Through Music
総合	Integrated Studies	EX1LC9ih	Language and Culture 9: An Introduction to Cultural Psychology
総合	Integrated Studies	EX1LC18h	Language and Culture 18: Research Writing h
総合	Integrated Studies	EX1LC21ih	言語学入門 Language and Culture 21: An Introduction to Linguistics

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
総合	Integrated Studies	EX1LC22i	Language and Culture 22: Schindler's List
総合	Integrated Studies	EX1LC26h	Language and Culture 26:Nonfiction II:Social & Historical Issues
総合	Integrated Studies	EX1LC28i	Language and Culture 28: Media in English
総合	Integrated Studies	EX1LC36i	Language and Culture 36: Topics for Today
総合	Integrated Studies	EX1LL14h	Language and Literature 14: Native Americans in Literature
総合	Integrated Studies	EX1LT	論理的な思考 Logical Thinking
総合	Integrated Studies	EX1LTM	論理的な思考 Logical Thinking
総合	Integrated Studies	EX1MR	数学講読 Math Reading
総合	Integrated Studies	EX1PM	物理数学 Physics Math
総合	Integrated Studies	EX1WU	世界理解 Global Understanding
総合	Integrated Studies	EX1RMC	現代文明を見つめ直す Modern Conveniences: New Perspective, New Appreciation
総合	Integrated Studies	EX1TC	茶道 Tea Ceremony
総合	Integrated Studies	EX1CP	キャンプ総合 Integrated Camp
総合	Integrated Studies	EX1CH	保育 Child Care
総合	Integrated Studies	EX1SSMT	スタディ・スキルズ（ミラクル・タイプ） Study Skills (Miracle Type)
総合	Integrated Studies	EX3e	小論文 Composition
総合	Integrated Studies	EX1CO	カラーコーディネート Color Coordination
総合	Integrated Studies	EX1MA	Marketing Marketing
総合	Integrated Studies	EX1P	数学的思考力を鍛える演習 Mathematics Seminar
総合	Integrated Studies	EX1SH78i	Grade 7/8i Study Hall
総合	Integrated Studies	EX1SH78h	Grade 7/8h Study Hall
総合	Integrated Studies	EX1SH78hp	Grade 7/8hp Study Hall
総合	Integrated Studies	EX1IBME	IB Math Extraction IB Math Extraction
総合	Integrated Studies	EX1RSM	Research Skills Research Skills
総合	Integrated Studies	EX1MAM	Marketing Marketing
総合	Integrated Studies	EX1SSMTM	スタディ・スキルズ（ミラクル・タイプ） Study Skills (Miracle Type)
総合	Integrated Studies	EX1MRM	数学講読 Math Reading
総合	Integrated Studies	EX1TCM	茶道 Tea Ceremony

選択科目一覧表

各コースの詳しい内容は、教科の必修・選択毎に下記の順序で掲載されています

教科	Department	CourseCode	科目名
総合	Integrated Studies	EX1HLRM	情報の技術 Library and Research
第二外国語	Modern Languages	ML3CH1	中国語 Level 1 Chinese Level 1
第二外国語	Modern Languages	ML3CH2	中国語 Level 2 Chinese Level 2
第二外国語	Modern Languages	ML3CH3	中国語 Level 3 Chinese Level 3
第二外国語	Modern Languages	ML3CHAF	中国語 Chinese After School
第二外国語	Modern Languages	ML3FR1	フランス語 Level 1 French Level 1
第二外国語	Modern Languages	ML3FR2	フランス語 Level 2 French Level 2
第二外国語	Modern Languages	ML3FR3	フランス語 Level 3 French Level 3
第二外国語	Modern Languages	ML3FRAF	フランス語 French After School
第二外国語	Modern Languages	ML3GM1	ドイツ語 Level 1 German Level 1
第二外国語	Modern Languages	ML3GM2	ドイツ語 Level 2 German Level 2
第二外国語	Modern Languages	ML3GM3	ドイツ語 Level 3 German Level 3
第二外国語	Modern Languages	ML3GMAF	ドイツ語 German After School
第二外国語	Modern Languages	ML3SP1	スペイン語 Level 1 Spanish Level 1
第二外国語	Modern Languages	ML3SP2	スペイン語 Level 2 Spanish Level 2
第二外国語	Modern Languages	ML3SP3	スペイン語 Level 3 Spanish Level 3
第二外国語	Modern Languages	ML3SPAF	スペイン語 Spanish After School
第二外国語	Modern Languages	ML3KO1	韓国語 Level 1 Korean Level 1
第二外国語	Modern Languages	ML3KO2	韓国語 Level 2 Korean Level 2
第二外国語	Modern Languages	ML3KO3	韓国語 Level 3 Korean Level 3
第二外国語	Modern Languages	ML3KOAF	韓国語 Korean After School
第二外国語	Modern Languages	ML3CHAFM	中国語 Chinese After School
第二外国語	Modern Languages	ML3FRAFM	フランス語 French After School
第二外国語	Modern Languages	ML3GMAFM	ドイツ語 German After School
第二外国語	Modern Languages	ML3SPAFM	スペイン語 Spanish After School
第二外国語	Modern Languages	ML3KOAFM	韓国語 Korean After School

国語の履修について

国語科では、中等部 1 年～3 年（第 1～9 学期）までは、全員が同時に共通の必修科目を履修します。

高等部に関しては、以下のような授業が開講されます。

科目名	Course Code	週時間数		教材	要録	単位	春学期	秋学期	冬学期
国語総合1(現)	JN31m	2		知的創造のヒント、羅生門、ものとことば、水の東西	国語総合	1	4	1	1
国語総合1(古)	JN31c	3	古文	児の～、絵仏師～、顕宗～、徒然(冒頭・ある人～・丹波に～・花は～)		1	4	1	1
			漢文	故事三編					
国語総合2(現)	JN32m	2		ネットが崩す～、なめとこ山～、自分・この～、世界中が～	国語総合	1		4	1
国語総合2(古)	JN32c	3	古文	伊勢物語、土佐日記		1		4	1
			漢文	漢詩、臥薪嘗胆					
現代文0	JN3m0	2		草の言葉・魚の言葉、城之崎にて　詩いしのうえ、一つのメルヘン	現代文	1	1		1
現代文1	JN3m1	2		ひよこの眼、ミロのヴィーナス、カフェの開店準備	現代文	1	1	1	3
現代文2a	JN3m2a	2		山月記、「である」ことと「する」こと、世代間倫理としての環境倫理	現代文	1	2	1	1
現代文2b	JN3m2b	2		こころ、身体像の近代化、私と個人主義	現代文	1	1	2	1
現代文3a	JN3m3a	2		舞姫、檸檬、藤野先生、詩歌	現代文	1	1	1	1
現代文3b	JN3m3b	2		現代日本の開化、場所と経験、虚ろなまなざし	現代文	1	1	1	1
現代文3c	JN3m3c	2		聴くということ、判断停止の快感、南の貧困/北の貧困、ある＜共生＞の～	現代文	1	1	1	1
古典0	JN3c0	3	古文	東くだり、奥の細道、徒然草(猫又)	古典	1	1		1
			漢文	桃花源記					
古典1	JN3c1	3	古文	忠度の最期、木曽の最期、能登殿の最期、方丈記	古典	1	1	1	3
			漢文	四面楚歌、古代の史話(十八誌略)					
古典2a	JN3c2a	3	古文	更級日記、大鏡	古典	1	2	1	1
			漢文	鴻門の会					
古典2b	JN3c2b	3	古文	源氏物語	古典	1	1	2	1
			漢文	論語、孟子					
古文3a	JN3c3a	2		大鏡	古典	1	1	1	1
古文3b	JN3c3b	2		評論(一)・(二)から	古典	1	1	1	1
古文3c	JN3c3c	3		枕草子、源氏物語	古典	1	1	1	1
漢文3a	JN3k3a	2		逸話、史記の群像	古典	1	1		1
漢文3b	JN3k3b	2		古代の史話、老子、荘子、韓非子	古典	1	1	1	
現代文演習1	JN3m3s1	2		現代文の演習　グレード2(桐原書店)	現代文	1			1
現代文演習2	JN3m3s2	2		現代文の演習　グレード3(桐原書店)	現代文	1	1		
現代文演習3	JN3m3s3	2		標準　現代文(第一学習社)	現代文	1		1	
古典演習1	JN3c3s1	2		古典　アチーブ2(桐原書店)	古典	1			1
古典演習2	JN3c3s2	2		古典　アチーブ3(桐原書店)	古典	1	1		
古典演習3	JN3c3s3	2		標準　古文(第一学習社)	古典	1		1	
小論文	JN3e xx	2			現代文・総合	1	4	4	3

1　高等部 1 年次（第 10～12 学期）の間に国語総合（必修）を、1、2 の順番に必ず履修してください。編入生の場合は、この冊子の始めにある「必修単位と卒業単位」の表を参考に、また、コース・アドバイ

ザー、国語科の先生との話し合いで履修を決定してください。

一般的には、次の表のようになります。

学期 編入時期	1 年生秋学期 (第 11 学期)	1 年生冬学期 (第 12 学期)	2 年生春学期 (第 13 学期)	2 年生秋学期 (第 14 学期)
1 年生秋学期	国語総合 1	国語総合 2	以後自由選択	
1 年生冬学期		国語総合 1	現代文・古文 0 か 現代文・古文 1	以後自由選択
2 年生春学期			国語総合 1 か 現代文・古文 0 か 現代文・古文 1	以後自由選択

2　高等部 1 年冬学期（第 12 学期）以降は自由選択科目がありますので、各自の興味と必要性に応じて履修してください。

3　自由選択科目は大まかに、下の二つのグループに分けることが出来ます。

<1>　第 12 学期（高 1 冬）以降　対象

現代文　0、1、2a、2b

古典　0、1、2a、2b

<2>　第 15 学期（高 2 冬）以降　対象

現代文　3a, 3b, 3c

古文　3a, 3b, 3c

漢文　3a, 3b

現代文演習　1, 2, 3

古典演習　1, 2, 3

小論文

＊ a,b,c はどの順番に履修しても構いません。

＊ 高等部 2 年生の冬学期から <2>のグループの科目を履修するためには、<1>のグループの科目より 3 つ以上を履修済みであること。例えば、現代文 3 を履修したい場合は、0～2 の 4 つのうちから 3 つ以上。但し、小論文は 3 つ未満でも冬学期より履修できます。また、<1>のグループの内容を3つ以上履修・習得していれば、ほとんどの大学（文化系・理科系共に）の受験に対応可能ですが、<2>のグループも継続して履修することが望ましいです。

＊ 小論文の履修は原則として 2 単位（2 講座までとします。また一学期に一講座のみ履修出来ます。）

＊ その他履修に関して質問のある場合は、国語科に相談に来て下さい。

国語 － JNL

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN178B
科目名	基礎国語 / Basic JNL		

選択・必修　必修　　単位数　　開講時期

週間時間数　3　　履修期間　3 学期

授業担当者　見島
Mishima

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　本校入学以前の背景により、国語の学習に不慣れである中等部1年生および2年生の生徒を対象とする。
ただし、日本語のクラスとは違い、第一言語としての学習の授業である。
教科書は中等部一年生の使用するものを使用し、少人数のクラスで「国語」の学習になれ、学習のためのスキルを身につけることを第一目標としている。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN107
科目名	国語1 / JNL1		

選択・必修　必修　　単位数　　開講時期

週間時間数　3　　履修期間　3 学期

授業担当者　木村/見島/牧
Kimura/Mishima/Maki

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　中学時代は、国語の基礎力の確立を目標に学習していく。
主に教科書の教材を扱いながら授業を進める。
新しい教材ごとに、語句、漢字を辞書で調べて言葉ノートを作成し、提出する。
（一生懸命に詳しく調べる生徒は、三年間で随分語彙を増やすことができる。）
教材によっては、課題作文を書くこともある。
（その中で、思考、表現力を伸ばす。）

古典分野は、興味、関心を育てることを目標として、かぐや姫絵巻きや漢文紙芝居、平安事典などの作成のような、調査、作業を伴った学習を各学年で行う。

毎週一回、漢字学習帳を使って、漢字テストを実施。七割を合格点として、不合格の場合は再テストを行う。（点数を競うのではなく、覚えることが目標。）

読書については、読書ノートを作り、記録を残す。各学期、長期休業中などには、教材と関連したテーマの課題読書も実施する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN108
科目名	国語2 / JNL2		

選択・必修　必修　　単位数　　開講時期

週間時間数　3　　履修期間　3 学期

授業担当者　福島/中村/鷹野
Fukushima/Nakamura/Takano

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　中学時代は、国語の基礎力の確立を目標に学習していく。主に教科書の教材を扱いながら授業を進める。
新しい教材ごとに、語句、漢字を辞書で調べて言葉ノートを作成し、提出する。
（一生懸命に詳しく調べる生徒は、三年間で随分語彙を増やすことができる。）
教材によっては、課題作文を書くこともある。
（その中で、思考、表現力を伸ばす。）

古典分野は、興味、関心を育てることを目標として、かぐや姫絵巻きや漢文紙芝居、平安事典などの作成のような、調査、作業を伴った学習を各学年で行う。

毎週一回、漢字学習帳を使って、漢字テストを実施。七割を合格点として、不合格の場合は再テストを行う。（点数を競うのではなく、覚えることが目標。）

読書については、読書ノートを作り、記録を残す。各学期、長期休業中などには、教材と関連したテーマの課題読書も実施する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN109
科目名	国語3 / JNL3		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	3 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	北尾/松島				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Kitao/Matsushima				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

中学時代は、国語の基礎力の確立を目標に学習していく。
主に教科書の教材を扱いながら授業を進める。
新しい教材ごとに、語句、漢字を辞書で調べて言葉ノートを作成し、提出する。
（一生懸命に詳しく調べる生徒は、三年間で随分語彙を増やすことができる。）
教材によっては、課題作文を書くこともある。
（その中で、思考、表現力を伸ばす。）

古典分野は、興味、関心を育てることを目標として、かぐや姫絵巻きや漢文紙芝居、平安事典などの作成のような、調査、作業を伴った学習を各学年で行う。

毎週一回、漢字学習帳を使って、漢字テストを実施。七割を合格点とする。
（点数を競うのではなく、覚えることが目標。）

読書については、読書ノートを作り、記録を残す。各学期、長期休業中などには、教材と関連したテーマの課題読書も実施する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN31m
科目名	国語総合1(現) / HS JNL1 modern Japanese		

選択・必修	必修	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
授業担当者	松島/牧				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
	Matsushima/Maki				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　国語総合1（古）と同時に履修のこと

内容紹介　基本的な読解力を身につける事を目標とする。例えば、「羅生門」（芥川龍之介）や「水の東西」（山崎正和）など高校国語において必ず触れるような文章を扱い、それらの読解が充分に行えること、社会、人間に対する関心を開くことを目指す。また、自分の意見がしっかり表現できることを目ざした文章表現力の養成も行う。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN31c
科目名	国語総合1(古) / HS JNL1 classics		

選択・必修	必修	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
授業担当者	見島/木村				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
	Mishima/Kimura				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　国語総合1（現）と同時に履修のこと

内容紹介

古文では、「いろは歌」や説話など理解しやすい教材を取り上げながら、基本的な語法の学習を進め、最終的には「徒然草」の読解・鑑賞を目標にする。
漢文は故事成語の学習を通して訓読の基本を学習する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN32m
科目名	国語総合2(現) / HS JNL2 modern Japanese		

選択・必修	必修	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	松島/牧				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
	Matsushima/Maki				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　国語総合1履修後、国語総合2(古)と同時に履修のこと

内容紹介　基本的な読解力を身につけることを目標とする。国語総合1での学習をふまえて、社会、人間に対する関心を深めることを目指す。また、自分の意見がしっかり表現できることを目ざした文章表現力の養成も行う。

教材　ネットが崩す～、なめとこ山～、自分・この～、世界中が～

備考　この科目の履修後、現代文0か現代文1を履修することになるが、選択の際には国語科の指示に従うこと。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN32c
科目名	国語総合2(古) / HS JNL2 classics		

選択・必修	必修	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	見島/木村/岡本				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
	Mishima/Kimura/Okamoto				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　国語総合1履修後、国語総合2(現)と同時に履修のこと

内容紹介　古文では、「伊勢物語」、「土佐日記」を教材とし、語法の学習を進める。また特に、代表的な助動詞の習得を目標にする。
漢文は「臥薪嘗胆」などより長い漢文の読解と、漢詩の鑑賞を行う。

備考　この科目の履修後、古典0か古典1を履修することになるが、選択の際には国語科の指示に従うこと。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m0
科目名	現代文0 / Modern Japanese 0		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	牧				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Maki				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　国語総合2履修後

内容紹介　国語総合2の履修後、国語総合の復習にも重点を置いた授業を行う。具体的には、国語総合の教科書の、1・2で学習した残り部分の教材を学習する。

備考　クラス選択に当たっては、国語科の指示に従うこと。
履修条件に「国語総合2履修後」とあるが、高等部一年冬学期に国語総合1を履修した者は、二年春学期に履修可能。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c0
科目名	古典0 / Classics 0		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	北尾				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Kitao				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　国語総合2履修後

内容紹介　国語総合2の履修後、国語総合の復習にも重点を置いた授業を行う。具体的には、国語総合の教科書の、1・2で学習した残り部分の教材をつかい、文法事項(用言の活用・基本的な助動詞など)の再確認、漢文の句法の確認などを行う。

備考　クラス選択に当たっては、国語科の指示に従うこと。
履修条件に「国語総合2履修後」とあるが、高等部一年冬学期に履修したものは、二年春学期に履修可能。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m1
科目名	現代文1 / Modern Japanese 1		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	☑	☑
授業担当者	松島/中村				秋学期	□	□	□	□	☑	☑
	Matsushima/Nakamura				冬学期	□	□	□	☑	☑	□

履修条件　国語総合2履修後

内容紹介　国語総合2の履修後、国語総合の次の段階としての現代文の読解力、表現力を養成する授業を行う。具体的には教材として、評論、小説、詩歌等を読解しながら、重要語句の学習、要約などを行うことによって、語彙力を充実させると共に、内容を正確に把握できることを目指す。

備考　クラス選択に当たっては、国語科の指示に従うこと。
履修条件に「国語総合2履修後」とあるが、高等部一年冬学期に国語総合1を履修した者は、二年春学期に履修可能。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c1
科目名	古典1 / Classics 1		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	☑	☑
授業担当者	見島/岡本				秋学期	□	□	□	□	☑	☑
	Mishima/Okamoto				冬学期	□	□	□	☑	☑	□

履修条件　国語総合2履修後

内容紹介　国語総合2の履修後、国語総合の次の段階としての古文の文法理解、読解力を養成する授業を行う。
古典の教材は国語総合の教科書の、1・2で学習した残り部分の教材と、「古典　古文編」から、「忠度の最期」「木曽の最期」「能登殿の最期」「方丈記」を扱う。
具体的な内容としては、復習として用言（動詞・形容詞など）の理解をさらに深め、助動詞の定着と発展を目指す。漢文は「古典　漢文編」から、「四面楚歌」を扱い、漢文の句法の確認などを行う。

備考　クラス選択に当たっては、国語科の指示に従うこと。
履修条件に「国語総合2履修後」とあるが、高等部一年冬学期に履修したものは、二年春学期に履修可能。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m2a
科目名	現代文2a / Modern Japanese 2a		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	☑	☑
授業担当者	北尾/福島				秋学期	□	□	□	□	☑	☑
	Kitao/Fukushima				冬学期	□	□	□	□	☑	☑

履修条件　現代文1履修後

内容紹介　現代文1の履修後に選択可能。
論理的構造、主題を読み取るために評論文、登場人物の心情、時代背景、さらには作品のテーマなどを読み取るために小説をそれぞれ教材として扱う。その他に代表的な詩歌も随時取り上げて、その鑑賞も行う。また、必要に応じて課題作文、要約等を行い、表現力、思考力の充実を目指す。
教材……山月記、世代間倫理としての環境倫理、「であること」と「すること」等

備考　クラス選択に当たっては、国語科の指示に従うこと。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c2a
科目名	古典2a / Classics 2a		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	☑	☑
授業担当者	岡本/中村				秋学期	□	□	□	□	☑	☑
	Okamoto/Nakamura				冬学期	□	□	□	□	☑	☑

履修条件　古典1履修後

内容紹介　古文は平安後期の作品を扱い、助動詞の学習を確立させながら作品の読解を進める。また、漢文は「史記」を教材として、句型の確認・読解にとどまらず、ストーリーの面白さを学習する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m2b
科目名	現代文2b / Modern Japanese 2b		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	見島/松島				秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
	Mishima/Matsushima				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 現代文1履修後

内容紹介 現代文1の履修後に選択可能。
論理的構造、主題を読み取るために評論文、登場人物の心情、時代背景、さらには作品のテーマなどを読み取るために小説をそれぞれ教材として扱う。その他に代表的な詩歌も随時取り上げて、その鑑賞も行う。また、必要に応じて課題作文、要約等を行い、表現力、思考力の充実を目指す。
教材……身体像の近代化、こころ、私と個人主義等

備考 クラス選択に当たっては、国語科の指示に従うこと。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c2b
科目名	古典2b / Classics 2b		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	福島				秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
	Fukushima				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 古典1履修後

内容紹介 古文は「源氏物語」を中心に平安時代のものを扱い、形容詞・形容動詞・敬語の習得に力を入れる。また、漢文は「論語」・「孟子」を教材として、句型の確認・読解にとどまらず、日本に伝わる儒教の精神も学習する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m3a
科目名	現代文3a / Modern Japanese 3a		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	木村				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
	Kimura				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 現代文1、2履修後

内容紹介 明治期を中心とした、近代小説を題材に、登場人物の造形、心情などの考察のみならず、種々の文章のスタイルについても学習を深める。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m3b
科目名	現代文3b / Modern Japanese 3b		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	岡本				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
	Okamoto				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 11年生の冬学期に履修する生徒は、それまでに現代文1・2a・2bを終了のこと。12年生の春学期からは誰でも履修できる。

内容紹介 やや難解な評論文を題材として授業を展開する。『常識』を広めるとともに、筆者の主張に対して自己の考察を行い、認識を深める。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m3c
科目名	現代文3c / Modern Japanese 3c		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	北尾				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
	Kitao				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 11年生の冬学期に履修する生徒は、それまでに現代文1・2a・2bを終了のこと。12年生の春学期からは誰でも履修できる。

内容紹介 比較的新しい評論文を扱い、現代の新しい思潮についての理解を深める。また、自己の思考を文章として表現する力も養う。具体的には、「聴くということ」「判断停止の快感」「南の貧困／北の貧困」「ある〈共生〉の経験から」などの教科書教材を扱う。また、評論を扱った問題集も使用する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c3a
科目名	古文3a / Japanese Classics 3a		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	木村				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
	Kimura				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 古典1・2履修後

内容紹介 「大鏡」を中心とする歴史物語を扱い、授業を進める。今までに学習してきた文法事項の確立、語彙の増加を図ることで古文の読解をよりスムーズにする。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c3b
科目名	古文3b / Japanese Classics 3b		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	福島				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
	Fukushima				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 古典1・2履修後

内容紹介 歌論・俳論、文学評論などを中心とした、古文の評論を学習する。文法事項・語彙などはもちろんであるが、中古（平安時代）・中世（鎌倉時代）・近世（江戸）の文芸理論・思想についても学ぶことを目標とする。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c3c
科目名	古文3c / Japanese Classics 3c		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	中村				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
	Nakamura				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件 古典1・2履修後

内容紹介 「枕草子」や「源氏物語」など中古の作品を教材とし、ハイレベルな古文を読解できるようになることを目標とする。解釈に必要な文法事項を確立し、古典常識や語彙の充実を図ることで、作品を味わいながら楽しく読めるようにしたい。また、センター試験に対応できる力を養うべく、問題集も併用する。

備考 週の授業時間は、他の古文3のクラスと異なり、3時間が配当される。

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3k3a
科目名	漢文3a / Chinese Classics 3a		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　福島
Fukushima

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件　古典1･2履修後

内容紹介　基本的な句法の学習と教科書の文章の読解を通じて、入試に対応できる力を養成することを目指す。
漢文の教科書から、「逸話」「史記の群像」を扱う。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3k3b
科目名	漢文3b / Chinese Classics 3b		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　松島
Matsushima

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　古典1･2履修後

内容紹介　基本的な句法の学習と教科書の文章の読解を通じて、入試に対応できる力を養成することを目指す。
漢文の教科書から、「古代の史話」「老子」「荘子」「韓非子」を扱う。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m3s1
科目名	現代文演習1 / Mondern Japanese Seminar 1		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　牧
Maki

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件

内容紹介　問題集を使用して、難解な文章の読解を目指す。主に、評論の読解を中心として、力をつけることを目標とする。
主に、高校二年生を対象とし、基礎的な内容を中心に演習を行う。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m3s2
科目名	現代文演習2 / Mondern Japanese Seminar 2		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　見島
Mishima

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　問題集を使用して、難解な文章の読解を目指す。主に、評論の読解を中心として、力をつけることを目標とする。
現代文演習1に比べて、より発展した内容を扱う。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3m3s3
科目名	現代文演習3 / Mondern Japanese Seminar 3		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	中村				秋学期	□	□	□	□	□	☑
	Nakamura				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件

内容紹介　問題集を使用して、難解な文章の読解を目指す。主に、評論の読解を中心として、力をつけることを目標とする。
現代文演習2よりさらに発展した内容を演習し、入学試験にも対応できる現代文の実力を養うことを目標とする。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c3s1
科目名	古典演習1 / Classics Seminar 1		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	福島				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Fukushima				冬学期	□	□	□	□	☑	☑

履修条件

内容紹介　問題集を使用して、有名な古文の読解を中心に授業を進める。便覧を大いに利用して幅広い知識を得る。今までに学習してきた文法事項の確立、語彙の増加を図ることで古文の読解をよりスムーズにする。読解を十分にしたうえで、古典作品の持つ普遍性、現代に通じる心情にまで想いを及ぼすことを目標とする。
主に、高校二年生を対象とし、基礎的な内容を中心に演習を行う。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c3s2
科目名	古典演習2 / Classics Seminar 2		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	☑
授業担当者	岡本				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Okamoto				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件

内容紹介　問題集を使用して、有名な古文の読解を中心に授業を進める。便覧を大いに利用して幅広い知識を得る。今までに学習してきた文法事項の確立、語彙の増加を図ることで古文の読解をよりスムーズにする。読解を十分にしたうえで、古典作品の持つ普遍性、現代に通じる心情にまで想いを及ぼすことを目標とする。
古典演習1より発展した内容を演習する。

備考

教科名	国語 － JNL	コースコード	JN3c3s3
科目名	古典演習3 / Classics Seminar 3		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	北尾				秋学期	□	□	□	□	□	☑
	Kitao				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件

内容紹介　問題集を使用して、有名な古文の読解を中心に授業を進める。便覧を大いに利用して幅広い知識を得る。今までに学習してきた文法事項の確立、語彙の増加を図ることで古文の読解をよりスムーズにする。読解を十分にしたうえで、古典作品の持つ普遍性、現代に通じる心情にまで想いを及ぼすことを目標とする。
古典演習2よりさらに発展した内容を演習し、入学試験にも対応できる古典の実力を養うことを目標とする。

備考

教科名	国語 – JNL	コースコード	JN3e
科目名	小論文 / Composition		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	2	履修期間	1 学期		
授業担当者	国語科（担当者は時間割を見て確認してください） Please, check schedule of each trimester.				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件

内容紹介　小論文の基本である主題文の作り方、構成の仕方などを中心に学習する。実際に何度も書くことによって、文体の欠点を直し、論理的な文章の作成ができるようにする。書けるためには、読むことも必要なので、時々評論の読解もする。
具体的な内容は担当者によって異なる。

備考　同じ担当者の小論文を繰り返し取ることはできない。

教科名	国語 – JNL	コースコード	JN107CAL
科目名	G7書写 / G7 Calligraphy		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	
週間時間数	1.3	履修期間	3 学期		
授業担当者	岡部 Okabe				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　硬筆と毛筆による文字の書き方を学習する。姿勢、用具、用材の使い方、筆使い、筆順、字形、文字の大きさ、配置などに気を付け書写する態度を身につける。

備考

社会科の履修について

＊この説明をよく読んでから、よくわからない点についてはあいまいにせず、取り返しのつかないことになる前に、必ず社会科の教員に質問や確認をして下さい。履修計画を立てる際には、「シラバス」の方もよく読んだ上で立てて下さい。学期完結制は生徒の選択を尊重する方針ですので、社会科教員からは履修計画のミスを発見したり直したりすることは行いません。

＊学校の事情や生徒の選択の状況等により、臨時の変更がなされる場合があります。臨時の情報にはよく注意して下さい。

【社会科の科目の取り方について】

社会科では、中等部一年生～高等部一年生（第 1 学期から第 12 学期）までの間、全員が共通の必修科目を履修します。その他に、上級学年になるに連れて、選択必修の科目を履修します。また、上級学年になるに連れて、自由選択の科目を履修することができます。卒業のための条件は、文部科学省の決まりに従っています。

(1) 必修科目については、卒業のためには必ず履修しなければなりません。
(2) 選択必修科目については、いくつかの科目のうちから決められた数の科目を、卒業のためには履修しなければなりません。
(3) 自由選択科目については、個人の興味や必要に応じて、いくつでも履修できます。もしも社会科の自由選択科目を一科目も取らなくても、他の教科の科目などを必要な単位数だけ履修していれば、卒業への影響はありません。

【選択必修科目について】

生徒各自の責任において、次の二つの選択必修科目グループの中から、それぞれ最低一科目ずつ（グループ 1 から一つ以上、グループ 2 からも一つ以上）を、卒業のためには履修する事が必要です。

＜選択必修科目グループ 1＞	＜選択必修科目グループ 2＞
世界史 A1（古代史、中世史）	日本史 A1（古代史、中世史）
世界史 A2（近代史）	日本史 A2（近世史、近代史、現代史）
世界史 A3（第一次世界大戦以降の現代史）	日本史 A3（第一次世界大戦以降の現代史）
世界史 A4①（Japan in the Modern World）	日本史 A4①（Japan in the Modern World）
世界史 A4②（Japan in the Modern World）	日本史 A4②（Japan in the Modern World）
世界史 A4③（Japan in the Modern World）	日本史 A4③（Japan in the Modern World）
	地理学（地理一般）

【二科目合同授業について】

「世界史 A3」と「日本史 A3」、「世界史 A4①」と「日本史 A4①」、「世界史 A4②」と「日本史 A4②」、「世界史 A4③」と「日本史 A4③」、はそれぞれ二科目合同授業（異なる名前の科目を取っている生徒が、同じ授業で学ぶ）です。

(1) 科目の登録の時に、科目の名前を決定して下さい。登録が終わり授業が始まってからの変更や、授業が終わって成績が出てからの変更などは、一切できません。
(2) 「世界史 A4①」「日本史 A4①」「世界史 A4②」「日本史 A4②」「世界史 A4③」「日本史 A4③」（OIS の IB クラスで学ぶ高度な内容なので、履修は担当教員の許可が必要）については、単位の取り方の計画も含めて、必ず担当教員と打ち合わせをしてから登録して下さい。

【同じ科目の再履修について】

単位を取れなかった（成績が「F」だった）ためにもう一度チャレンジする場合以外は、原則として同じ科目の授業を二度以上取ることはできません。また、二科目合同授業については、登録の科目名を変えても、繰り返して取る事はできません。“聴講”については、授業担当の先生やコースアドバイザーの先生の指示に従って下さい。

【大学受験に必要な科目について】

(1) 文部科学省の決まりでは、高等学校は、世界史、日本史、地理のそれぞれの科目に、「A（2 単位で概略を学ぶ）」と「B（4 単位で深く学ぶ）」の二種類の科目を置けることになっています。
(2) SIS では、学校長の指導のもと、「A」の科目を時代別に複数置いています（「世界史 A1～A4」、「日本史 A1～A4」）。「B」の科目は学期完結制では週 10 回の授業数になるため、時間割編成上置くことができませんが、A の科目をたくさん履修すれば、「B」と同じだけの内容が十分に学べるようになっています。
(3) 大学を受験するときには、大学側が決めた科目を高校のときに履修していることが必要になる場合があります。調査したところ、現段階では、
    1. 「A」の科目しか取っていない人が、「B」の試験科目を受験することについては、ほぼ問題はありません。
    2. 一部の大学で、高校のときに「B」を履修していなければ受験ができないところがあります。これまでには上智大学の公募制推薦入試の例（一部の学科のみ）がありました。これらの大学を志望する人については、世界史や日本史の科目をたくさん履修しておく事が必要になりますので、科目の登録の前に、進路情報室に必ず届け出て、履修計画についての助言を受けて下さい。
    3. 自分の志望校が、どのような科目の履修を必要としているか、どのような受験科目を置いているか、については、進路情報室の資料を見たり、進路情報室担当の先生と面談をしたりして、生徒各自の責任において早目に確認しておいて下さい。

【SIS 社会科がお勧めする履修計画について】

(1) 人文科学、社会科学、国際関係、総合政策などの方面を、将来専門的に学んでいきたい人は、選択必修科目の必要条件を超えて、なるべくたくさんの歴史科目や地理科目、それからなるべくたくさんの自由選択科目を履修しておくことを、強くお勧めします。
(2) 選択必修科目のうち、世界史や日本史をそれぞれ一科目だけしか履修する計画のない人は、現代の社会の深い理解のために、「世界史 A3」か「日本史 A3」の履修を中心にして計画を立てていくことをお勧めします。（上記の【選択必修科目について】及び【二科目合同授業について】のきまりをよく確認して下さい）
(3) 世界史と日本史の科目は、科目の名前をわかりやすくするために、時代順に A1～A4 の数字をつけていますが、必ずしも時代順にこの順番で学ぶ必要はありません。（A4①②③の履修順序については、担当教員の指導を受けて下さい）

社会 － Social Studies

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1BSS1
科目名	基礎社会1 / Basic Social Studies 1		

選択・必修	必修	単位数	
週間時間数	2.3	履修期間	3 学期
授業担当者	中村 Nakamura		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　学期毎に「学期プロジェクト」を行う。春学期はレポート、秋学期は発表、冬学期は討論をそれぞれ基礎から学ぶ。同時に教科書も使い、日本や世界の様々な地域や気候、地形、人々の生活についても学んでゆく。
　評価は学期プロジェクトの結果と 各学期末に行うテスト、授業態度等を総合して行う。
詳しくは、4月の年度始めに授業時間内で生徒を対象にプリントを使用し、1年間の授業の流れや方針を説明する。

備考

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1BSS2
科目名	基礎社会2 / Basic Social Studies 2		

選択・必修	必修	単位数	
週間時間数	4	履修期間	2 学期
授業担当者	増尾/宗正 Masuo/Munemasa		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件　履修セクション・学期は、時間割に従うこと。

内容紹介　世界の歴史を背景に日本の歴史を明確に大きな流れとして捉えることを主として学んだ。教科書の内容も厳選に努め、基礎・基本は何かを見極める力の育成をめざした。特に板書ノートにおいて自学（自主学習）を設定し、個々に関心ある主題をまとめる作業的な活動を通して、将来の進学に十分役立つであろう歴史の学び方を身につけさせることに重点を置いた。

備考　詳細については、担当者に質問すること。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1BSS3
科目名	基礎社会3 / Basic Social Studies 3		

選択・必修	必修	単位数	
週間時間数	5	履修期間	1 学期
授業担当者	増尾 Munemasa		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件　なし

内容紹介　社会科、特に公民的分野の、一番根本的テーマ（人間と善悪、人間と科学技術、平和への努力、日本社会の問題点とその克服、など）及び、SISの学習と生活の基本方針にそった内容（リーダーシップとグループワーク、「自由」と責任、など）について、意見を交換し、考えながら学んで行く。その基本の上で、時事問題や生徒の興味や関心に応じた事などを発展的に学ぶ。
また、それらのテーマを学ぶ際に、自立した市民となるためのトレーニング（ディベートとリサーチ、スキット、インタビュー、グループ・ディスカッション、ゲーム学習など）を並行して行い、高等部での学習に必要な学ぶスキルの基礎を習得する。
成績は、①テスト(中間考査と期末考査)、②ディベート、レポートなどの課題③授業への参加貢献、④自主学習(授業内容を再度自分でまとめたり、興味を持った分野をさらに深く調べるなど)から総合的に決めている。

備考　SIS社会科では、学習指導要領での「中学社会公民的分野」「高校現代社会」「高校政治・経済」「高校倫理・社会」の公民科諸科目の教育課程のうち重複する部分を整理して、自由選択科目も含めて中学・高校の6年間で、だいたい全ての学習ができるように授業を編成している。内部進学でなく他の高校への受験・進学を希望する人は、個人的にフォローするので申し出ること。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1CC
科目名	比較文化 / Comparative Culture		

選択・必修	必修	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	3 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐
授業担当者	ダッタ/増尾				秋学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐
	Datta/Masuo				冬学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐

履修条件　現代社会2単位+「総合的な学習」1単位の構成となるが、留学など学年途中で編出入のある生徒は、単位修得について授業担当者と打ち合わせのこと。

内容紹介

高校現代社会としては、「現代に生きるわたしたちの課題」からは地球環境問題を基礎的な理解が得られるよう問題の所在追求など生徒が調べ学習をしたり発表する機会も設ける。「現代の社会と人間」では自分らしく生きる・人間としてよく生きるをテーマ別の構成で青年期を多角的にとらえさせることをめざす。「国際社会と人類の課題」においては今日的問題を随所に取り上げて展開する。

NIE教育や視聴覚課題なども多いに取り組む。昨年は読売新聞社編集委員の講演・青年海外協力隊の方とのコラボレーション授業に外務省事務次官の方を招いての取り組みも行った。本年も継続を考えたい。

備考　この科目の単位数は通年で3単位となる。 2名の教師が3種のクラスの形を用いている。尚、SIS社会科では、学習指導要領での「中学社会公民的分野」「高校現代社会」「高校政治・経済」「高校倫理・社会」の公民科諸科目の教育課程のうち重複する部分を整理して、自由選択科目も含めて中学・高校の6年間で、だいたい全ての学習ができるように授業を編成している。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1WHA1
科目名	世界史A1 / World History A1		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	池田				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Ikeda				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　世界の、～古代・中世史～；人類の誕生から、16世紀以前の各地域（ヨーロッパ、アジア：中国・朝鮮・インド・東南アジア、イスラム他）の歴史を、各々関連付けながら、編年的に、各テーマ（政治・経済・文化・人物等）に沿って、学習する。

備考　秋・冬学期は、開講せず、春学期に、3セクション開講。基本的に、オーソドックスな講義中心の授業進行で、毎週1（～2）回、確認（小）テストを実施。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1WHA2
科目名	世界史A2 / World History A2		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	池田				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Ikeda				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　世界の、近代史、16世紀以降の歴史；アメリカ合衆国の独立・フランス革命・産業革命から19世紀のヨーロッパ史、帝国主義政策によるアジア・アフリカ等の植民地化他を、各々関連付けながら、編年的に、各テーマ（政治・経済・文化・人物等）に沿って、学習する。

備考　春・冬学期は、開講せず、秋学期に、3セクション開講。基本的に、オーソドックスな講義中心の授業進行で、毎週1（～2）回、確認（小）テストを実施。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1WHA3
科目名	世界史A3 / World History A3		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	中村				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Nakamura				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件

内容紹介　近現代史の中で、20世紀の世界と日本の情勢について学習する。
NHKで1995年に放映された「映像の世紀」を教材に20世紀の出来事を視覚的な角度から検証してゆく。
この「映像の世紀」は世界史の教科書とリンクして行く部分が多いので、教科書は世界史のものを使用し、主に世界史的観点から授業を進めていく。
評価は学期に数回実施するテストと9本のビデオの感想、授業の出席回数、授業への貢献度等を総合して判断する。

備考　日本史A3と合同授業ではなくなったので注意すること。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS3IBH1
科目名	世界史A4 (IB Histry) / World History A4 (IB History)		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1-3 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	ダッタ				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Datta				冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件　Approval of the Instructor. (Shammi Datta)

内容紹介　The focus of this course is to understand present day Japan through an analysis of its past.
It is a joint course with the OIS 12th grade History and the language of instruction is English. It covers the history of Japan and its relationship with East Asia and the world from the 17th century till the present. The course is run as a college seminar, which means that there will be a reading assignment that will be discussed every class. Class participation, an oral presentation and a guided research make up an integral part of this course. You are not required to have studied Japanese history previously and are not required to take the IBH examination.

備考　This course is split into 3 terms as ① fall term, ②winter term and ③spring term. It is preferred that you take the course in that sequence. You are not required to take it for all 3 terms. You will receive 2-6 credits depending on how many terms you register for. If you are interested in this course please come and see Mr. Datta.

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1JHA1
科目名	日本史A1 / Japanese History A1		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	増尾				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Masuo				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　21世紀の国際化社会を担う生徒に歴史（日本史）を振り返り、そこから多くを学び、強く生きる道を探ることをめざした。教科書の内容も厳選に努め、基礎・基本は何かを見極める力の育成もめざした。特に板書ノートにおいて自学（自主学習）を設定し、個々に関心ある主題をまとめる作業的な活動を通して、将来の進学に十分役立つであろう歴史の学び方を身につけさせることに重点を置いた。

日本史A1では、とりわけ「原始・古代」から「戦国・安土桃山時代」の日本社会や日本と世界の関わりを学ぶことで、今の日本をより深く理解していきます。

（自学）板書ノートの充実と自らに学び研究できるものとして自主学習の区分をノートに位置づけた。

備考　詳細は、担当者へ質問のこと。

教科名	社会 – Social Studies	コースコード	SS1JHA2
科目名	日本史A2 / Japanese History A2		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	増尾				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Munemasa				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　日本社会・日本人の考え方・日本と海外の関係、現在の日本のすべてがどのようにして今の状態になったのだろうか？

日本史ではその答えを見つけるために、日本の過去から現在の道筋をたどります。このクラス、日本史A2では、とりわけ江戸時代以降の日本社会や日本と世界の関わりを学ぶことで、今の日本や今後の日本の課題をより深く理解していきます。

評価は①定期考査(中間と期末)、②レポートとディベート、③日ごろの授業への態度・参加、④自主学習から総合的に判断されます。

備考　詳細については、担当者に質問すること。

教科名	社会 – Social Studies	コースコード	SS1JHA3
科目名	日本史A3 / Japanese History A3		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	中村/ダッタ				秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
	Nakamura/Datta				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　近現代史の中で、20世紀の世界と日本の情勢について学習する。
NHKで1995年に放映された「映像の世紀」を教材に20世紀の出来事を視覚的な角度から検証してゆく。
この「映像の世紀」は世界史の教科書とリンクして行く部分が多いので、教科書は世界史も使用し、世界史的観点から授業を進めていく。
評価は学期に数回実施するテストと9本のビデオの感想、授業の出席回数、授業への貢献度等を総合して判断する。(中村クラス)
春学期のダッタクラスの評価は、プレゼンテーション・レポートを重視する。

備考　世界史A3と合同授業ではなくなったので注意すること。

教科名	社会 – Social Studies	コースコード	SS3IBH2
科目名	日本史A4 (IB Histry) / Japanese HistoryA4 (IB History)		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1-3 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	ダッタ				秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
	Datta				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Approval of the Instructor. (Shammi Datta)

内容紹介　The focus of this course is to understand present day Japan through an analysis of its past.
It is a joint course with the OIS 12th grade History and the language of instruction is English. It covers the history of Japan and its relationship with East Asia and the world from the17th century till the present. The course is run as a college seminar, which means that there will be a reading assignment that will be discussed every class. Class participation, an oral presentation and a guided research make up an integral part of this course. You are not required to have studied Japanese history previously and are not required to take the IBH examination.

備考　This course is split into 3 terms as ① fall term, ②winter term and ③spring term. It is preferred that you take the course in that sequence. You are not required to take it for all 3 terms. You will receive 2-6 credits depending on how many terms you register for. If you are interested in this course please see Mr. Datta.

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1GEO
科目名	地理学 / Geography		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	増尾 Masuo				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うこと、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる世界人としての自覚と資質を養うことをめざした。

① 「地理学」を【系統地理】(「気候」・[地形」・「人種」・「民族」・「国家」などを扱う)と【地誌】(地域別・国別)の2つに分けるならば、この「地理学」の授業においては世界の【地誌】に重点を置く中で【系統地理】の基礎を組み込んでいく構成となる。
② 授業形態としては、講義調の形態だけでなく、積極的に自ら調査を行い、レポート・発表といった形態を取り込むことにより、現代の世界情勢を身近なものにしていく。

(自学)板書ノートの充実と自らに学び研究できるものとして自主学習の区分をノートに位置づけた。

備考　詳細については、担当者に質問すること。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1PE
科目名	政治・経済 / Politics/Economics		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	池田 Ikeda				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　「政治」は、日本国憲法を中心に据え、下法としての刑法・民法や刑事訴訟法等々を、多くの判例とともに法律用語の解釈を行い、各々の条文を丁寧に検証していく。又、新聞・TVニュース他に時事問題の題材求め、その解説をほぼ毎日行う。
次に、「経済」は、マルクスやケインズの、一般的(古典的?)な経済理論や、その法則について講義を行う。又、古今の国内・外経済問題にも具体的に言及、それらを分析し解決策を探る。

備考　春・秋学期は、開講せず、冬学期に、3セクション開講。基本的に、オーソドックスな講義中心の授業進行。内容的には、政治(・法学):経済＝6(～7):(3～)4、の割合。

教科名	社会 － Social Studies	コースコード	SS1REL
科目名	宗教学 / Religion		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	2	履修期間	1 学期		
授業担当者	中村(/ダッタ他) Nakamura(/Datta/Ikeda)				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件

内容紹介　まずは、宗教の枠にとらわれず、担当者それぞれの生活・人生、宗教観、信条に基づいた立場から、授業を展開。
そうした中で、主に「キリスト教」・「ヒンズー教」等の基礎的な知識を学ぶ。同時に、カルトについての基礎的な知識も学ぶ。
十代の自分自身や、例えば、人間とは何か、についても考察する。講義中心だが、学期の最後に担当教員3人によるディスカッションも行う予定。
なお、宗教のジャンルとしては、ダッタは「ヒンズー教」を担当。

備考　ダッタが、全体24回の授業の内、各3回(予定)を担当。

数学の履修について

【概要】

千里国際学園数学科では、自主的・計画的に学習する姿勢を大切にし、家庭においても日常的に学習する習慣を身につけるよう指導しています。また、基本をしっかりと身につけた上で、大学進学にも十分対応できるレベルまで向上することを目標としています。成績は、単元別試験、授業への参加姿勢、小テストや課題・宿題の提出状況等を総合して評価します。

本校では、1999 年度から、生徒全員にグラフ電卓を持たせ、それを最大限に利用するユニークな授業を実践しています。数学科がグラフ電卓を授業の中心に据えているのは、主に次の理由によります。

現在世界中で、グラフ電卓の活用が急速に進んでおり、これによって、生徒が主体的に学習する授業が広がりつつあります。実際 1998 年には、米国の２つの州ですべての小・中・高生徒に無償でグラフ電卓を持たせるところまで来ており、さらに、米国全体及びカナダ、オセアニア、ヨーロッパ、アジアなど、世界中で多くの学校が積極的にグラフ電卓を導入しつつあります。私たちは、今後日本においてもグラフ電卓が教室で大活躍する時代が来ると確信しています。

IB（インターナショナル･バカロレア＝世界共通の大学入学資格試験）の科目（IB Math.S、IB Math.H）や、米国の大学で教養課程の単位として認められる AP テスト（Advanced Placement Test）の科目（Calculus、Statistics）、米国の大学で入学資格試験に使われる SAT（Scholastic Aptitude Test）においても、グラフ電卓の必要な問題が出題されています。

日本でも、現行の教育課程でグラフ電卓の使用がはじめて明示されました。中学校学習指導要領解説には､「電卓の手軽さとコンピュータの簡易機能を持ちあわせたグラフが表示できる電卓の活用も積極的に行いたい」と書かれています。

一部に、このようなテクノロジーの使用は計算力の低下を招くとの懸念もありますが、利用の仕方によっては充分回避できるものであり、必要以上に計算にかけていた時間を論理的思考にあてることの効果の方が大きいと考えています。

科目名と教科書との関連は、次のようになっています。数学基礎（数学基礎）、数学Ⅰα・Ⅰβ（高校数学Ⅰ）、数学Ⅱα・Ⅱβ（高校数学Ⅱ）、数学Ⅲα・Ⅲβ（高校数学Ⅲ）、数学Ａ（高校数学Ａ）、数学Ｂ（高校数学Ｂ）、数学Ｃ（高校数学Ｃ）。

【選択時の注意】

必修は数学基礎または数学Ⅰです。数学ⅠはⅠα・Ⅰβに分かれていますが、どちらからでも履修可能です。数学 A は必修ではありませんが、中学 3 年数学修了後履修可能です。Ⅰα・Ⅰβを修得した人は数学Ⅱα・数学Ⅱβ・数学Ｂをどの順でも選択履修可能です。以上全て履修後、

Ⅲα・Ⅲβ・Ｃを選択履修できますが、主に理系学部進学希望者対象です。Ⅲα・Ⅲβはこの順に履修します。数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲは、α・βの両方を履修して一つの科目です。大学受験向き演習としては、ⅠＡ演習Ｓ・Ｈと、ⅡＢ演習Ｓ・Ｈ、およびⅢC 演習を選択履修できます。数学講読は中３数学終了後、統計学／プログラミング演習（隔年開講）はⅠα終了後、物理数学はⅠα・Ⅰβ終了後いつでも選択履修できます。

【参考：大学入試科目】

私立大学文系学部の多くは数学なしで受験できます。中には「国語＋英語＋社会または数学」というところもあります。国公立大学と一部私立大学では、まず「大学入試センター試験」を受験し、その結果を参考にして希望大学に出願し、各大学で二次試験を受けます。この「センター試験」は、一部を除いて文系理系ともに７科目を受験せねばならず、数学の場合「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学Ａ」から１科目と、「数学Ⅱ」または「数学Ⅱ・数学Ｂ」から１科目の計２科目を選択します。このため、「センター試験」は、最も少ない場合で「数学Ⅰ」のみで受験できます。国公立大学文系学部は、二次試験に数学Ⅰ／Ⅱから１～２科目必修、数学Ａ／Ｂから０～２科目必修または選択というところがあります。理系学部の多くは数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの３科目必修、数学Ａ／Ｂ／Ｃから０～３科目必修または選択になります。尚、センター試験への「数学基礎」の導入は、現在大学入試センターで検討中であり、平成 18 年度入試までは「数学Ⅰ」のみで行われる予定です。

数学 － Mathematics

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1MS1
科目名	中学数学1 / MS Mathematics 1		

選択・必修　必修　　単位数

週間時間数　3　　履修期間　3 学期

授業担当者　数学科

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

A 数と式
(1) 正の数と負の数について具体的な場面での活動を通して理解し，その四則計算ができるようにする。
(2) 文字を用いて関係や法則を式に表現したり式の意味をよみとったりする能力を養うとともに，文字を用いた式の計算ができるようにする。
(3) 方程式について理解し，一元一次方程式を用いることができるようにする。
B 図 形
(1) 基本的な図形を見通しをもって作図する能力を伸ばすとともに，平面図形についての理解を深める。
(2) 図形を観察，操作や実験を通して考察し，空間図形についての理解を深める。また，図形の計量についての能力を伸ばす。
C 数量関係
(1) 具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して，比例，反比例の関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。

備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1MS2
科目名	中学数学2 / MS Mathematics 2		

選択・必修　必修　　単位数

週間時間数　3　　履修期間　3 学期

授業担当者　数学科

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件　中学数学1を修得済みの者。

内容紹介

A 数と式
(1) 事象の中に数量の関係を見いだし，それを文字を用いて式に表現し活用する能力を伸ばすとともに，文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
(2) 連立二元一次方程式について理解し，それを用いることができるようにする。
B 図 形
(1) 観察，操作や実験を通して，基本的な平面図形の性質を見いだし，平行線の性質を基にしてそれらを確かめることができるようにする。
(2) 平面図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ，論理的に考察する能力を養う。
C 数量関係
(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し，それらの変化や対応を調べることを通して，一次関数について理解するとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。
(2) 具体的な事象についての観察や実験を通して，確率について理解する。

備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1MS3
科目名	中学数学3 / MS Mathematics 3		

選択・必修　必修　　単位数

週間時間数　4　　履修期間　2 学期

授業担当者　数学科

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　中学数学2を修得済みの者。

内容紹介

A 数と式
(1) 正の数の平方根について理解し，それを用いることができるようにする。
(2) 文字を用いた簡単な多項式について，式の展開や因数分解ができるようにするとともに，目的に応じて式を変形できるようにする。
(3) 二次方程式について理解し，それを用いることができるようにする。
B 図 形
(1) 図形の性質を三角形の相似条件を基にして確かめ，論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
(2) 三平方の定理について理解し，それを用いることができるようにする。
C 数量関係
(1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し，それらの変化や対応を調べることを通して，関数 y=ax の2乗 について理解するとともに，関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。

備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1BM
科目名	数学基礎 / Basic Mathematics		

選択・必修　選択必修　　単位数　2　　開講時期

週間時間数　4　　履修期間　1 学期

授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　中学数学3を修得済みで、高等学校数学の必修として数学Ⅰα・数学Ⅰβを履修しない者または単位取得できなかった者。

内容紹介　この科目のみで高等学校数学の必修を終える人のためのコース。
（1） 数学と人間の活動
　数量や図形についての概念等が人間の活動にかかわって発展してきたことを理解し、数学に対する興味・関心を高める。
（2） 社会生活における数理的な考察
　社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察することを通して、数学の有用性などを知り、数学的な見方や考え方を豊かにする。
（3） 身近な統計
　目的に応じて資料を収集し、それを表やグラフなどを用いて整理するとともに、資料の傾向を代表値を用いてとらえるなど、統計の考えを理解し、それを活用できるようにする。

備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA11a
科目名	数学Ⅰα / Math I Alpha		

選択・必修　選択必修　　単位数　2　　開講時期

週間時間数　5　　履修期間　1 学期

授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　（1） 方程式と不等式
　数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、一次不等式及び二次方程式についての理解を深め、それらを活用できるようにする。
A 数と式 （ア） 実数 （イ） 式の展開と因数分解 B 一次不等式 C 二次方程式
（2） 二次関数
　二次関数について理解し，関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察や二次不等式を解くことなどに活用できるようにする。
A 二次関数とそのグラフ B 二次関数の値の変化 （ア） 二次関数の最大・最小 （イ） 二次不等式

備考　数学Ⅰβとは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA11b
科目名	数学Ⅰβ / Math I Beta		

選択・必修　選択必修　　単位数　2　　開講時期

週間時間数　4　　履修期間　1 学期

授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　図形と計量
　直角三角形における三角比の意味，それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解し，角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに，それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。
A 三角比 （ア） 正弦，余弦，正接 （イ） 三角比の相互関係 B 三角比と図形 （ア） 正弦定理，余弦定理 （イ） 図形の計量

備考　数学Ⅰαとは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA12c
科目名	数学Ⅱγ / Math II Gamma		

選択・必修　選択必修　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　数学科

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　数学Ⅰα、数学Ⅰβを修得済みの者。

内容紹介　式と証明・高次方程式
　式と証明についての理解を深め，方程式の解を発展的にとらえ，数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くことや因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。
A 式と証明 （ア） 整式の除法，分数式 （イ） 等式と不等式の証明 B 高次方程式 （ア） 複素数と二次方程式 （イ） 高次方程式

備考　数学A、数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Ⅱγは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1Ar
科目名	数学A / Math A		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　5　　履修期間　1 学期
授業担当者　数学科

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　(1) 平面図形
　三角形や円などの基本的な図形の性質についての理解を深め，図形の見方を豊かにするとともに，図形の性質を論理的に考察し処理できるようにする。
A 三角形の性質 B 円の性質
(2) 集合と論理
　図表示などを用いて集合についての基本的な事項を理解し，統合的に見ることの有用性を認識し，論理的な思考力を伸ばすとともに，それらを命題などの考察に生かすことができるようにする。
A 集合と要素の個数 B 命題と証明
(3) 場合の数と確率
具体的な事象の考察などを通して，順列・組合せや確率について理解し，不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに，事象を数学的に考察し処理できるようにする。
A 順列・組合せ B 確率とその基本的な法則 C 独立な試行と確率

備考　数学A、数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Ⅱγは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA12a
科目名	数学Ⅱα / Math II Alpha		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　5　　履修期間　1 学期
授業担当者　数学科

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　数学Ⅰα、数学Ⅰβを修得済みの者。

内容紹介　いろいろな関数
　三角関数，指数関数及び対数関数について理解し，関数についての理解を深め，それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。
A 三角関数 （ア） 角の拡張 （イ） 三角関数とその基本的な性質 （ウ） 三角関数の加法定理 B 指数関数と対数関数 （ア） 指数の拡張 （イ） 指数関数 （ウ） 対数関数

備考　数学A、数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Ⅱγは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA12b
科目名	数学Ⅱβ / Math II Beta		

選択・必修　自由選択　　単位数　2　　開講時期

週間時間数　5　　履修期間　1 学期

授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　数学Ⅰα、数学Ⅰβを修得済みの者。

内容紹介　(1) 図形と方程式
座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに，その有用性を認識し，いろいろな図形の考察に活用できるようにする。
A 点と直線 (ア) 点の座標 (イ) 直線の方程式 B 円 (ア) 円の方程式 (イ) 円と直線
(2) 微分・積分の考え
具体的な事象の考察を通して微分・積分の考えを理解し，それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにする。
A 微分の考え (ア) 微分係数と導関数 (イ) 導関数の応用，接線，関数値の増減 B 積分の考え (ア) 不定積分と定積分 (イ) 面積

備考　数学A、数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Ⅱγは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1Br
科目名	数学B / Math B		

選択・必修　自由選択　　単位数　2　　開講時期

週間時間数　5　　履修期間　1 学期

授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　数学Ⅰα、数学Ⅰβを修得済みの者。

内容紹介　(1) 数列
簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し，それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにする。
A 数列とその和 (ア) 等差数列と等比数列 (イ) いろいろな数列 B 漸化式と数学的帰納法 (ア) 漸化式と数列 (イ) 数学的帰納法
(2) ベクトル
ベクトルについての基本的な概念を理解し，基本的な図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し，いろいろな事象の考察に活用できるようにする。
A 平面上のベクトル (ア) ベクトルとその演算 (イ) ベクトルの内積 B 空間座標とベクトル 空間座標，空間におけるベクトル

備考　数学A、数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Ⅱγは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA13a
科目名	数学Ⅲα / Math III Alpha		

選択・必修　自由選択　　単位数　2　　開講時期

週間時間数　5　　履修期間　1 学期

授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	☑	☑
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβを修得済みの者。

内容紹介　(1) 極限
微分法，積分法の基礎として極限の概念を理解し，それを数列や関数値の極限の考察に活用できるようにする。
A 数列の極限 (ア) 数列の極限 (イ) 無限等比級数の和 B 関数とその極限 (ア) 合成関数と逆関数 (イ) 関数値の極限
(2) 微分法
いろいろな関数についての微分法を理解し，それを用いて関数値の増減やグラフの凹凸などを考察し，微分法の有用性を認識するとともに，具体的な事象の考察に活用できるようにする。
A 導関数 (ア) 関数の和・差・積・商の導関数 (イ) 合成関数の導関数 (ウ) 三角関数・指数関数・対数関数の導関数 B 導関数の応用，接線，関数値の増減，速度，加速度

備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教　科　名　数学 － Mathematics　　**コースコード**　**MA13b**
科　目　名　数学Ⅲβ　/　Math III Beta

選択・必修　自由選択　　**単位数**　2　　**開講時期**
週間時間数　4　　**履修期間**　1 学期
授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	☑	☑
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　数学Ⅲαを修得済みの者。
内容紹介　数学Ⅲαの続きのコース。
(3)　積分法
いろいろな関数についての積分法を理解し，その有用性を認識するとともに，図形の求積などに活用できるようにする。
A　不定積分と定積分　(ア)　積分とその基本的な性質　(イ)　簡単な置換積分法･部分積分法　(ウ)　いろいろな関数の積分　B　積分の応用　面積，体積
備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教　科　名　数学 － Mathematics　　**コースコード**　**MA1C**
科　目　名　数学C　/　Math C

選択・必修　自由選択　　**単位数**　2　　**開講時期**
週間時間数　4　　**履修期間**　1 学期
授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	□	☑	☑

履修条件　数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβを修得済みの者。
内容紹介　(1)　行列とその応用
行列の概念とその基本的な性質について理解し，数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，連立一次方程式を解くことや点の移動の考察などに活用できるようにする。
A　行列　(ア)　行列とその演算　和，差，実数倍　(イ)　行列の積と逆行列　B　行列の応用　(ア)　連立一次方程式　(イ)　点の移動
(2)　式と曲線
二次曲線の基本的な性質及び曲線がいろいろな式で表現できることを理解し，具体的な事象の考察に活用できるようにする。
A　二次曲線　(ア)　放物線　(イ)　楕円と双曲線　B　媒介変数表示と極座標　(ア)　曲線の媒介変数表示　(イ)　極座標と極方程式
備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教　科　名　数学 － Mathematics　　**コースコード**　**MA11APS**
科　目　名　数学ⅠA演習S　/　Math IA Practice S

選択・必修　自由選択　　**単位数**　1　　**開講時期**
週間時間数　2　　**履修期間**　1 学期
授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	☑	☑
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　数学Ⅰα、数学Ⅰβ、数学Aを修得済みの者。
内容紹介　数学Ⅰ、数学Aの内容をより深く理解することを目指し、入試の基礎レベルの問題までを扱う。
備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教　科　名　数学 － Mathematics　　**コースコード**　**MA11APH**
科　目　名　数学ⅠA演習H　/　Math IA Practice H

選択・必修　自由選択　　**単位数**　1　　**開講時期**
週間時間数　2　　**履修期間**　1 学期
授業担当者　数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	☑	☑
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　数学Ⅰα、数学Ⅰβ、数学Aを修得済みの者。
内容紹介　ⅠA演習Sよりも高度な入試問題を扱う。
備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名 数学 － Mathematics　**コースコード** MA12BPS
科目名 数学ⅡB演習S / Math IIB Practice S

選択・必修 自由選択　単位数 1　開講時期
週間時間数 2　履修期間 1 学期
授業担当者 数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	☑	☑
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件 数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Bを修得済みの者。
内容紹介 数学Ⅱ、数学Bの内容をより深く理解することを目指し、入試の基礎レベルの問題までを扱う。
備考 担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名 数学 － Mathematics　**コースコード** MA12BPH
科目名 数学ⅡB演習H / Math II B Practice H

選択・必修 自由選択　単位数 1　開講時期
週間時間数 2　履修期間 1 学期
授業担当者 数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	☑	☑
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件 数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Bを修得済みの者。
内容紹介 ⅡB演習Sよりも高度な入試問題を扱う。
備考 担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名 数学 － Mathematics　**コースコード** MA13CP
科目名 数学ⅢC演習 / Math III C Practice

選択・必修 自由選択　単位数 1　開講時期
週間時間数 2　履修期間 1 学期
授業担当者 数学科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	☑	☑
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件 数学Ⅲα、数学Cを修得済みの者。
内容紹介 数学Ⅲ、数学Cの内容をより深く理解することを目指し、入試の基礎レベルの問題から高度な問題までを扱う。
備考 担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名 数学 － Mathematics　**コースコード** MA1MR
科目名 数学講読 / Math Reading

選択・必修 自由選択　単位数 1　開講時期
週間時間数 2　履修期間 1 学期
授業担当者 馬場

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件 中学数学3を修得済みの者。
内容紹介 各自が興味を持った数学に関する話題について、易しい本を読んだりインターネットで調べたりしてレポートする。筆記試験は行わない。
備考 この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名 数学 － Mathematics　**コースコード** MA1PM
科目名 物理数学 / Physics Math

選択・必修 自由選択　単位数 1　開講時期
週間時間数 2　履修期間 1 学期
授業担当者 高橋

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件 数学Ⅰα・Ⅰβを修得済みの者。
内容紹介 物理で学習する諸法則の公式などを、数学的に導き、それを利用して問題を解いていく。所定の教科書・またはプリントを使って授業を行う。また、レポート課題を課す。筆記試験は行わない。
備考 履修条件は上記の通りであるが、特に将来物理を履修する予定の者か、現在物理を履修中、および既に物理Ⅰaまたは物理Ⅰbまたは物理Ⅱを修得済みの者が望ましい。
この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1PP
科目名	プログラミング演習 / Programming with graphing calculator		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　田中

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　数学Ⅰαを修得済みの者。

内容紹介　数学から題材をとり、プログラミングの演習を行う。プログラミングを通して、数学の内容をより深く学習することを目的とする。

備考　隔年（奇数年度）開講予定。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1ST
科目名	統計学 / Statistics		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　田中

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　数学Ⅰαを修了したもの。

内容紹介　理系ではもちろんのこと、文系でも経済、経営、社会、産業、心理学関係など多方面で統計学は必須のものとなっている。アメリカで高校在学中に大学初年度級程度の単位を修得できるAP(Advanced Placement)テストの数学でも微分積分と統計の2科目が行なわれている。資料の整理・分析の方法を、グラフ電卓やコンピューターを使って学ぶ。

備考　隔年（偶数年度）開講予定。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1P
科目名	数学的思考力を鍛える演習 / Mathematics Seminar		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　平尾
Hirao

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件

内容紹介

備考　この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1IBME
科目名	IB Math Extraction / IB Math Extraction		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　馬場

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　数学ⅠⅡABの内容を学習済みが望ましい

内容紹介　IB Math の中で日本の高校数学で扱われていないものを抜粋して学習し、世界標準の高校数学の知識獲得を目指します。主な内容は、複素数平面、ベクトルの外積、空間図形の方程式、行列式、一次変換、逆三角関数の微分積分、微分方程式など。IB Math の教科書を使用しますが、講義は日本語で行います。

備考　この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1BMM
科目名	数学基礎 / Basic Mathematics		

選択・必修	選択必修	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	数学科				秋学期	□	□	□	□	□	□
					冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　中学数学3を修得済みで、高等学校数学の必修として数学Ⅰα・数学Ⅰβを履修しない者または単位取得できなかった者。

内容紹介　この科目のみで高等学校数学の必修を終える人のためのコース。
（1） 数学と人間の活動
　数量や図形についての概念等が人間の活動にかかわって発展してきたことを理解し、数学に対する興味・関心を高める。
（2） 社会生活における数理的な考察
　社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察することを通して、数学の有用性などを知り、数学的な見方や考え方を豊かにする。
（3） 身近な統計
　目的に応じて資料を収集し、それを表やグラフなどを用いて整理するとともに、資料の傾向を代表値を用いてとらえるなど、統計の考えを理解し、それを活用できるようにする。

備考　担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA11aM
科目名	数学Ⅰα / Math I Alpha		

選択・必修	選択必修	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	数学科				秋学期	□	□	□	□	□	□
					冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　（1） 方程式と不等式
　数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、一次不等式及び二次方程式についての理解を深め、それらを活用できるようにする。
A 数と式 （ア） 実数 （イ） 式の展開と因数分解 B 一次不等式 C 二次方程式
（2） 二次関数
　二次関数について理解し，関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察や二次不等式を解くことなどに活用できるようにする。
A 二次関数とそのグラフ B 二次関数の値の変化 （ア） 二次関数の最大・最小 （イ） 二次不等式

備考　数学Ⅰβとは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA11bMS
科目名	数学Ⅰβ / Math I Beta		

選択・必修	選択必修	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	数学科				秋学期	□	□	□	□	□	□
					冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　図形と計量
　直角三角形における三角比の意味，それを鈍角まで拡張する意義及び図形の計量の基本的な性質について理解し，角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識するとともに，それらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。
A 三角比 （ア） 正弦，余弦，正接 （イ） 三角比の相互関係 B 三角比と図形 （ア） 正弦定理，余弦定理 （イ） 図形の計量

備考　数学Ⅰαとは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1ArM
科目名	数学A / Math A		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	数学科				秋学期	□	□	□	□	□	□
					冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　(1)　平面図形
　三角形や円などの基本的な図形の性質についての理解を深め，図形の見方を豊かにするとともに，図形の性質を論理的に考察し処理できるようにする。
A　三角形の性質　B　円の性質
(2)　集合と論理
　図表示などを用いて集合についての基本的な事項を理解し，統合的に見ることの有用性を認識し，論理的な思考力を伸ばすとともに，それらを命題などの考察に生かすことができるようにする。
A　集合と要素の個数　B　命題と証明
(3)　場合の数と確率
具体的な事象の考察などを通して，順列・組合せや確率について理解し，不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識するとともに，事象を数学的に考察し処理できるようにする。
A　順列・組合せ　B　確率とその基本的な法則　C　独立な試行と確率

備考　数学A、数学B、数学Ⅱα、数学Ⅱβ、数学Ⅱγは履修順自由。
担当者は学期によって変わるので、数学科で確認してください。

教科名	数学 － Mathematics	コースコード	MA1MRM
科目名	数学講読 / Math Reading		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	馬場				秋学期	□	□	□	□	□	□
					冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　各自が興味を持った数学に関する話題について、易しい本を読んだりインターネットで調べたりしてレポートする。筆記試験は行わない。

備考　この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

理科の履修について

理科では、中等部１年～3 年秋学期（第１～8 学期）までは、全員が共通の必修科目を履修します。

【開設科目 －中等部 3 年冬学期以降－】

物理分野・・・・・・物理Ⅰa、物理Ⅰb、物理Ⅱ1、物理Ⅱ2、物理演習、物理特論
化学分野・・・・・・理科総合 A、化学Ⅰ2、化学Ⅱ1、化学Ⅱ2、化学演習
生物分野・・・・・・理科総合 B、生物Ⅰ2、生物Ⅱa、生物Ⅱb、生物演習、生物自由研究
地学分野・・・・・・地学 a、地学 b、地学 c、地学演習
総合分野・・・・・・理科基礎、総合理科

- 物理・化学・生物の各分野における「Ⅰ」は、基礎的な内容の部分。「Ⅱ」はいわゆる理系科目で「Ⅰ」の内容をさらに発展させたもの。センター試験で出題されるのは「Ⅰ」の範囲である。ただし地学では各科目とも両方の内容を含むため「Ⅰ」と「Ⅱ」を分けていない。
- a・b・cの記号は、選択の順序を問わない科目を示す。
- 1・2 の数字は、選択の順序が決まっている科目を示す。
- 化学Ⅰ2の前に理科総合 A を、生物Ⅰ2の前には理科総合 B を選択する必要がある。
- 下線は選択必修科目、その他は自由選択科目である。
- 演習・自由研究・物理特論は 1 単位、その他はすべて 2 単位である。

【単位の修得】

高等部の 3 年の間に、物理・化学・生物・地学・総合の各分野の下線のついた選択必修科目から 2 科目（合計 4 単位）を必修とする。ただし、このうちの少なくともひとつは「理科総合 A」、「理科総合 B」、「理科基礎」でなければならない。また、異なる分野から 1 科目ずつ選択することが望ましい。

注――以降、「　」は文部科学省の指導要領に示された科目名を表す。

【各分野の特徴】

- 物理分野・・・・「物理Ⅰ」の内容が 2 つの科目 物理Ⅰa 、 物理Ⅰb に分かれている。どちらを先にとってもよい。ただし、物理Ⅱ1 の履修は、 物理Ⅰa と 物理Ⅰb の 4 単位を修得していることが必要である。
- 化学分野・・・・「化学Ⅰ」の前に「理科総合 A」を選択すること。化学Ⅱ1 の履修は、 化学Ⅰ2の 2 単位を修得していることが必要である。
- 生物分野・・・・「生物Ⅰ」の前に「理科総合 B」を選択すること。生物Ⅱ の履修は、 生物Ⅰ2の 2 単位

を修得していることが必要である。

- 地学分野‥‥「地学Ⅰ」と「地学Ⅱ」の内容を合わせて、3 つの科目 a から c に分かれている。履修に順序などの制限はない。このうち 2 科目取った場合には「地学Ⅰ」に 4 単位が認定される。3 科目取って「地学Ⅰ」に 4 単位、「地学Ⅱ」に 2 単位と割り振ることを望む場合は事前に申し出ること。
- 総合分野‥‥「理科基礎」は科学全般から環境問題へと発展させた内容になる。
  総合理科 は英語の教科者も貸し出して使い、「理科総合 A」として単位を認定する。

中等部（Gr.7～Gr.9）

Gr.7	基礎理科	必修
Gr.8	理科（物理分野）（化学分野）（生物分野）	
Gr.9	G 9 地学　　一般理科	

高等部（Gr.9～Gr.12）

	①	②	③	④	①～④の順に履修すること
化学分野	理科総合 A	化学Ⅰ2	化学Ⅱ1	化学Ⅱ2	①から選択必修 2つの分野からそれぞれ1科目以上選択。ただし、このうちの少なくともひとつは「理科総合A」・「理科総合 B」・「理科基礎」でなければならない。 (各２単位)
生物分野	理科総合 B	生物Ⅰ2	生物Ⅱa 生物Ⅱb		
物理分野	物理Ⅰａ（波動・電気） 物理Ⅰｂ（力学・熱）		物理Ⅱ1	物理Ⅱ2	
地学分野	地学ａ（地球科学） 地学ｂ（気象学・海洋学） 地学ｃ（宇宙科学）				
総合分野	理科基礎 総合理科（「理科総合 A」）				

その他	化学演習　物理演習 生物演習　物理特論 生物自由研究 地学演習	自由選択 (各１単位)

注　9 年生の冬学期は先取りとして高等部の授業を履修することができるが、単位は認められない。

理科 － Science

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BS
科目名	基礎理科 / Basic Science		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：

週間時間数：1.5　履修期間：2 学期

授業担当者：田中/真砂
Tanaka/ Masago

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件：

内容紹介：理科を徹底して体験する授業。たとえば顕微鏡なら、まず触ることから始め、自力で工夫して試してみる。最後には高度な操作ができるまで取り組む。時間さえかければ誰でもできるようになる。そこから自信が生まれ、次への挑戦につながる。今後の理科の学習のベースとなる「理科を学ぶ力」をつけることを目的としている。授業内容は、顕微鏡操作・ガスバーナーとガラス細工・自作実験器具で実験する・自分で計画を立てて実験するなど。また理科の言葉になれるため、授業ごとに授業レポートを提出すること。教科書やノートは使わない。

備考：

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1CH
科目名	理科(化学分野) / Science (Chemistry)		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：

週間時間数：5　履修期間：1 学期

授業担当者：新見
Shinmi

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件：

内容紹介：中学理科の化学的分野の中で、身の回りの物質、物質の変化、化学変化のきまりと原子・分子、水溶液と電流、そして酸・アルカリ・塩の内容を学習する。授業は約半分の時間を実験に費やし、自分から興味を持って積極的に勉強に取り組めるように進めている。

備考：8年生の理科は、物理、化学、生物を1学期ずつ学習していく。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BI
科目名	理科(生物分野) / Science(Biology)		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：

週間時間数：4　履修期間：1 学期

授業担当者：斉藤
Saito

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件：

内容紹介：初めて学習する生徒もいるので、やさしい内容から入っていく。
学習分野は、生物と無生物の違い、動植物のからだの構造と各部のはたらき、生物の分類. 生物を構成する細胞のつくり, 細胞の子供の残し方と染色体、生物どうしのつながりと物質の循環、など。
教科書に沿った授業のほか、実験や観察が多く体を通して学習内容を取得して行く。

備考：8年生の理科は、物理、化学、生物を1学期ずつ学習していく。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1PH
科目名	理科(物理分野) / Science (Physics)		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：

週間時間数：4　履修期間：1 学期

授業担当者：土佐
Tosa

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件：実験レポートや課題は多くないが、必ず期限を守って提出すること。授業に充分集中すること。

内容紹介：主に力、圧力と電流（直流回路）について学ぶ。
力の働きかたと性質について、さらに圧力、水圧、気圧について、基本的な考え方と原理を、実験を通して学習する。
電気については、電流、電圧、抵抗の基本的な概念を理解し、電流による発熱作用等について学ぶ。電流計、電圧計等の計器の扱いにも慣れ、簡単な直流回路での測定ができるようにする。
今まで他の科目で扱ったレポートとは基本的に異なる、実験レポートの書き方、グラフの処理の仕方についてもしっかりと理解して欲しい。

備考：8年生の理科は、物理、化学、生物を1学期ずつ学習していく。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC19ES
科目名	G9地学 / G9 Earth Science		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	田中				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Tanaka				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Term7、8のいずれかで履修すること。

内容紹介　宇宙から「地球」を見た宇宙飛行士は、その生き方すら変えることがあるという。いったい「地球」とはどのようなものなのか。私たちが住む「地球」の本当の姿を、知識ではなく感覚として理解することを目的とする。授業内容は、宇宙とは何か、私たちはどんな存在なのかを考え、実感宇宙学・活動する地球・日々の天気などについて学ぶ。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1GS
科目名	一般理科 / General Science		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	新見				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Shinmi				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　中学理科の総まとめとして問題演習をする。後半は各自で科学に関するテーマを決めて調査や実験に取り組み、その成果をレポートにまとめ、さらに発表も行なう。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1IS
科目名	総合理科 / Integrated Science		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	土佐				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Tosa				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　内容紹介を読んだうえで、興味を持って取り組める生徒。

内容紹介　私たちの周囲の自然（宇宙）についての仕組み・原理を解明しようとする人間の好奇心が科学を発展させてきた。その研究対象はきわめて広範であり、一学期でカバーすることはとうてい不可能である。そこで当クラスでは音や光に代表される波（波動）の現象を取り上げて学習する。「波と振動」は皆さんが持っているイメージよりずっと深く、宇宙（マクロ）から原子（ミクロ）まで、広範囲に科学的な原理の基礎になっているからである。
中心となるテキストは英文であるのでそのつもりで選択すること。ただし英文の表現自体は単純であり、クラスで読み合わせもおこなう。また理解を助け、現象を身近に感じてもらうためにﾃﾞﾓﾝｽﾄﾚｰｼｮﾝ（教師実験）などもできるだけ取り入れる。
同時に週1時間を各自それぞれの興味に応じた科学的テーマを選んでリサーチし、学期の最後にﾚｼﾞｭﾒにまとめてﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝをする。

備考　OISで使用している「Conceptual Physics」という教科書を貸し出して授業を行う。9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1SBd
科目名	理科基礎 / Scientific Base		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	田中				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Tanaka				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　科学全般から地球環境科学へ。地球がこの快適な環境を作り上げるのに数十億年の歳月を要した。今、その環境を人類は急激に変化させようとしている。地球に何が起ころうとしているのか。授業では話題の環境問題をただ取り上げるのではなく、まず「地球」を理解することから始める。その上で人類の活動が環境に与えつつある深刻な影響（酸性雨・地球温暖化・オゾンホールなど）について学ぶ。授業内容は、地球の歴史と環境変化・気候変動・環境と大陸の移動・生物と地球環境・大気とオゾン層・地球の酸性化・地球の温暖化・エネルギーと資源・さまざまな環境問題（環境ホルモンetc.）など。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ISAc
科目名	理科総合A ／ Integrated Science A		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	新見/土佐/真砂				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Shinmi/Tosa/Masago				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　G9地学を履修後は、自由に選択できる。

内容紹介　物質を原子のレベルから考えていく。内容は、物質の探求、物質の基本構成、原子と電子配置、周期表、物質量（モル）、化学反応式、化学反応式と量的関係、化学反応と熱、酸と塩基で、酸化還元反応など化学Ⅰの教科書の前半からとる。化学だけでなく、高校で学ぶ理科の基礎になる事項を、じっくり考えながら確実に身につけていきたい。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。
教科書は理科総合Aと化学Ⅰの両方を使用する。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1CH12r
科目名	化学Ⅰ2(無機・有機) ／ Chemistry Ⅰ2 (Inorganic, Organic)		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	新見				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Shinmi				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　理科総合Aを履修していること。

内容紹介　理科総合Aの続きとして、まず前半は無機物質（周期表と元素の性質、非金属及び金属の単体と化合物）に関する学習を、さらに後半は有機化合物（有機化合物の特徴と構造、炭化水素、酸素を含む有機化合物、そして芳香物化合物）に関する学習を実験を通して確実に身につくようにする。教科書や問題集以外にも多くの副教材（日本語/英語プリント）を使用し、化学に関する幅広い知識の習得を目指す。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1CH21
科目名	化学Ⅱ1 ／ Chemistry Ⅱ 1		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	新見				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Shinmi				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　化学Ⅰ2を履修していること。

内容紹介　化学Ⅱ1では、化学Ⅰ2に続き、化学結合、物質の状態、反応の速さと平衡、プラスチックの化学、食品の化学、衣料の化学、金属・セラミックの化学、生命の化学、薬品の化学の学習を行う。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1CH22
科目名	化学Ⅱ2 ／ Chemistry Ⅱ 2		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	新見				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Shinmi				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　化学Ⅱ1 を履修していること。

内容紹介　化学Ⅱ2では、これまでに得た化学の知識を基に、深く興味や関心を持った化学的な現象や実験についてのテーマを選び、自分なりに創意工夫した課題研究をし、その結果を研究レポートとしてまとめ上げる。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1CHS
科目名	化学演習 / Chemistry Seminar		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　真砂
Masago

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　化学Ⅰ2を履修していること。

内容紹介　化学Ⅰの範囲で、できるだけ数多くの問題を解く。希望があれば化学Ⅱの範囲も含めたい。まずはセンター試験対応の問題集から解き始める予定。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ISB
科目名	理科総合B / Integrated Science B		

選択・必修　選択必修　単位数　2
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　斉藤
Saito

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　生物の基礎的な部分のうち、次の内容を学習する。
＊　生物体のつくりと働きについて…細胞の構造・機能・細胞分裂と生物のからだの構造。
＊　どのようにして生殖に関係した細胞ができ、受精するか。またその結果、どのように細胞が分裂し生物の体ができていくかとか、発生途中の胚を使って行われたいろいろな実験の紹介。どのように遺伝形質が子供に伝わっていくのかなど。遺伝子とはどんな物質か、どのようにして発見されたか、など。

中学の復習を含めてやさしい内容から入っていく。実験観察は、とても多い。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。
教科書は理科総合Bと生物Ⅰの両方を使用する。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BI12
科目名	生物Ⅰ2(生物探求) / Biology Ⅰ2 (Bio Investigations)		

選択・必修　自由選択　単位数　2
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　斉藤
Saito

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　理科総合Bを履修していること。

内容紹介　理科総合Bで学習したことを元に、さらに広い内容を学習する。学習分野は、
＊神経の構造と働きや動物の神経系・動物の行動について
＊体の中の環境・体液について・肝臓や腎臓の働きについて、また、ホルモンと自律神経のはたらきについて学習した後、体の状態がどのようにして一定に保たれているのか、そのしくみを学習する。
＊植物の生活について…光合成や環境が植物の生活に及ぼす影響について、植物の成長のしくみと調節。
実験や観察はとても多い。また授業は質問を多くして、その答についてはみんなで考えながら進めていく。
各項目は、基礎的なことから説明をする。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BI2a
科目名	生物Ⅱa(生命・進化) / Biology II a(Life)		

選択・必修　自由選択　単位数　2
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　斉藤
Saito

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　生物Ⅰ2 を履修していること。

内容紹介　生物Ⅱaは次の2つの部分からなっている。
前半では、遺伝子の本体であるDNAについての構造や働きを学習。また、生命現象をつかさどるたんぱく質・酵素の特性やはたらき、免疫のしくみについて。光合成や呼吸の詳しいしくみ(どのようにして生物は外部からエネルギー源を取り入れるのか、どのようにして食べたものからエネルギーを取り出して生きているかなど)について学習。
後半は各自研究課題を設定し、個人研究となる。
より生物、生命現象について深く理解するため、個人研究をとおして生命の秘密を探ってほしい。

備考　生物Ⅱの一部。ⅡaとⅡb はどちらを先に取っても構わない。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BI2b
科目名	生物Ⅱb / Biology Ⅱ b		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　3　履修期間　1 学期
授業担当者　斉藤
Saito

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	☑	☑
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　生物Ⅰ2 を履修していること。

内容紹介　生物Ⅱbでは次の項目を学習する。
＊生命がどのように誕生し、そこから生まれた生物がどのようにして進化してきたか。また、生物が進化してきた証拠や仕組みについて考える。
＊多様な生物はどのようにしたらうまく分類できるのか。また、生物集団としての生活と環境変化に伴う生物数の変動。生態系の構造とその変動や平衡。地球環境の現状を考え、その保護を考える。

備考　生物Ⅱの一部。Ⅱａ とⅡｂ はどちらを先に取っても構わない。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BIS
科目名	生物演習 / Biology Seminar		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　斉藤
Saito

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	☑	☑
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　生物Ⅰ2 を履修していること。

内容紹介　生物Ⅰの範囲で、多くの問題を練習していく。毎回指定範囲の試験。内容に関する質問は、授業時間以外の生徒の空き時間に受け付ける。1学期間で生物Ⅰの内容をすべてカバー。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BIR
科目名	生物自由研究 / Biology Research		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　斉藤
Saito

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　生物に関係した自由研究で、ふだんから調べてみたいと思っていたことや、授業で学習したことをさらに深く研究してみたい場合、各自が計画を立てて研究していくといった内容。教師は個人個人にあったやりかたで補佐していく。帰国後まもなく、生物の学習に不安があるような場合でも、これから学習していくであろう内容について基礎的な事を、自分なりに教師の助言をもとに学習していくといった学習研究も考えられる。個人のニーズに合ったかなり広い内容を考えている。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1PH1A
科目名	物理Ⅰa(波動・電気) / Physics Ⅰ a		

選択・必修　選択必修　単位数　2
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　土佐
Tosa

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	☑	☑
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　物理Ⅰａ 、物理Ⅰｂ はどちらを先に履修しても構わない。

内容紹介　物理Ⅰの教科書を使って、主に波動と電気に関する分野を学習する。
波動分野…波の一般的性質とさまざまな現象、音波、光波
電気分野…静電気、電流（直流と交流）の基礎。
自然の事象を分析的に考察することによって、知識として覚えるのでなく、基本となる原理を理解することで科学的な自然観を養ってほしい

備考　特に復習をしっかりと行うこと。
毎年秋学期に開講。2008、2010年のように偶数年には春学期にも開講される。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1PH1B
科目名	物理Ⅰb(力学・熱) / Physics Ⅰb		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	☑	☑
授業担当者	土佐				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Tosa				冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　物理Ⅰa 、物理Ⅰb はどちらを先に履修しても構わない。

内容紹介　物理Ⅰの教科書を使って、主に力と運動に関する分野を学習する。
力学分野…力の働き、物体の運動、仕事とエネルギー
熱分野…気体の熱的性質、熱と仕事とエネルギー
自然の事象を分析的に考察することによって、知識として覚えるのでなく、基本となる原理を理解することで科学的な自然観を養ってほしい。

備考　特に復習をしっかりと行うこと。
毎年冬学期に開講。2009、2011年のように奇数年には春学期にも開講される。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1PH21
科目名	物理Ⅱ1 / Physics Ⅱ 1		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	☑	☑
授業担当者	土佐				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Tosa				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　原則として物理Ⅰa 、物理Ⅰb ともに履修していること。

内容紹介　物理Ⅱの教科書を使用して、物理Ⅰで扱った範囲をさらに深めながら発展させていく。
力学分野…放物運動、運動量と力積、円運動と単振動
電気と磁気…電流と磁界の関係、電磁誘導、交流、電磁波
気体分子の運動…気体の法則、内部エネルギー、状態変化

備考　物理Ⅱの前半部分。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1PH22r
科目名	物理Ⅱ2 / Physics Ⅱ 2		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	土佐				秋学期	□	□	□	□	☑	☑
	Tosa				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　原則として物理Ⅰa 、Ⅰb、Ⅱ1 をすべて履修していること。

内容紹介　物理Ⅱの教科書を使用して、以下の分野を学習する。
原子物理分野…原子・電子と物質の性質
原子核と核反応…光・物質の波動性と粒子性、原子の構造とｽﾍﾟｸﾄﾙ、放射線

備考　物理Ⅱの後半部分。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1PHSP
科目名	物理特論 / Physics Special Lecture		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	土佐				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Tosa				冬学期	□	□	□	□	☑	☑

履修条件　原則として物理Ⅰ を履修していること。物理未履修者は選択前に土佐まで相談に来ること。

内容紹介　物理Ⅰでの理解を基礎にしながらそれをこえた範囲のテーマを扱う。
たとえば、現在の高校ｶﾘｷｭﾗﾑでは扱われていないが、回転運動（注：円運動ではない）とそれに伴う角運動量、エネルギーの概念は物理/化学/工学において大変重要な位置を占めている。また特殊相対性理論も知的興味を引くテーマであり、数学的にも比較的容易に扱えるものである。
受講者の理解度、環境条件、希望により、テーマに応じた実験も取り入れる。物理Ⅱの範囲に相当する実験も、時間をかけて取り組む。
英文テキストを用いることもある。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1PHS
科目名	物理演習 / Physics Seminar		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	土佐				秋学期	□	□	□	□	☑	☑
	Tosa				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　原則として物理Ⅰ、Ⅱすべてを履修していること。Ⅱは未履修であっても選択したいひとは担当教員に相談すること。

内容紹介　物理Ⅰ、Ⅱすべての範囲で、できるだけ多くの問題を解くことによって理解を確実にし、大学受験への自信を養う。

備考　物理Ⅰの範囲のみの演習希望の人は、与えられる問題の中から該当する問題を選んで取り組めばよい。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ESA
科目名	地学a (地球) / Earth Science － a (The Earth)		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	☑	☑	☑
授業担当者	田中				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Tanaka				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件

内容紹介　地球科学。誕生したばかりの灼熱の地球は、やがて表面が冷え固まり海と陸を形作った。現在も内部に残る大量の熱によって大陸が移動し、大山脈が生まれ、地震や火山噴火が起こる。われわれが住む地球の本当の姿を理解することを目的とする。授業内容は、地球史とプルームテクトニクスを中心に、地球の内部構造・地磁気・地震・火山・地形・地層・岩石・化石・地質年代（古生代・中生代・新生代）など。地学Ⅰと地学Ⅱの教科書を使う。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ESB
科目名	地学b (気象・海洋) / Earth Science － b (Meteorology)		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	田中				秋学期	□	□	□	□	☑	☑
	Tanaka				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件

内容紹介　気象学および海洋学。地球の表面（大気圏と海）で起こるさまざまな現象（天気の変化・台風・雲・風・海流など）について学習する。簡単な天気予報ができるようになることをひとつの目標とし、またエルニーニョ現象など気象に影響を与える海洋の現象にも触れる。地学Ⅰと地学Ⅱの教科書を使う。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ESC
科目名	地学c (宇宙) / Earth Science － c (Universe)		

選択・必修	選択必修	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	田中				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Tanaka				冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　宇宙科学。宇宙はどのように誕生し、成長してきたか。そして今、科学がどこまで宇宙の本当の姿に迫ることができたか。宇宙についてさまざまな角度から学習する。授業内容は、太陽系の惑星・太陽・恒星・超新星爆発・ブラックホール・中性子星・星雲・銀河・宇宙の大規模構造・ビックバン理論など。地学Ⅰと地学Ⅱの教科書を使う。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ESS
科目名	地学演習 / Earth Science – Semi.		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
授業担当者	田中				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Tanaka				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　地学a,b,cを履修していることが望ましい。

内容紹介　センター試験等の受験準備のための授業。主に問題演習を行うが、受講生の希望を聞きながら詳細は決定する。

備考

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ISM
科目名	総合理科 / Integrated Science		

選択・必修	選択必修	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	土佐				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Tosa				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件　内容紹介を読んだうえで、興味を持って取り組める生徒。

内容紹介　私たちの周囲の自然(宇宙)についての仕組み・原理を解明しようとする人間の好奇心が科学を発展させてきた。その研究対象はきわめて広範であり、一学期でカバーすることはとうてい不可能である。そこで当クラスでは音や光に代表される波(波動)の現象を取り上げて学習する。「波と振動」は皆さんが持っているイメージよりずっと深く、宇宙(マクロ)から原子(ミクロ)まで、広範囲に科学的な原理の基礎になっているからである。
中心となるテキストは英文であるのでそのつもりで選択すること。ただし英文の表現自体は単純であり、クラスで読み合わせもおこなう。また理解を助け、現象を身近に感じてもらうためにﾃﾞﾓﾝｽﾄﾚｰｼｮﾝ(教師実験)などもできるだけ取り入れる。
同時に週1時間を各自それぞれの興味に応じた科学的テーマを選んでリサーチし、学期の最後にﾚｼﾞｭﾒにまとめてﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝをする。

備考　OISで使用している「Conceptual Physics」という教科書を貸し出して授業を行う。9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ISAcM
科目名	理科総合A / Integrated Science A		

選択・必修	選択必修	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	新見/土佐/真砂				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Shinmi/Tosa/Masago				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件　G9地学を履修後は、自由に選択できる。

内容紹介　物質を原子のレベルから考えていく。内容は、物質の探求、物質の基本構成、原子と電子配置、周期表、物質量(モル)、化学反応式、化学反応式と量的関係、化学反応と熱、酸と塩基で、酸化還元反応など化学Ｉの教科書の前半からとる。化学だけでなく、高校で学ぶ理科の基礎になる事項を、じっくり考えながら確実に身につけていきたい。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。
教科書は理科総合Aと化学Ｉの両方を使用する。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1ISBM
科目名	理科総合B / Integrated Science B		

選択・必修	選択必修	単位数	0	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	斉藤 Saito				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　生物の基礎的な部分のうち、次の内容を学習する。
＊　生物体のつくりと働きについて…細胞の構造・機能・細胞分裂と生物のからだの構造。
＊　どのようにして生殖に関係した細胞ができ、受精するか。またその結果、どのように細胞が分裂し生物の体ができていくかとか、発生途中の胚を使って行われたいろいろな実験の紹介。どのように遺伝形質が子供に伝わっていくのかなど。遺伝子とはどんな物質か、どのようにして発見されたか、など。

中学の復習を含めてやさしい内容から入っていく。実験観察は、とても多い。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。
教科書は理科総合Bと生物Ｉの両方を使用する。

教科名	理科 － Science	コースコード	SC1BIRM
科目名	生物自由研究 / Biology Research		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	
週間時間数	2	履修期間	1 学期		
授業担当者	斉藤 Saito				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　生物に関係した自由研究で、ふだんから調べてみたいと思っていたことや、授業で学習したことをさらに深く研究してみたい場合、各自が計画を立てて研究していくといった内容。教師は個人個人にあったやりかたで補佐していく。帰国後まもなく、生物の学習に不安があるような場合でも、これから学習していくであろう内容について基礎的な事を、自分なりに教師の助言をもとに学習していくといった学習研究も考えられる。個人のニーズに合ったかなり広い内容を考えている。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

英語科のレベル

s（標準）レベルの生徒

- 多くの場合、帰国生徒ではないか、海外に居住していても、日本人学校に通っていた。
- 英語学習のほぼ初心者の段階にある。海外居住経験がなくて、7 年生に入学してきた場合は、英語学習経験がないと予想される。(時には、個人で会話学校に通っている場合もあるが)
- 中学校で時間を費やすのは、高校になってから、あるいは英語を話す環境におかれたとき、他人と自信をもって、英語でのやりとりができるような技能を身につけることである。
- “文学と文化”、“英語の構造”、“英語の総仕上げ”のコースの準備のための授業をとる。
- 中学でＳ(標準)レベルを成功裏に終えることができると、*i* レベルにあがることになる。

i（中級レベル）の生徒

- ふつう、1 年から 2 年海外に居住していたか、日本国内に在住していても、英語に接触する機会があった。
- 英語の 4 技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）すべてに渡って、中級程度の流暢さを持っている。
- より長い文章を読むことと、構成のしっかりしたうけこたえを書くことができ、十分に文法的な正確さもある。
- 口頭での発表ができ、自分自身や、他人の考えをまとめたり、表現することができ、ディスカッションに参加することができる。
- 自分で考えて文を書き、話をすることで、個人としての読み・書きのスタイルを伸ばし続ける。
- 英語を書いたり話したりすることに比べて、読んだり聞いたりすることのほうが、すぐれている場合がよくある。

h（上級レベル）の生徒

- 3 年又はそれ以上の年数、海外に住んでいたか、あるいは、日本国内で、相当量の英語に接触する機会があった。
- 英語の 4 技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）すべてに渡って、上級程度の流暢さを持っている。
- 英語を書く上で熟練しており、自分の考えを自由に表現することができ、*i* レベルに比べると、文法的ミスも少ない。
- 英語の話し手として、ネイティブに近い能力をもっており、ディスカッションを初め、進めていくことができ、自分の考えを詳しく述べることができる。
- 様々な語彙を使いこなし、*i* レベルの生徒よりもさらに複雑な文法を使い、書いたり話したりすることができる。
- 授業の課題として、長い小説や複雑な文章を読む。
- 文章に対して、深く、批判的に反応し、ディスカッションや作文の中で、自由に自分の考えを表現する。
- 言語能力と思考能力を伸ばすことに重点をおき、複雑な考えや、意見そして感情を無理なく、自信と熱意をもって、表現することができるようになる。英語のスキルは、大人になってからも、使い続けるものとなる。

h+（ネイティブレベル）の生徒

- ふつう、海外に 4 年か、それ以上住み、日本にすんでいた場合は、豊富で絶え間ない英語との接触があった。
- ネイティブ英語話者と同じ程度の流暢さにまで、英語を伸ばし、広範囲で豊富な語彙、熟語を使いこなす。英語が第一言語という者も含まれる。
- 日常生活の中で、自然に英語を使い、ほかのレベルの生徒であれば困難を感じるような場面でも、問題ない。
- 英語と日本語の両方の技能をバランスよく伸ばし、均衡のとれたバイリンガルになることを目標とする。
- 書いたり話したりするときに、かなりの程度まで、文法的な正確さを持っている。
- 希望するものは、海外の大学への進学の準備のために、言語能力・思考能力を伸ばすことに重点をおく。
- 大阪インターナショナルスクールの授業を受けるのにふさわしい英語能力をもっている。

ENGLISH LEVELS

s (Standard) Level Students

- Typically are not returnees, or have lived overseas but attended Japanese schools.
- Are at or near the beginning stage of English learning. Those who enter at grade 7 without having lived overseas are not expected to have studied English, although some students have attended language schools.
- Spend middle-school years developing skills that help them confidently interact with others in high school, as well as other English-speaking environments.
- Take courses that prepare them for Literature and Culture classes, Structure, and Mastery courses.
- Automatically placed in *i*-Level after successfully completing all *s*-Level courses in middle school.

i (Intermediate) Level Students

- Generally have lived overseas for one or two years, or have had exposure to English in Japan.
- Have an intermediate degree of fluency in all areas of English (listening, speaking, reading, writing).
- Can read longer texts and write structured responses, with sufficient grammatical accuracy.
- Can make oral presentations, can express and summarize their own ideas and those of others, and participate in discussions.
- Continue to develop their individual writing and speaking styles through original writing and speeches.
- Are usually more proficient readers and listeners than writers and speakers.

h (Higher) Level Students

- Generally have lived overseas for three or more years, or had a great deal of exposure to English in Japan.
- Have attained an advanced degree of fluency in all areas of English (listening, speaking, reading, writing).
- Write proficiently, expressing their ideas freely and communicating with fewer grammatical errors than *i*-Level students.
- Are strong near-native speakers, able to initiate and maintain discussions and to elaborate on their ideas.
- Use a variety of vocabulary and incorporate more complex grammatical structures in their writing and speaking.
- Read long novels and complex texts as part of their course work.
- Respond to texts thoughtfully and critically, freely expressing ideas in discussions and in written work.
- Focus on expanding their language and thinking skills so they can communicate complex ideas, opinions, and feelings with comfort, confidence, and enthusiasm, English skills they will continue to use throughout their adult lives.

h+ (Higher Plus) Level Students

- Generally have lived overseas for four or more years, or have had extensive and consistent exposure to English in Japan.
- Have developed the same level of fluency as native speakers of English, with a wide variety of vocabulary, collocations, and idioms. For some, English is their first language.
- Use English naturally in their daily lives, without the difficulties that students in other levels face.
- Aim to become a bilingual student, balancing both Japanese and English with equal skill.

- Write and speak with a great deal of grammatical accuracy.
- Focus on expanding their language and thinking skills to prepare them for higher education overseas, if they choose to do so.
- Are eligible to take English courses in Osaka International School.

An Overview of High School Elective Courses

(Before choosing a class, make sure you check
the detailed information in this book.)

SPRING	***i* level**	hours/week	***h* level**	hours/week
	Structure 1	5	Focus on Form a	5
	Mastery Grammar	3	Mastery Grammar	3
	Mastery Reading	2	Mastery Reading	2
			Translation	2
	Schindler's List	5	IB Eng A: Lit. Analysis/Research	5
	IB Eng B: Lonely Planet (also ***h***)	5	IB Eng B: Lonely Planet (also ***i***)	5
	MUN (Kyoto) - even year	4	Research Writing	4
	Children's Literature - odd year	4	Speech and Debate	3
	Storytelling	3	Short Stories	3
	Video: Stand by Me - even year	3	Nonfiction I	2
	Video: Shawshank Redemption - odd year	3		
	Media in English	3		
	Focus on Australia (also ***s***)	2		

FALL	***i* level**	hours/week	***h* level**	hours/week
	Structure 1	5	Focus on Form b	5
	Structure 2	5	Mastery Grammar	3
	Structure 3	5	Mastery Reading	2
	Mastery Grammar	3	Intro. to Cultural Psych. (also ***i***)	2
	Mastery Reading	2		
	Intro. to Cultural Psych. (also ***h***)	2		
	IB Eng B: Outsiders (also ***h***)	5	Creative Writing	5
	Short Stories	3	IB Eng A: Poetry and Drama	5
	Speech and Debate	4	IB Eng B: Outsiders (also ***i***)	5
	Wuthering Heights	3	Children's Literature	4
	Journeys	4	Human Rights - even year	4
			Native American in Literature - odd year	4
			New Zealand Studies	2
			Nonfiction II	2

WINTER	***i* level**	hours/week	***h* level**	hours/week
	Structure 2	5	Focus on Form a	5
	Structure 3	5	Focus on Form b	5
	Translation	2	English Through Music (also ***i***)	2
	English Through Music (also ***h***)	2	Bilingualism (also ***i***)	2
	Bilingualism (also ***h***)	2	Intro. to Linguistics (also ***i***)	2
	Intro. to Linguistics (also ***h***)	2		
	IB Eng B: Culture Shock (also ***h***)	5	MUN (Marist)	5
	The Great Gatsby	5	Pride and Prejudice	5
	Poetry	4	IB Eng A: Novel and Drama	5
	Video: Shawshank Redemption - even year	3	IB Eng B: Culture Shock (also ***i***)	5
	Video: Stand by Me - odd year	3	Shakespeare: Romeo and Juliet - even year	4
			Shakespeare: Twelfth Night - odd year	4
			Speaking Performance	4

英語科から、履修する時期を指定する科目

9 年生 *s* レベル

	Spring	Fall	Winter
G9 *s*	Com-1*s*	Com-2 *s*	Com-3 *s*
	(Focus on Australia)		

- Communication 1 *s*, 2 *s*, 3 *s* は、表のとおり決められたときにとってください.
- Communication 3 を終えた時点で自動的に *i* レベルになりますので、ここからは下の *i* レベルの説明をよく読んで授業選択をしてください.

10 年生 *s* レベル

	Spring	Fall	Winter
G10 *s*	Com-1 *s*	Com-2 *s*	Com-3 *s*
	St-1 *i*	St-1/2/3 *i*	St-2/3 *i*

- Communication 1 *s*, 2 *s*, 3 *s* は表のとおり決められた時にとってください.
- 同時に Structure のコースをとり始めることができますが、その場合、かならず Structure 1 *i* からはじめてください.
- Communication 3 を終えた時点で自動的に *i* レベルになりますので、ここからは下の *i* レベルの説明をよく読んで授業選択をしてください.

i レベル

それぞれの学年でとることのできる授業は以下のとおりです.

	Spring	Fall	Winter
G9 *i*	Com-1 *i*	Com-2 *i*	Com-3 *i*
G10-11*i*	(St-1 *i*)	(St-1/2/3 *i*)	(St-2/3 *i*)
	Any *i*-level courses		
G12 *i*	Mastery G *i* /Mastery R *i*	Mastery G *i* / Mastery R *i*	
	Any *i*-level courses		

- 9 年生の間は、Communication 1 *i*, 2 *i*, 3 *i* を、表のとおり決められたときにとってください
- 選択科目の *i* -level コースは、10 年生から取り始めることができます。
- Structure のコースは、2 *i*, 3 *i* をとる前にかならず 1*i* をとっておくこと
- 12 年生で Mastery を取る前に Structure 1 *i* , 2 *i* , 3 *i* をすべてとっておくこと.即ち、遅くとも 11 年生秋学期に Structure 1 *i* を、冬学期に Structure 2 *i* , 3 *i* をとっておくこと

h レベル

それぞれの学年でとることのできる授業は以下のとおりです

	Spring	Fall	Winter
G9 *h*	Com-1 *h*	Com-2 *h*	Com-3 *h*
G10 -11 *h*	Focus on Form a *h*	Focus on Form b *h*	Focus on Form a/b *h*
	Any *h*-level courses		
G12 *h*	Focus on Form a *h*	Focus on Form b *h*	Focus on Form a/b *h*
	Mastery-G *h* / Mastery-R *h*	Mastery-G *h* / Mastery-R *h*	
	Any *h*-level courses		

- 9 年生の間は、Communication 1 *h*, 2 *h*, 3 *h* を、表のとおり決められた学期にとってください
- 選択科目の *h*-level コースは、10 年生から取り始めることができます。
- Mastery をとる前に Focus on Form a *h*, -b *h* の両方をとっておく必要があります。11 年生の終わりに、Focus on Form b *h* をとらなかった場合は、12 年生で Mastery を取れません。Focus on Form b *h* をすでにとっており、さらに 12 年生の春学期に Focus on Form a をとった場合は、12 年生の秋学期に Mastery をとることはできます。
- 無理のない取りかたをするためには、Focus on Form a *h* を 11 年生の春学期の時点で、Focus on Form b *h* を 11 年生の冬学期の時点でとり終えておくことを薦めます。

h+ レベル

上記の *h* レベルの授業を同じようにとることができますが、それに加えて下の表の授業をとることを強く勧めます.

SIS での学年	クラス･コース
9 年生秋学期	OIS 9A
9 年生冬学期	OIS 9B
10 年生春学期	OIS 9C
10 年生秋学期	OIS 10A
10 年生冬学期	OIS 10B
11 年生春学期	OIS 10C
10 年生秋学期か 11 年生秋学期	SIS International Baccalaureate (IB)
11 年生秋学期から 12 年生春学期	OIS International Baccalaureate (IB)

- 9 年生の春学期は Communication 1- *h* や他の *h* レベル用のコースを取ることができます。
- OISG9,G10 の 6 つのクラスは継続してすべてを受講しなければなりません.
- OIS-IB プログラムに参加するためには OIS G9, G10 の 6 つのクラスをとっていなければなりません。
- SIS-IB は、10 年生秋学期､11 年生秋学期のどちらからでもはじめられます。10 年生から始める人は､OIS9A,9B,9C を､11 年生から始める人は OIS9, 10 の 6 つのクラス全てを終えておくことを強くすすめます。
- OIS10C(11 年生春学期)までを終えた生徒は、Mastery をとる前に Focus on Form b *h* をとっておく必要があります。Focus on Form b *h* は、秋学期と冬学期にのみ提供されています。OIS10C(11 年生春学期)までを終えなかった生徒は、Focus on Form a *h* と Focus on Form b *h* の両方を、Mastery をとるまでに終えておかなければいけません。

Mastery コース (12 年生 *i*, *h*, *h*+ レベル)

- Mastery は、週 3 回の文法中心の Mastery G と週 2 回の読解中心の Mastery R の二つのクラスがあり、春学期と秋学期に分けてとっても、ひとつの学期に同時にとっても構いません。

✪同じ記号のコースを繰り返してとることはできません。聴講(単位、成績を求めず授業に参加すること)も認められていません.

英語 － English

教科名	英語 － English	コースコード	EN17sE
科目名	Grade 7 English s (E)		

選択・必修　必修　　単位数
週間時間数　2　　履修期間　3 学期
授業担当者　Arunski/Namba, F.

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　Grade 7 S (E) Englishは中学1年の初級レベルの生徒が対象。英語のネイティブスピーカーが週2回担当し、メインの英語クラスを補足する。このコースでは、生徒が英語を話し、聞き、読み、書く能力を高めながら自信と責任感を身に付けることを目指す。なめらかに話せるようになることと聞き取り能力を高めることに重点を置くが、特に正しい発音、リズム、イントネーションに注意を払う。
評価は宿題、授業への積極的な参加、大小のテスト、自由読書の課題、そして全般的な英語力の向上具合を基に行う。

The Grade 7 S (E) English course is for first-year middle school beginning language students. The course is taught twice a week by a native-English speaking teacher and is meant as a supplement to the students' main English course. The course aims to develop confidence and responsibility in the students as they improve and take charge of their English speaking, listening, reading, and writing skills. Emphasis is given to the development of oral fluency and listening comprehension, with particular attention given to proper pronunciation, rhythm, and intonation.

備考　Open to s level.

教科名	英語 － English	コースコード	EN17sJ
科目名	Grade 7 English s (J)		

選択・必修　必修　　単位数
週間時間数　4　　履修期間　3 学期
授業担当者　難波K/山本
Namba, K. /Yamamoto

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　Cambridge Worldwideを中心に、サイドリーディングやビデオなどを利用して英語をバランスよく学習する。また、この一年で予習・復習の習慣、各種課題の取り組みかたを身につけていく。
英語の音とつづりの関係について学ぶ。基本的な文法を習得し、英語をつかえるようになる。またクラス内で、英語を使うことを習慣づけることを目標とする。

備考　7年sレベル生対象。

教科名	英語 － English	コースコード	EN18sE
科目名	Grade 8 English s (E)		

選択・必修　必修　　単位数
週間時間数　2　　履修期間　3 学期
授業担当者　Avery/Ray/Udy

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件　Grade 7s (E) English

内容紹介　このコースは中学2年生が対象。英語のネイティブスピーカーが担当し、メインの英語クラスを補足する。このコースでは、生徒が話し、聞き、読み、書く力を高めながら自信と責任感を身に付けることを目指す。なめらかに話せるようになることと聞き取り能力を高めることに重点を置くが、特に正しい発音、リズム、イントネーションに注意を払う。
評価は授業への取り組み、参加態度、口頭発表、宿題、テストの結果をもとに行う。

テキスト：Cambridge English Worldwide Book 2

This course is for second-year middle school students. This course is taught by a native English speaking teacher and is meant to supplement the main English course. The course aims to develop confidence and responsibility in the students as they improve their listening, reading, writing, and speaking skills. The course aims to introduce grammar to students in a way that enables natural acquisition. Emphasis is given to speaking and listening comprehension, with particular attention given to proper pronounciation, fluency and accuracy. Assessment is based upon classwork, participation, oral performance work, homework, and tests.

Texts: Cambridge English Worldwide Book 2

備考　Open to 8s.

教科名	英語 － English	コースコード	EN18sJ
科目名	Grade 8 English s (J)		

選択・必修　必修　　単位数

週間時間数　4　　履修期間　3 学期

授業担当者　井藤/水口
Ito/Minakuchi

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　Cambridge English Worldwide <Student's Book Two>をメインの教材として用い、総合的に英語の4技能(Speaking, Listening, Writing, Reading)を習得しながら世界の気候、文化、スポーツ、生活、環境問題などの題材について理解を深めることをめざす。
受動的な知識の習得にとどまらず、英語で自分の考えをまとめ、書く、話す、発表する、などの形で発信していく手段についてのトレーニングを行う。
また、一般に日本の学校で中学三年生までに習得するべきとされている文法事項、単語もこの学年終了までに習得する。

備考　8年生sレベル生対象。

教科名	英語 － English	コースコード	EN178iE
科目名	Grade 7/8 i (E) English		

選択・必修　必修　　単位数

週間時間数　4　　履修期間　3 学期

授業担当者　Namba, F. /Udy

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　The grade 7/8i English course is for students who have an intermediate ability in the language. The study of English literature will teach students to identify literary themes and techniques.They will also be encouraged to become independent readers in English. Through research projects and presentations, students will use the Internet, encyclopedias, dictionaries and thesauruses and begin to work on speaking and discussion skills. The course also includes ESL based activities which aim at expanding vocabulary and improving fluency.
Possible texts include: Zlata's Diary by Zlata Filipovic, Mrs Frisby and the Rats of NIMH by Robert O'Brien, Lockie Leonard by Tim Winton, Bill's New Frock by Anne Fine and Maniac Magee by Jerry Spinelli

備考　Open to i level

教科名	英語 － English	コースコード	EN178iJ
科目名	Grade 7/8 i (J) English		

選択・必修　必修　　単位数

週間時間数　1　　履修期間　3 学期

授業担当者　水口
Minakuchi

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　ある程度の英語力をもった7年生と8年生を対象に特に語彙と文法に力をいれて正確で高度な英語表現ができるようにし、ネイティブスピーカーのクラスで取り組むライティングに活かせるようにする。

This is a special class for English learners with some overseas experience and advanced English ability. This class is designed to support your writing in your class with a native teacher; we will study the grammar and spelling you need to write well.

備考　Open to 7/8 i level.

教科名	英語 － English	コースコード	EN178hE
科目名	Grade 7/8 h (E)		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	3 学期		春学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Mills/Namba, F.				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course is for returnee students with advanced English ability. We place a strong emphasis on the development of vocabulary, reading, writing and speaking skills. Students are encouraged to read widely and independently, as well as studying a variety of genres in class. Poetry, short-stories, novels and drama are all studied in some depth over the two years. Students learn to write in a variety of ways, such as in response to literature, creative writing, news articles and research reports. Group projects will concentrate on developing students' planning, research and presentation skills.

備考 Open to h level.

教科名	英語 － English	コースコード	EN178hJ
科目名	Grade 7/8 h (J) English		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	1	履修期間	3 学期		春学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
授業担当者	山本				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	Yamamoto				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 このコースではより高度な英文における正確な文法力をつけながら、英語と日本語の両言語による英文法用語に慣れていくよう指導します。また、和訳学習も行い、「真剣」で「楽しい」文脈を通してその技術を磨いていきます。

This course provides an introduction to English and Japanese grammar terms as well as providing the opportunity for students to work on grammatical accuracy in more complex English language structures. Students will be introduced to translation skills and encouraged to practice these skills in both 'serious' and 'fun' contexts.

Text: various

備考 Open to h level.

教科名	英語 － English	コースコード	EN178hpE
科目名	Grade 7/8 h+(E)		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	3 学期		春学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Avery				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

7/8h+コースは、読解力、思考力、論証力を伸ばすことを目的とする。広範な文学作品の勉強を通じて、生徒は作家が用いるスタイルや技巧の効果を学ぶ。自分自身や社会的関心に関連して文学作品を評価し、感情的にも分析的にも自分の考えを明瞭に表現できる能力を身に付けることが期待される。フォーマル及びインフォーマルな調査研究及び文書にまとめる能力の基礎を紹介し、段落やより長い文章の簡単な構成パターンも学ぶ。このクラスの生徒は考えや主張を論理的かつ説得力のある形にまとめ、関連する例を挙げて論証できる能力を身につけることが期待される。またこのコースではクリエイティブ・ライティングにも力を入れ、生徒は読書とボキャブラリーの宿題に加え、作文の宿題も頻繁に出される。
評価は授業への取り組み、宿題そして期末試験を基に行う。
テキスト(予定):I Am The Cheese by Robert Cormier, The Pigman by Zindel, The Hobbit by J.R.R Tolkien, The Diary of Anne Frank, A Midsummer Night's Dream by William Shakespeare

The 7/8h+ course is designed to facilitate the development of reading, writing, thinking, and discursive skills. Through the study of a broad range of literature students are expected to develop an awareness of the effects of styles and techniques employed by authors. They are expected to evaluate literary works in relation to self and social concerns, and to develop in their ability to articulate both emotional and analytical responses. Students will be introduced to basic formal and informal research and documentation skills, and to simple organizational patterns for paragraphs and essays. Students in this class will be encouraged to develop their abilities to structure ideas and arguments in writing in a sustained and logical fashion, and support them with relevant examples. Creative writing also forms a major component of this course, and students can expect regular writing homework assignments as well as assignments in reading and vocabulary.
Assessment is based on class work, homework and final examinations.

Texts may include: I Am The Cheese by Robert Cormier, The Pigman by Paul Zindel, The Hobbit by J.R.R Tolkien, and The Diary of Anne Frank, A Midsummer Night's Dream by William Shakespeare

備考 Open to h+ level.

教科名	英語 － English	コースコード	EN178hpJ
科目名	Grade 7/8 h+(J) English		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	1	履修期間	3 学期		春学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
授業担当者	井藤				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	Ito				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

このコースは、週に一度の日本人教員による英語の授業です。すでにNative Speaker並みの高い英語力を持つみなさんが、英語そのものの技能を高めるということはもちろん、英語と日本語の言語としての違いということを意識しつつ、バイリンガルとして言語や言語を取り巻く環境により敏感になってくれることを目的としています。

A Japanese teacher of English meets you once a week. We learn about the languages-not only English, but more about the relationships between English and Japanese. Topics for each trimester are (1) Bilingualism, (2) Interpretation, (3) Translation, (4) Expressions, (5) Grammar, and (6) Speech.

備考 Open to h+ level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1Cs
科目名	HS Communication s		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	3 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	Namba, F./Udy/Arunski				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
					冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 This course is required for 9th grade s-level students, along with s-level grade 10 students who have just entered SIS.

内容紹介 春学期、生徒はいろいろな活動の中で、基本的な英語のしくみと言葉を練習し、強化します。英語を流暢に書いたり話したりする力を高めることにも取り組みます。学期を通じて、エッセイを書く力を伸ばすことに、大きな重点がおかれます。このために、グループやクラス全体でのディスカッションをしたり、毎週出される課題があり、それをコンピューターを使って修正したり、打ち込んだりします。読むことに関しても、生徒は各自で読み進めたり、クラス単位で読んだりすることに取り組みます。
　秋学期と冬学期には、文学作品について、どのように勉強をし、書き、話をするのかを学びます。活動としては、英語の小説を基にして、ディスカッション、劇、語彙の強化、創作、短いエッセー、ジャーナルなどに取り組みます。また文法についても学び、一方では、定期的に行われるさまざまな話題に関するスピーチを通して、正確な発音や流暢さを身に付けることも行います。

In the spring trimester students will be given a wide range of opportunities to practice and consolidate basic English structures and vocabulary. They will be encouraged to develop fluency in written and spoken English. Throughout the term the development of essay writing skills is given a high priority through group and class discussion, weekly writing assignments and computer lab lessons for revising and typing. Students are also encouraged to read, and will spend time reading both independently and as a class.
In the fall and winter trimesters students will learn how to study, write and talk about literature. Activities will include discussion, drama, vocabulary building, creative writing, short essays and journal entries about English novels. Students will also study grammar, while working on pronunciation and fluency, through giving regular speeches on a variety of topics.

Texts may include: The Monkey's Paw by W.W. Jacobs, The Silver Sword by Ian Serraillier or The Diary of Anne Frank and About a Boy by Nick Hornby.

備考 This is a one-year intensive course designed to give s-level students the academic and linguistic skills necessary to make a successful transition to high school English classes.
これは一年の集中コースであり、s レベルの9年生の生徒が、これからのハイスクールでの英語のクラスで、必要な言語能力・学習能力をつけるためのコースです。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1Ci
科目名	HS Communication i		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	3 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐
授業担当者	Ray/Udy				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 This course is open to (and required for) 9th grade i-level students, along with selected grade 10i students who have just entered SIS.

内容紹介 春学期のコミュニケーション i のクラスでは、リスニング能力を高める事、沢山本を読む事、そして流暢に英語を書け,そして話せるようになる事を目指します。特に話す能力を高める場面では、少人数制でのグループワークやクラス内でのプレゼンテーションなども予定しています。書くことに関しては、段落レベルで内容的につながりのある文を書けるようになることと、ジャーナルを書くことに焦点をあてます。
秋学期のコミュニケーションiクラスでは、文学分析、熟読、個人プレゼンテーション、そしてエッセーを書くことなどを中心に取り組んでいきます。読む題材としては、小説やほかのフィクションを扱います。
冬学期のコミュニケーションi クラスでは、ノンフィクションの文学を学んだり、リサーチそしてディベートなどもします。主なプロジェクトとして、かなりの量のリサーチペーパーを書くことになります。
各学期、計200語の英単語のテストがあります。

The Spring trimester of Communication i focuses on listening skills, extensive reading, and speaking and writing fluency. Speaking activities will focus on, but not be limited to, small-group discussions and class presentations. Writing activities will focus on paragraph-level coherence and journal writing.
The Fall trimester of Communication I focuses on literary analysis, close reading, individual presentations and essay writing. Reading texts will be novels and other works of fiction.
The Winter trimester of Communication i focuses on non-fiction, research and debate. The main writing project will be a substantial research paper.
Each trimester, students will be tested on approximately 200 vocabulary words.

備考 This is a one-year intensive course designed to give i-level 9th grade students the academic and linguistic skills necessary to make a successful transition to high school English classes.
これは一年の集中コースであり、i レベルの9年生の生徒が、これからのハイスクールでの英語のクラスで、必要な言語能力・学習能力をつけるためのコースです。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1Ch
科目名	HS Communication h		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	3 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐
授業担当者	Brown				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 This course is required of all grade 9h students (and in spring trimester, h+ students), along with selected grade 10h students who have just entered SIS.

内容紹介 In the spring term, this Communication h/h+ course focuses on improving reading, writing, listening, speaking, and viewing skills, building on students's past work in SIS middle school English classes. We will explore themes of growing up, the self and others, and our social environment.

The fall term of Communication h continues to focus on literary analysis, close reading, individual presentations and essay writing.

The winter trimester of Communication h focuses on nonfiction, research and debate. Students will learn how to conduct responsible research, then write a research paper following the writing process.

備考 This is a one-year intensive course designed to give h-level grade 9 students the academic and linguistic skills necessary to make a successful transition to high school English classes.

教科名	英語 － English	コースコード	EN1ES1i
科目名	English Structure 1		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	水口/山本/難波K				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Minakuchi/Yamamoto/Namba, K.				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 このクラスは高校レベルの英文法の導入コースで、具体的には英文の基礎構造の理解から始め、時制、態、助動詞、名詞、冠詞、数の一致を取り扱う。それと同時に、コンスタントに単語テストを行い、語彙力の向上を目指す。また、Communication 1～3で培った能力の維持を目指し、スピーキング、リーディング、ライティングアクティビティも随時行う。

備考 Communication 1,2,3 を履修したi レベル生対象。G10－11で履修することが望ましい。
ただし、G10 Sレベルの生徒は、Communication 1,2と並行してとることができる。
この授業はStructure 2, 3 さらにG12でMastery Gi とMastery Riを取る際の必修条件となっている。
この後にStructure2,3のどちらから取り始めてもよい。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1ES2i
科目名	English Structure 2		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	水口 / (井藤)				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Minakuchi/(Ito)				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 G10-12でStructure1を既に履修した者。

内容紹介 Structureのクラスではより高度な英文を理解し、運用できるようになるための語彙と英文法の学習を中心に勉強をしています。特にStructure 2では動詞に準じた働きをする「不定詞・分詞・動名詞」にテーマをしぼって、基礎から実用までしっかり理解し、それらをライティングやスピーキングに反映させられるようたくさん練習をこなしていきます。語彙についてはStructure 1・3と同じように「ターゲット1900」を使って、801~1500までの語の意味と使い方を勉強します。

備考 i レベル生対象。G10-11で履修することが望ましい。ただしG10sレベルの生徒は、Communication2,3と並行してとることができる。この授業はG12でMastery Gi とMastery Riを取る際の必修条件となっている。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1ES3i
科目名	English Structure 3		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	山本 / (井藤)				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Yamamoto/(Ito)				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　G10-12でStructure1を既に履修した者。

内容紹介　Structure 1の学習に続き、英文法・英文解釈・語彙をバランスよく学習すると同時に強化教材を加えより深い学習を目指す。具体的には、関係詞、比較、仮定法、話法の学習を行う。

備考　i レベル生対象。G10-11で履修することが望ましい。G10sレベルの生徒は、Communication2,3と並行してとることができる。この授業はG12でMastery Gi とMastery Riを取る際の必修条件となっている。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1Fah
科目名	Focus on Form a		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	井藤				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Ito				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　海外生活の中で学んできた英語を文法の面から増強する。
内容は大きく分けてGrammar（文法）と Translation(訳読)と そしてVocabulary build-up(語彙力増強)になる。
(1)Grammarでは、重要な文法項目である準動詞（不定詞、分詞、動名詞）を中心に学習し、これまでも使ってきた文法表現を言語学的なアプローチで分析、整理し、正確に使いこなせるようになるまで習熟することを目的とする。
(2)Translationでは、英文の文構造を的確に捉えることができるようになることを大きな目標とし、英語の語順どおりに翻訳する方法、日本語としての自然さを大切にして翻訳する方法、の両方法のアプローチを取り入れる。
(3)Vocabulary build-upは、市販のTarget1900を習得単語リストとして用い、英英辞典を活用しながら英単語の実践的な運用能力を高める。（扱う範囲は1～950）

備考　h レベル生対象。G10,11での履修が望ましい。
Focus on Form のaとbはどちらから取ってもよい。
h+ レベルの生徒でOIS English 10を取り終えている場合(11年生春学期)は、Focus on Form bのみが必修となる。しかし、英語科としては、両方を履修することを強く勧める。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1Fbh
科目名	Focus on Form b		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	難波K				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Namba, K.				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　海外生活の中で学んできた英語を文法の面から増強する。
教材としては、英米のものを導入に使い,最後に日本の問題集に取り組む形をとる。
語彙力増強、文法、翻訳の3つの内容について学習する。
1）語彙に関しては、Target1900を単語リストとして使用するが、日本語の訳を丸暗記するのではなく、ひとつの語に関して、同意語・反意語・品詞変換・コロケーション（単語同士の特定の結びつき：熟語）といった要素をからめて学習する。英英辞典を主に使用し、コンテクスト（文脈）の中で、単語を使えることをめざす。
2) 文法に関しては、S+V+X(主語＋述語動詞＋α)の単純な形の英文からさらに発展して、S+V+S+V(主語＋述語動詞が2組ある文）について学ぶ。具体的には、話法・仮定法・関係詞・比較といった項目を扱う。Fluency（流暢さ）とAccuracy（正確さ）の両方をバランスよく身に付け、言葉のForm（形）とFunction（機能）の両方を的確に使えることをめざす。
3) 翻訳に関しては、英語の情報の流れを活かすために、そのまま頭から訳していく方法を身につけ、同時に日本語としても自然な表現になることをめざす。文法項目にあわせた構文の教材と時事英語の音声素材をあわせて使用する。

備考　h, h+レベル生対象。G10,11での履修が望ましい。
Focus on Form a, b はどちらからとってもよい。この授業は、Mastery GhとMasery Rhを取るための必修条件となっている。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1EMGi
科目名	English Mastery Grammar i		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	☑
授業担当者	井藤/山本				秋学期	□	□	□	□	□	☑
	Ito/Yamamoto				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　Structure 1, 2, 3を全て終えていること。

内容紹介　SISでの英語学習の総まとめとして、Structure で学んできた文法・語彙の学習項目の確認をし、さらに将来の進路に向けて発展的な学習を行う。
1) 必須文法項目について、講義を行い、確認テストをする。
2) 多角的な語彙力をつけるために、英英辞典を利用した学習法を用い、ターゲット1900の中の1～1270の単語の習得をめざす。
3) 日本語から英語の翻訳も文法項目に応じて取り組む。

備考　English Mastery Grammar i とEnglish Mastery Reading i はどちらを先にとっても、あるいは同時にとってもかまわない。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1EMGh
科目名	English Mastery Grammar h		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	☑
授業担当者	難波K/山本				秋学期	□	□	□	□	□	☑
	Namba, K. /Yamamoto				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　Focus on Form a, Focus on Form bを取り終えていること。ただし、h＋レベルで、OIS English 10 を取り終えた生徒（11年生春学期まで）は、Focus on Form bのみが履修条件となる

内容紹介　SISでの英語学習の総まとめとして、Focus on Form a, b で学んできた文法・語彙の学習項目の確認をし、さらに将来の進路に向けて発展的な学習を行う。
1) 必須文法項目について、講義を行い、確認テストをする。
2) 多角的な語彙力をつけるために、英英辞典を利用した学習法を用い、ターゲット1900の中の1～1270の単語の習得をめざす。また熟語表現にも注目し、前置詞、句動詞、イディオムにつても学習する。
3) 日本語から英語への翻訳も、文法項目に応じて取り組む。

備考　English Mastery Grammar h とEnglish Mastery Reading h はどちらを先にとっても、あるいは同時にとってもかまわない。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1EMRi
科目名	English Mastery Reading i		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	☑
授業担当者	難波K/山本				秋学期	□	□	□	□	□	☑
	Namba, K. /Yamamoto				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　Structure 1,2,3をすべて終えていること。

内容紹介　SISでの英語学習の総まとめとしてのMasteryコースの授業である。長文を題材として、読解・文法・語彙などをふくめた英語の総合的学習に焦点を当てた授業である。Targetの単語は、1271-1900を扱う。

備考　i レベル生対象。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1EMRh
科目名	English Mastery Reading h		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	☑
授業担当者	水口/井藤				秋学期	□	□	□	□	□	☑
	Minakuchi/Ito				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　Focus on Form a, Focus on Form bを取り終えていること。ただし、h+レベルで、OIS English 10 を取り終えた生徒（11年生春学期まで）は、Focus on Form bのみが履修条件となる

内容紹介　SISでの英語学習の総まとめとしてのMasteryコースの授業である。長文を題材として、読解・文法・語彙などをふくめた英語の総合的学習に焦点を当てた授業を行う。Targetの単語は、1271-1900を扱う。

備考　h、h+レベル生対象。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1TRi
科目名	Translation i		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	井藤				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Ito				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Structure 1を終えていることが望ましい。

内容紹介　英文の意味内容を理解し、わかりやすい日本語に翻訳する技術を習得する。
週二時間の授業を曜日で分け、一方の曜日では「翻訳講座」と題し、翻訳の基本的な考え方、字幕翻訳、絵本翻訳、歌詞の翻訳などについて少しずつ取り組んだ後、翻訳英文法に焦点を当てる。
他方の曜日では、「映画翻訳」と題し、ひとつの映画のせりふをすべて日本語に訳し、教室では訳してきたせりふを劇の形で発表しあう。

備考　G10-12のi レベル生対象。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1TRh
科目名	Translation h		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	難波K				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Namba, K.				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Focus on Form b または、Focus on Form a を終えていることが望ましい。

内容紹介　英文の意味内容を理解し、わかりやすい日本語に翻訳する技術を学習する。翻訳英文法を中心に、映画・ニュース・歌などさまざまなジャンルの英文を扱う。
翻訳英文法:なめらかな日本語に訳す
時事英語の同時通訳:英語のニュースを聞いて、その場で日本語に訳す
字幕翻訳:DVDの映画を用いて、字幕・吹き替えの翻訳
この他にも
歌詞翻訳、イディオム(ことわざ・熟語)の翻訳などについてもとりあげる

備考　G10-12の h、h+レベル生対象。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC1h
科目名	Language and Culture 1: Speaking Performance		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	ハイマー				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Heimer				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　In the Speaking Performance class, students… well, speak and perform. Students participate in a variety of speaking activities, including speech recitations, dramatic scenes, oral reading, role playing, improvisation, and original skits. In-class work leads to a series of public speaking performances.

備考　Open to G10-12 h and h+ level.

教科名	英語 － English	コースコード	EN1LC5i
科目名	Language and Culture 5: Model United Nations i		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	4	履修期間	1 学期		
授業担当者	Avery				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

「次のスピーカーは日本代表です」
その代表は君かも知れない。このコースでは生徒は模擬国連(MUN=Model United Nations)に参加する。生徒は特定の国の代表を務める中で、世界的に問題となっているある特定の事柄を研究し、自分の国が会議で提言できる解決策を見つける。会議はニューヨークの国際連合で使われるのと同じ形式を使って行なう。MUNの準備をするかたわら、生徒はディスカッションとロールプレイを通じて流暢さを身につけ、演説能力を高め、調査の技術に磨きをかける。5月に開催される模擬MUNに参加するほか、6月に開催される本番のMUNにも両日にわたって参加する。評価はMUNに向けての準備、自己評価、及びコースの全課程への参加を基に行なう。
テキスト:A Guide to Delegate Preparation

"The next speaker is the delegate from Japan."
That delegate could be you! In this course, students will have the opportunity to participate in a Model United Nations meeting. The students, who will all act as delegates for a particular country, will thoroughly research world problems directly affecting children and find a solution their country can present at the meeting. The meeting is run using a format closely resembling the one used at the United Nations in New York. While preparing for the MUN, the students can develop fluency through discussions and role plays, improve their public speaking skills and fine tune their research skills. The students will be expected to participate in a 'mock' MUN in May and all three days of the MUN in June. Assessment will be based on the preparation the students do for the MUN, a self-evaluation and their participation in all aspects of the course.

Text: A Guide to Delegate Preparation.
Note: This course is offered every second year, alternating with Children's Literature I.

備考

Open to G10-12 i level.
Although this course is in spring, it will be very helpful if students could let me know if they plan to the course in February. The reason for this is because we need to apply for seats at the MUN and I need to know how many students from SIS will be attending. Thank you.
2006年、08年、10年の春学期に開講される。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1LC5h
科目名	Language and Culture 5: Model United Nations h		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	Avery				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介

「次のスピーカーは日本代表です」
その代表は君かも知れない。このコースでは生徒は模擬国連(MUN=Model United Nations)に参加する。生徒は特定の国の代表を務める中で、世界的に問題となっているある特定の事柄を研究し、自分の国が会議で提言できる解決策を見つける。会議はニューヨークの国際連合で使われるのと同じ形式を使って行なう。MUNの準備をするかたわら、生徒はディスカッションとロールプレイを通じて流暢さを身につけ、演説能力を高め、調査の技術に磨きをかける。10月に開催される模擬MUNに参加するほか、11月に開催される本番のMUNにも両日にわたって参加する。評価はMUNに向けての準備、自己評価、及びコースの全課程への参加を基に行なう。
テキスト:A Guide to Delegate Preparation

"The next speaker is the delegate from Japan."
That delegate could be you! In this course, students will have the opportunity to participate in a Model United Nations meeting. It is an opportunity to participate in decision-making in a very structured and formal environment. The students, who will all act as delegates for a particular country, will thoroughly research world problems and work towards finding a solution their country can present at the meeting. The meeting is run using a meeting format which resembles that which is used at the United Nations in New York. While preparing for the MUN, the students develop fluency through discussions and role plays, improve their public speaking skills and fine tune their research skills. The students will be expected to participate in 'mock' MUN meetings on Tuesday afternoons for one hour. These are like practice meetings that enable you to develop fluency when using the formal language that is required at the meeting. The mock MUN meetings are held with the OIS MUN class. Students will also be required to attend all three days of the meeting at Marist College in the first or second week of March. Assessment will be based on the preparation the students do for the MUN, a self-evaluation and their participation in all aspects of the course.

Text: A Guide to Delegate Preparation.

備考

Open to G10-12 h and h+ level.
Although this course is in winter, it will be very helpful if students could let me know if they plan to the course in September. The reason for this is because we need to apply for seats at the MUN and I need to know how many students from SIS will be attending. Thank you.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1LC7ih
科目名	Language and Culture 7: Bilingualism		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	2	履修期間	1 学期		
授業担当者	井藤 Ito				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介

Bilingualismの理論と現状を学ぶ。それにより、自分自身の過去の海外体験やこれまでの英語学習が今後も有効に活用されることを目的とする。
1) Definition and Measurement
2) Bilingualism and Linguistics
3) Bilingualism and Society
4) Bilingualism and Psychology
の4つのセクションから成る。
日本語と英語のレトリックの違いに注目し、英語らしいエッセイの書き方も学ぶ。各セクションごとにエッセイを書き、最終的にFinal Projectとしてまとめる。その他の課題としては、Reading、発表の準備などがある。授業は レクチャー、実験、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなどを含む。

備考

Open to G10-12 i, h, h+ levels
以前はhレベルのコースとしていましたが、iレベルの人でもこの内容に興味がある人にはぜひ履修していただきたいと思い、i,hレベル両方にオープンしています。ただし、リーディング資料とエッセイライティングの課題はhクラスのレベルにあわせている、ということを理解しておいて下さい。尚、i レベルで履修する人は必ず事前に相談に来て下さい。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC8ih
科目名	Language and Culture 8 : English Through Music		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	難波K				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Namba, K.				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　歌や音楽を通して英語や英米の文化を学ぶコースです。英語で歌を歌うこと、歌詞を日本語に訳すこと、ロックの歴史やアーティスト・歌の背景について英語で学ぶことなどに取り組むことによって、Listening,Speaking,Reading,Writingの4技能を高めることを目指す。アーティスト、音楽のジャンルなどについてリサーチをして、それをエッセイ、パフォーマンスなどの形で、発表する。

備考　Open to G10-12 i, h, h+
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC9ih
科目名	Language and Culture 9: An Introduction to Cultural Psychology		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	山本				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Yamamoto				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　このコースでは文化がいかに人々の性格や行動に影響を与えるかを心理学における簡単な資料を英語で読むことによって学ぶ。その手始めとして、コースの前半では、心理学とはどんな学問であるかをプリントやクラスアクティビティなどを通して、簡単に紹介し、その基礎知識をベースに、後半では文化が人の成長や行動に与える影響について書かれた文献を読み、その話題についてディスカッションを行ったり、アクティビティをする予定。心理学や異文化コミュニケーションといった分野に興味のある人、または、社会科学系の文章を英語で読みたい人に勧める。

This course is designed to introduce students how cultures affect our behaviors (ex. How we see ourselves and others; how we interact with others) from the psychological perspective. The course will start with a brief introduction to the field of psychology so that students may get familiar with psychological way of thinking and writing in English. In the second half of the class, students will be exposed to English writing on how cultures affect our psychological process and engage in some in-class discussion and activities on the topic.

備考　Open to G10-12 h level, i level with permission.
i 、h両方向けとなっているが，授業は基本的に全て英語で行われ，題材もhレベルのものになるので，i レベルの人は履修前に話にきて，内容の確認をして欲しい。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC14si
科目名	Language and Culture 14: Focus on Australia		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	Avery				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　この講座ではオーストラリアの社会について、多様な角度から学習していきます。また、オーストラリアの言語や芸術、音楽についても学ぶことができます。実際に授業の中で、ディジュリデューが演奏できるか、またブーメランが投げられるかどうかやってみよう。学期中にオーストラリアの高校生と手紙、写真、情報交換を行い、オーストラリアの習慣について勉強します。日常的に行われる会話練習やさまざまな特別活動を通して、語彙力や会話技能を伸ばしていくことができます。この講座の最後にオーストラリアの食べ物について勉強しますが、「ベジマイト」と聞いて心配する必要はありません。きっと「この味はいける」とわかるかもしれません。

In this course, you will study many aspects of Australian society. You will be able to learn about the language, art and music of Australia. Let's see if you can make a sound on a digeridoo, or throw a boomerang. During the trimester, you may be able to exchange letters, photos and information with students from an Australian high school and learn about customs in Australia. You will watch two videos: one about tradtional Australia and one about modern Australia. Practicing daily conversation and various extension activities will expand your vocabulary and conversation skills. The course will finish with a study of Australian food, but don't worry too much if you've heard about Vegemite. You might just discover that you like it!

備考　Open to s level

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC16h
科目名	Language and Culture 16: Nonfiction		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　Brown

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　In this course, we will read and discuss a selection of nonfiction essays based on personal and cultural issues. Students will also write essays reflecting certain themes, essays that are modeled on those they read. We will learn about creative nonfiction, often found in highly-regarded magazines such as the New Yorker, Harper's, and the Atlantic Monthly. Through discussions about what makes our selected nonfiction essays effective, students will learn good writing techniques.

備考　Open to G10-12 h and h+ levels. Nonfiction II (LC26H) is a different course, a companion to Nonfiction I, but the essays studied focus on social and historical issues; you can take this course even if you have taken LC26H, Nonfiction II.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC18h
科目名	Language and Culture 18: Research Writing		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　4　　履修期間　1 学期
授業担当者　Brown

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　In this course students will learn how to investigate topics, conduct research, and communicate observations, opinions, and information in an engaging, inventive way. Students will be taught not only how to use references and sources appropriately and correctly, but also how to avoid merely assembling the thinking of others in research writing. Students will also study vocabulary, grammar, and citation rules.

Text: Writing a Research Paper

備考　Open to grades 10-12, h and h+ levels.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC19i
科目名	Language and Culture 19: Speech and Debate i		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　4　　履修期間　1 学期
授業担当者　ハイマー
Heimer

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　ロシアのノーベル平和賞受賞者アンドレイ・サハロフは「深遠な思想というものは、正しい考えだけでなく、うさんくさい考えであっても表現できる可能性のある討論の中でのみ生まれるものだ」と言った。Speech and Debateのコースでは「深遠な思想」を発表し、「うさんくさい考え」を表現する。

Russian Nobel Peace Prize winner Andrei Sakharov said, "Profound thoughts arise only in debate when there is a possibility of expressing not only correct ideas but also dubious ideas." In the Speech and Debate course, students have many opportunities to raise profound thoughts and express dubious ideas. Students participate in group discussions, recite passages from famous speeches, write and present their own speeches, study the art of debate, and participate in classroom debates. The culminating activity is a formal, public debate contested in front of a school audience.

備考　Open to G10-12 i level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC20h
科目名	Language and Culture 20: Speech and Debate h		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	Arunski				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course is designed to help students develop their own linguistic abilities, together with their skills of observation and assessment. Together we will study a range of speaking and delivery styles with the constant focus being on how the skills developed in this course are useful, not simply on the podium, but in everyday life. There are many styles of speech and delivery, and throughout history there have been many great public speakers and debaters. However students will be encouraged not only to recognize these various potential styles of self-expression, but also to learn from them. In order to do this, students must develop their vocabulary, their thinking and their ability to assess and empathize with any given audience. The ultimate goal of the course is for each student to develop his or her own, personal, effective styles of speech and presentation, appropriate to the myriad situations that life presents.

備考 Open to G10-12 h level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC21ih
科目名	言語学入門 / Language and Culture 21: An Introduction to Linguistics		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	難波K				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Namba, K.				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 言語学は、言葉というものを科学的な見方で、とらえようとする学問です。
赤ん坊が、すこしずつ言葉をおぼえていく過程をみたり、バイリンガルの人が、二つの言葉を自在にあやつってしゃべるのをみると、新鮮な驚きがありますが、それを探っていくと、ある程度の法則が見えてきます。日本語と英語は、まったく違う言語だといわれますが、具体的にどんなところが違うのか、ということがはっきりわかると、なぜ日本人が英語を学ぶときに、いつも同じまちがいをするのかが、わかってきます。
　この授業では、英語と日本語を比べて、発音、文法、語彙の点から比較して、その違いに注目します。
1) 発音：母音、子音、強勢、イントネーションといった要素に注目し，発音記号を使って，英語を書き表す練習をします。
2) 子供の言語習得: 赤ん坊やこどもがどのようにことばを話すようになっていくのかを見ていきます。
3) 語彙: 単語と単語のつながり(＝Collocation)に注目し，コーパス(コンピューターのデータベース)を使った新しい言葉の研究のしかたを紹介します。
　発音記号が書けるようになりたい人、将来英語の先生になろうと思っている人、文法についてさらに詳しく知りたい人、大学で言語学関係のことを勉強しようと思っている人がいれば、そういう人におすすめです。

This course is designed for students who
are willing to explore grammar further,
are interested in the mechanisms of pronunciation,
are interested in linguistics
1) Phonology
Learn to use IPA phonemic script
Issues of dialect e.g. American / Australian / British accent
Prosodic factor: intonation, stress, rhythm etc.
2) Children's Language Acquisition
See how children learn language
3) Lexis
Focus on lexical phrases (idioms, collocations)
Use Corpus to explore lexicogrammar
*Differences between this course and Focus on Form, Structure & Mastery courses:
-Focus on pronunciation
-Descriptive grammar rather than prescriptive
-No translation component
-Mastery is a review of Focus on Form & Structure
but this is an expansion of Focus on Form & Structure

備考 Open to G10-12 h+, h, i
Readingの題材は、h, h+向けであるので、i レベルの生徒は、そのつもりでとること。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC22i
科目名	Language and Culture 22: Schindler's List		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　5　　履修期間　1 学期
授業担当者　Udy

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　This course aims to help students develop all four key skills: reading, writing, listening and speaking. The special aim of the course is to improve vocabulary knowledge and writing skills, through study about Europe and through an in-depth study of a chosen text. This course is an I-level course.
The central text of this course is the abridged book version of "Schindler's List", which is set in Europe during World War Two. Students will learn about the historical facts of this story as well as considering the various characters and themes in the fictional work. Every week students will take part in discussion groups, complete some reading and writing about this book and study new vocabulary. At the end of the course, the film version of the story will be viewed and discussed. In additon to this, students will each choose European countries to become experts on – they will present their research findings at the end of the course.

備考　Open to G10-12 i level. New Course from 2006
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC26i
科目名	Language and Culture 26: Video Shawshank Redemption		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　Ray

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　In this course, we will do intensive and extensive listening, based on the movie The Shawshank Redemption. Along with in-class listening exercises, there will be several vocabulary tests, discussion sessions, and other projects, such as role-plays and writing alternate endings for the movies. We will be using movie transcripts to help us study, but this is not really a reading class. We will be focusing on listening skills and increasing vocabulary.

備考　Open to G10-12 i level
偶数年の冬学期と奇数年の春学期に開講される。(2006年、08年、10年の冬学期と2007年、09年、11年の春学期に開講される。) 以前に EN1LC17i – Listening through Movies を取った生徒は同じ内容なので、取ることができない。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC26h
科目名	Language and Culture 26:Nonfiction II:Social & Historical Issues		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　Brown

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　In this course, we will read and discuss a selection of nonfiction essays based on social and historical issues. Students will also write essays reflecting certain themes, essays that are modeled on those they read. We will learn about creative nonfiction, often found in highly-regarded magazines such as the New Yorker, Harper's, and the Atlantic Monthly. Through discussions about what makes our selected nonfiction essays effective, students will learn good writing techniques. Class activities include student-led discussions and individual and group presentations.

備考　Open to G10-12 h and h+ levels. Nonfiction I (LC16) is a different course, a companion to Nonfiction II, but the texts studied focus on personal and cultural issues; you can take this course even if you have taken LC16H, Nonfiction I.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1LC27i
科目名	Language and Culture 27: Video Stand by Me		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　Ray

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　In this course, we will do intensive and extensive listening, based on the movie Stand By Me. Along with in-class listening exercises, there will be several vocabulary tests, discussion sessions, and other projects, such as role-plays and writing alternate endings for the movies. We will be using movie transcripts to help us study, but this is not really a reading class. There will be weekly discussion question sheets that will require written answers. We will be focusing on listening skills and increasing vocabulary.

備考　Open to i level。
奇数年の冬学期と偶数年の春学期に開講される。(2005年、07年、09年の冬学期と2006年、08年、10年の春学期に開講される。)

教科名	英語 － English	コースコード	EN1LC28i
科目名	Language and Culture 28: Media in English		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　Namba, F.

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　This course focuses on improving students' English ability through an exploration of different media texts.
It is divided into two sections, each with a strong emphasis on discussion, group work and oral presentations.
There will also be a number of writing assignments including creative writing and discursive essays.
1. Film
We look at how stories change when adapted from one medium to another – in this case from a short written story to a short film. You will consider camerawork, sound, lighting, colour and editing while storyboarding your own version of the story. You will present your editied version to the class and explain the reasons behind your choices.
We will then compare student made versions with a professionally made film.
2. Advertising
We investigate and analyse the techniques used in advertising, especially advertising aimed at young people. We look at how advertising companies research ways of attracting young people and in groups you will design and present your own advertising campaign.

備考　Open to G10-12 i level
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1LC35i
科目名	Language and Culture 35: Journeys		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　4　　履修期間　1 学期
授業担当者　Brown

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　In this course we will explore the theme of the journey. We will reflect not only upon the journeys described in fiction and non-fiction texts but also on those journeys undertaken in our own lives. This course provides the opportunity for students to consider the ways in which audience and purpose shape text.

備考　Open to G10-12 i level

教科名	英語 － English	コースコード	EN1LC36i
科目名	Language and Culture 36: Topics for Today		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	3	履修期間	1 学期		
授業担当者	Ray				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

Overview: This course will be structured around student-led reports and discussions about events and issues in the International news. Students will use the Internet to collect information, write summaries and personal responses, and collect relevant vocabulary for quizzes. If you are interested in reading, writing and talking about what's going on in the world today, this course is for you. We will explore the news from around the world. We will focus on geographical areas (Country Reports) and current issues (Issues Presentations).

Geographical areas will be:
North America (including Canada)
Latin America
Europe (including Russia)
Asia (including India)
SE Asia (including Australia and New Zealand)
Middle East
Africa

Issues will include:
Environment?Global Warming, Endangered Species, Natural Resource Protection, Pollution
Health?Disease and Epidemics, Organ Donation/Transplants, Diet and Exercise, Aging Society, Euthanasia
War/Terrorism?Independence Movements, Racial/Religious Violence, Refugees, Peace-keeping
Technology?Biotech (Cloning, etc.), Information Technology (Internet, etc.)
Economics?Developing and Developed Nations, Micro-credit, Globalization
Human Rights?Discrimination, Child Labor, Sexual Exploitation, Women's Rights

Activities:
For Geographical Areas, students will research and report independently in small groups; for Issues, students will work together in small groups to prepare class presentations, which will include vocabulary lists for class quizzes and the final vocabulary exam.

Written Assignments:
Country reports for your chosen country
Journal for reflecting on class discussions
Class presentation write-ups for Issues
Vocabulary Quizzes and Final Exam

Speaking Assignments:
Group presentations (Issue Presentations)
Group reports/discussions (Country Reports)

Reading Assignments:
Internet and Library research for Country Reports and Issues

Grade breakdown:
Country reports:30%
Country reports journal:10%
Issues presentations:30%
Vocabulary:20%
Participation:10%

備考　この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LC40h
科目名	Language and Culture 40: New Zealand Studies		

選択・必修	自由選択	単位数	1
週間時間数	2	履修期間	1 学期
授業担当者	Udy		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course will introduce students to New Zealand, a small pacific nation of four million people. The course will cover an historical overview, the basic geography, flora and fauna of the country and its unique cultural attributes. Students can learn about the heritage and culture of the aboriginal people, the Maori – they can view the performance of a traditional haka, learn some popular songs, try out some basic greetings and handle traditional carvings and handicrafts.
The course will also introduce the New Zealand way of life through short stories, poetry and short films. This course will be interesting for any h-level student who wants a challenging English course or perhaps has an interest in going to study in New Zealand in the future.

備考 Open to G10-12 h level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL13h
科目名	Language and Literature 13: Shakespeare Twelfth Night		

選択・必修	自由選択	単位数	2
週間時間数	4	履修期間	1 学期
授業担当者	Ray		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 This course is based on a modern-English translation of Shakespeare's romantic comedy Twelfth Night. We will read the whole play, and use one or more movie versions of the play for our small-group and whole-class discussions. Students will be tested on about 250 vocabulary words. There will be reading questions and discussion, as well as various projects, such as small group presentations, dramatic readings of scenes from the play, and so on. We will be introduced to the life and times of Shakespeare, Shakespearean verse, and some history of the theater. We will also spend some time discussing the differences between the text of the play and the various interpretations of modern directors.

備考 Open to h and h+ level. 2007年、09年、11年の冬学期に開講される。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL3h
科目名	Language and Literature 3: Romeo and Juliet		

選択・必修	自由選択	単位数	2
週間時間数	4	履修期間	1 学期
授業担当者	Ray		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 このコースは、現代英語訳されたシェイクスピアの名作、ロミオとジュリエットの戯曲を基に進められます。戯曲を全部読み、映画版のロミオとジュリエットをいくつか見た上で、小グループ、そしてクラス規模でのディスカッションを行います。約250の単語についてテストを行うほかに、読解問題、ディスカッションもおこなわれますし、さまざまなプロジェクトがあり、たとえば、小さなグループで発表をしたり、戯曲の中のシーンを使い、演劇的な朗読をしたりします。シェイクスピアの生涯・時代・韻文・演劇の歴史などにも焦点をあてます。そのほかには、原作の戯曲と、現代のリメイク版の映画監督たちのさまざまな解釈が、どのように違っているのかについてもディスカッションをします。 This course is based on a modern-English translation of Shakespeare's Romeo and Juliet. We will read the whole play, and use several movie versions of the play for our small-group and whole-class discussions. Students will be tested on about 250 vocabulary words. There will be reading questions and discussion, as well as various projects, such as small group presentations, dramatic readings of scenes from the play, and so on. We will be introduced to the life and times of Shakespeare, Shakespearean verse, and some history of the theater. We will also spend some time discussing the differences between the text of the play and the various interpretations of modern directors.

備考 Open to G10-12 h level. 2008年、10年、12年の冬学期に開講される。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL14h
科目名	Language and Literature 14: Native Americans in Literature		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Ray				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course will explore how Native Americans have been portrayed in American literature from colonial times to the present. We will begin with a quick overview of Native American history, especially post-colonization, then explore how Native Americans have been portrayed in literature, focusing on how that portrayal has changed over time. Materials will include novels and short fiction, non-fiction history texts, and movies. Activities will include class and group discussion, reading questions and quizzes, vocabulary quizzes and essays.

備考 Open to G10-12 h and h+ level.
奇数年のみに開講される。この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL18h
科目名	Language and Literature 18: Children's Literature		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Avery				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 子供向けに多くの新しく面白い本が出版されている。このコースでは子供向けの物語のスタイルを学び、その後独自の子供向け物語の制作を始める。このコースの特徴は文学を批評する力を養うこと。さらにこのコースでは生徒は教師としても活躍する。OIS Elementary Schoolとの協力で生徒は児童相手と色々な活動を行なう。OIS Elementary Schoolに4回行って，すぐに仲良くなる。評価は授業への取り組み、子供向けの本の制作、elementary schoolでの活動を基に行う。

Children's Literature is a complex genre. It is also very influential in shaping the way children understand the world they live in. Children need to be taught how to read a story in order to reject any values it presents that they do not want to accept. In this course, you will take an in-depth and critical look at books that are available for children, identifying the ideology within and criticising them in terms of the assumptions they make about society. You will notice ways that your own thinking has been influenced. Where do we get the idea that people who wear black clothes are plotting evil? What is Barbie teaching girls? And just as importantly, what is Barbie teaching boys? Topics include strategies for reading a text, common assumptions about childhood, children in ideology and literature and ideology. The course also gives you the opportunity to work with the children from the OIS Elementary school. You will visit the children four times and conduct a literature activity. Essentially, for the half hour that you are with the children, you are their teacher. Each student will be responsible for a small group of children. The first time, you will play a game with the children, the second time you do an activity connected a story the children all know, the third time you read a story yourselves and do an activity and the fourth time, you read your own story to the children.

備考 Open to 10-12 h and h+ level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL19i
科目名	Language and Literature 19: Short Stories i		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Avery				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 このコースでは生徒は様々な短編小説のスタイルを学び、面白い短編小説とはどのようなものかについて知る。また自分達でも短編小説を書くが、その際、物語を面白くする道具について学ぶ。生徒はディスカッションとロールプレイ、朗読やラジオドラマを通じてなめらかに話す練習をする。このコースの終わりには生徒は短い台本を書き、ビデオに撮る。評価は、授業中に学習した文学作品に対する生徒の感想文、授業活動への参加、自分で作った短編小説、それに期末筆記試験を基に行なう。

In this course students will study a variety of short story styles and discover what makes a good short story. When writing their own short stories, the students will be introduced to the tools available for making their own stories, great stories. The students will develop fluency through weekly writing workshops. If there is time at the end of the course, the students will have the opportunity to script and video one short story. Assessment will be based on the students' written responses to the literature studied in class, participation in class activities, their own short stories and a final written test.

備考 Open to G10-12 i level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL20h
科目名	Language and Literature 20: Short Stories h		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	3	履修期間	1 学期		
授業担当者	Avery				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

このコースでは生徒は様々なスタイルの短編小説を読み比べ、組み立てやスタイルの分析から面白い短編小説とは何かについて明らかにする。また自分たちでも短編小説を書くが、その際、物語りを面白くする道具について学ぶ。生徒はディスカッションとロールプレイ、朗読やラジオドラマを通じてなめらかに話す練習をする。このコースの終わりには生徒は短い台本を書き、ビデオに撮る。評価は、授業中に学習した文学作品に対する生徒の感想文、授業活動への参加、自分で作った短編小説、それに期末筆記試験を基に行なう。

In this course students will study a variety of short story styles and, through an analysis of structure and style, discover just what makes a good short story. The course will focus heavily on the elements of a short story; plot, characterization, theme, point of view, setting, symbolism and irony. When writing their own short stories, the students will be introduced to the tools available for making their own stories, great stories. The students will develop fluency through class discussions, weekly writing workshops, role plays and story telling. If there is time at the end of the course, the students will have the opportunity to script and video one short story. Assessment will be based on the student's written responses to the literature studied in class, paricipation in class activities, their own short stories and a final written test.

備考 Open to G10-12 h level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL23i
科目名	Language and Literature 23: Storytelling		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	4	履修期間	1 学期		
授業担当者	Brown				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

この授業は、聞く・話すという能力に焦点を当てます。出版された本と、生徒たちが書いた物語の両方を使って、勉強します。フィクションやノンフィクションの物語を聞いたり読んだりすることで、物語の「何が」人を引きつけるかを学びます。生徒たちはちがったタイプの伝統的な話について学んだり、物語を読んだり、口頭で読みあげるものを選んだりします。
この授業では観客をひきつける方法と小道具の使い方を学びます。授業の中では、声を出す練習や歌を歌うことに、かなりの時間を使い、われわれがよく感じる、人前で話すことへの恐怖、(特に第二言語で)を和らげるようにします。また、生徒たちみんなが、人前で思い切って、話をしたり、物語を語ることができるような、安心できる雰囲気を作れるようになることを目指します。
クラスの他の活動としては物語の朗読をお互いに評価したり、即興で物語を作ったり、グループで本を読んだり、などもします。最後のプロジェクトとして、生徒たちはオ
リジナルストーリーを書いて発表します。また、2週間に1回の単語テストもあります。

This course will focus on listening and speaking, built around stories, both published tales and student-created stories. Through listening to and reading examples of both fictional and nonfictional tales, students will learn what makes a story engaging. Students will also learn the different types of traditional tales, read several stories, and select a few to deliver orally to the class. We will learn how to engage an audience and use props, and spend a lot of class time doing verbal exercises and songs in order to ease the fear most of us have of public speaking, particularly in a second language. Our goal is to create a safe atmosphere for everyone to take risks in speaking and telling stories. Other class activities will include peer evaluation of storytelling sessions, improvisational stories, and group oral readings of published stories. For a final project students will write and deliver an original story. We will also have bi-weekly vocabulary tests.

Text: Words for Students of English, volume 6.

備考 Open to G10-12 i level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL26h
科目名	Language and Literature 26: Pride and Prejudice		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	Brown				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介

このコースでは、1813年に出版されたジェーン　オースティンの小説『高慢と偏見』に焦点をあてます。この有名なイギリスの小説は、中産階級のベネット家の五人姉妹と、娘たちの結婚相手を見つけてあげたいと願う母親を描いています。物語は、ヒロインのエリザベス・ベネットとフィツウィリアム・ダーシーの関係が進展していく様子を辿っていき、ダーシーのプライドとエリザベスの偏見について探っていきます。
印象的な登場人物や会話に加えて、オースティンは、喜劇・恋物語・社会批判をバランスよく描いています。
この文学作品を精読するクラスでは、教師そして生徒によるデイスカッションを中心に授業を進めて行きます。生徒は、 この作品に対する文芸批評を読み、それに対する自分の考えを書きます。ほかに、個人での発表をしたり、ディスカッションを進めたり、分析的な読み方の記録を残したり、創作に取り組んだりします。

The focus of this course is Jane Austen's novel, Pride and Prejudice. Published in 1813, this famous English novel follows the middle-class Bennet household of five daughters, and their mother's desires to find them marriage partners. The novel traces the development of the relationship between the heroine Elizabeth Bennet and Fitzwilliam Darcy, and explores his pride and her prejudice. Besides having memorable characters and dialogue, Austen's novel balances social comedy, love story, and social criticism. This intensive-reading class will be organized around discussions of the novel, both teacher and student led.

Text: Jane Austen's Pride and Prejudice.

備考

Open to G10-12 h and h+ levels.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL27h
科目名	Language and Literature 27: Creative Writing		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	Namba, F.				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

このコースで目標としているのは、生徒が斬新で印象的な作品を、書いたり読んだりする楽しみを発見することです。上手く書けるようになるには、良い文学作品を読むことが重要です。そこで創作のモデルを研究し、文芸用語やテクニックを学ぶのです。
　クラスは大きく分けて3種類のジャンルの文学作品で構成されています。それは、詩と短編小説、そして戯曲です。生徒は、かなりの量の文章を書くことになります。ジャーナルを使った下調べ的なものと、各ジャンルでひとつずつ、推敲を重ねた作品を仕上げます。
　この授業では、お互いの作品を小グループでディスカッションすることが、中心になるので、生徒は、仲間同士での、役に立つ建設的な批評のしかたを学びます。クラスの最終プロジェクトは、生徒が選んだ作品で雑誌を作ることです。

The goal of this course is for students to see the pleasures in reading and writing fresh, effective writing. Good writing depends on reading literature, so we will study creative writing models and learn literary terms and techniques. The class is structured around three types of literature, or genres: poetry, short fiction, and drama. Students will do a great deal of writing in this course, both exploratory (using a writing journal) and for assignment (one of each genre, a piece which has been revised many times). Since small group discussions of student pieces are a centerpiece of this course, students will learn how to give useful, constructive criticism to fellow writers. A final class project is making a magazine of student-selected pieces.

Text: Describer's Dictionary.

備考

Open to G10-12 h and h+ levels. You can take this course even if you have taken LL9: Creative Writing and LL17: Creative Writing.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL28h
科目名	Language and Literature 28: Process Writing		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　Avery

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

備考　Open to G10-12 h level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL32i
科目名	Language and Literature 32: The Great Gatsby		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　5　　履修期間　1 学期
授業担当者　Udy

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　In this course students will study the graded reader version of F.Scott Fitzgerald's famous novel, 'The Great Gatsby'. This novel is set in America during the 1920's and gives a picture of the wildness of this era before the great depression set in. This course is designed for I level students who want some challenging reading and some interesting ideas to think about. Students will work on improving their four main skill areas – reading, writing, speaking and listening. The weekly schedule will include paragraph and essay writing, discussion groups, a vocabulary quiz, reading aloud and occasional dictations and dramatic presentations. Students will continue to expand their knowledge of literary terms and grammatical structures. There will also be an opportunity for students to complete some creative writing. The course will finish with study of the film version of the novel.

備考　Open to G10-12 i level.
New Course from 2006

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL33i
科目名	Language and Literature 33: Poetry		

選択・必修　自由選択　　単位数　2
週間時間数　4　　履修期間　1 学期
授業担当者　Brown

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　The aim of this course is to improve students's core skills (reading, writing, listening, and speaking) through poetry. The course is based specific themes. Sudents will recite poems connected to each theme, then write and present their own poems. Poets studied include Charles Simic, WH Auden, Pablo Neruda, Xuan Quynh and Mudrooroo.

備考　Open to G10-12 i level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN1LL34i
科目名	Language and Literature 34: Wuthering Heights		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　Namba, F.

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　This course is based on Emily Bronte's classic novel of passion, cruelty and revenge. Wuthering Heights is the tragic love story of Heathcliff and Catherine set in England at the beginning of the 19th century.
We will read a simplified version of the text and use it as a basis to expand vocabulary and to explore themes such as good versus evil, love versus hate, life after death and the social classes.
Students will be expected to exchange opinions on the novel with classmates and to discuss the plot, the characters and the themes in written work. We will also look at how structure, narrative technique, language and imagery help shape the writer's meaning.

備考　Open to G10-12 i level.

教科名	英語 – English	コースコード	EN3IA21h
科目名	IB English A2 – Identity and Dreams		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	ハイマー Heimer				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Open to SIS grade 10-11-12 h and h+ students, and OIS grade 12 students.

内容紹介 The fall IB English A2 course is the first trimester of the IB English A2 program. In the first part of the trimester, students explore several language-related topics, including bilingualism and the relationships among language and culture and identity. They reflect upon their own experiences, read several newspaper and magazine articles, develop clear opinions about language issues, and express their ideas through a variety of speaking and writing activities. In the second part of the trimester, students practice the art of literary analysis as they read, discuss and write about poems, a play, and a novel, all dealing with the themes of personal identity and dreams. They show their understanding of literature through a variety of speaking and writing activities.

備考 SIS h+ students and OIS Grade 12 students are eligible for the IB English A2 class.
SIS h students may be eligible for this class or the IB English B class. H students must first talk to the teachers of these courses before selecting one.
Students do not need to be IB students to take this course. Students can take any of the three IB courses, separately and in any order.
This joint SIS/OIS course is the first trimester of the three-trimester, year-long International Baccalaureate English A2 program and is required for students who wish to receive the IB English A2 certificate. Students wanting to take the May IB exams must take all three IB English A2 courses in order and complete all requirements as directed by the IB English A2 curriculum.

教科名	英語 – English	コースコード	EN3IA22h
科目名	IB English A2 – Disillusionment		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	ハイマー Heimer				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 Open to SIS grade 10-11-12 h and h+ students, and OIS grade 12 students.

内容紹介 The winter IB English A2 course is the second trimester of the IB English A2 program. Students engage in the art of literary analysis as they read poems, short stories, and a Shakespeare play, all dealing with the themes of coming of age, rites of passage, loss of innocence, and disillusionment. They show their understanding of literature through a variety of speaking and writing activities.

備考 SIS h+ students and OIS Grade 12 students are eligible for the IB English A2 class.
SIS h students may be eligible for this class or the IB English B class. H students must first talk to the teachers of these courses before selecting one.
Students do not need to be IB students to take this course. Students can take any of the three IB courses, separately and in any order.
This joint SIS/OIS course is the second trimester of the three-trimester, year-long International Baccalaureate English A2 program and is required for students who wish to receive the IB English A2 certificate. Students wanting to take the May IB exams must take all three IB English A2 courses in order and complete all requirements as directed by the IB English A2 curriculum.

教科名	英語 － English	コースコード	EN3IA23h
科目名	IB English A2 – Literary Analysis and Individual Research		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	ハイマー Heimer				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Open to SIS grade 10-11-12 h and h+ students, and OIS grade 12 students.

内容紹介 The spring IB English A2 course is the final trimester of the IB English A2 program. In April, students practice literary analysis and write compare/contrast essays in preparation for the IB exams in early May. In May and June, students complete an individual research project based on literary, language or social issues.

備考 SIS h+ students and OIS Grade 12 students are eligible for the IB English A2 class.
SIS h students may be eligible for this class or the IB English B class. H students must first talk to the teachers of these courses before selecting one.
Students do not need to be IB students to take this course. Students can take any of the three IB courses, separately and in any order.
This joint SIS/OIS course is the third and final trimester of the three-trimester, year-long International Baccalaureate English A2 program and is required for students who wish to receive the IB English A2 certificate. Students wanting to take the May IB exams must take all three IB English A2 courses in order and complete all requirements as directed by the IB English A2 curriculum.

教科名	英語 － English	コースコード	EN3ISB1ih
科目名	English B The Outsiders		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	Ray				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Open to SIS i-level and h-level students grades 10-11.(see note below)

内容紹介 This course is intended for ambitious I and H-level students who want to work on all 4 skills (reading, writing, listening and speaking) in order to take the IB English B examination. The main focus is on language acquisition and appropriate language use in a variety of situations.
Students taking this course should be prepared for daily homework assignments, and must be willing to participate actively in class.
A wide range of texts and materials will be used, but the main texts for Fall trimester will be the novel The Outsiders, and the movie of the same title.
Themes or topics will include Exploring Groups (social groups, family groups, peer pressure and conformity, etc.), and Exploring Change (cultural changes, growing up, etc.).

備考 This is the first course of the three-trimester, year-long International Baccalaureate English B program and is required for students who plan to take the IB English B exam offered each May. Students wanting to take the exam must take all three IB English B courses in order and complete all requirements of the IB English B curriculum. Students who do not take the first course in the fall can take the winter and/or spring IB courses later, but are not eligible to take the exam or receive an IB certificate.
This course is open to 10th and 11th-graders, but students wishing to sit for the IB examination are recommended to take the course beginning in Fall trimester of the 11th grade.
H-level students may be eligible for this class or the IB English A2 class. H-level students must first talk to the teachers of these courses before selecting one.

教科名	英語 – English	コースコード	EN3ISB2ih
科目名	English B Culture Shock		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	Ray				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐

履修条件　Open to SIS i-level and h-level students grades 10-11.(see note below)

内容紹介　This course is intended for ambitious I and H-level students who want to work on all 4 skills (reading, writing, listening and speaking) in order to take the IB English B examination. The main focus is on language acquisition and appropriate language use in a variety of situations.
Students taking this course should be prepared for daily homework assignments, and must be willing to participate actively in class.
A wide range of texts and materials will be used, but the main texts for Winter trimester will be the novel Children of the River, and the movie The Emerald Forest.
Themes or topics will include Exploring Groups (social groups, family groups, peer pressure and conformity, etc.), and Exploring Change (cultural changes, growing up, etc.).

備考　This is the second course of the three-trimester, year-long International Baccalaureate English B program and is required for students who plan to take the IB English B exam offered each May.
Students wanting to take the exam must take all three IB English B courses in order and complete all requirements of the IB English B curriculum. Students who do not take the first course in the Fall can take the Winter and/or Spring IB courses later, but are not eligible to take the exam or receive an IB certificate.
This course is open to 10th and 11th-graders, but students wishing to sit for the IB examination are recommended to take the course beginning in Fall trimester of the 11th grade. H-level students may be eligible for this class or the IB English A2 class. H-level students must first talk to the teachers of these courses before selecting one.

教科名	英語 – English	コースコード	EN3ISB3ih
科目名	English B The Lonely Planet		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	5	履修期間	1 学期		
授業担当者	Ray				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Open to SIS i and h-level students grades 11-12.(see note below)

内容紹介　This course is intended for ambitious I and H-level students who want to work on all 4 skills (reading, writing, listening and speaking) in order to take the IB English B examination. The main focus is on language acquisition and appropriate language use in a variety of situations.
Students taking this course should be prepared for daily homework assignments, and must be willing to participate actively in class.
A wide range of texts and materials will be used. Building on the issues raised in the previous two terms, materials will be selected to explore the experiences of people travelling or living in a foreign culture. Reading materials will be primarily non-fiction.
Themes or topics will include Exploring Groups (social groups, family groups, peer pressure and conformity, etc.), and Exploring Change (cultural changes, growing up, etc.).

備考　This is the third course of the three-trimester, year-long International Baccalaureate English B program and is required for students who plan to take the IB English B exam offered each May. Students wanting to take the exam must take all three IB English B courses in order and complete all requirements of the IB English B curriculum. Students who do not take the first course in the fall can take the winter and/or spring IB courses later, but are not eligible to take the exam or receive an IB certificate.
This course is open to 11th and 12th-graders, but students wishing to sit for the IB examination are STRONGLY recommended to take the course sequence beginning in Fall trimester of the 11th grade.
The first 1/2 of this course will concentrate on practicing and preparing for the IB examinations in May.
H-level students may be eligible for this class or the IB English A2 class. H-level students must first talk to the teachers of these courses before selecting one.

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G9A
科目名	OIS G9 英語A / English 9A		

選択・必修		単位数	2	開講時期	
週間時間数	4	履修期間	1 学期		
授業担当者					

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Approval of the Instructor.

内容紹介

備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G9B
科目名	OIS G9 英語B / English 9B		

選択・必修
単位数 2
週間時間数 4
履修期間 1 学期
授業担当者

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G9C
科目名	OIS G9 英語C / English 9C		

選択・必修
単位数 2
週間時間数 4
履修期間 1 学期
授業担当者

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G10A
科目名	OIS G10 英語A / English 10A		

選択・必修
単位数 2
週間時間数 4
履修期間 1 学期
授業担当者

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G10B
科目名	OIS G10 英語B / English 10B		

選択・必修
単位数 2
週間時間数 4
履修期間 1 学期
授業担当者

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G10C
科目名	OIS G10 英語C / English 10C		

選択・必修
単位数 2
週間時間数 4
履修期間 1 学期
授業担当者

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3ISE1
科目名	IBS English 11		

選択・必修
週間時間数 4
授業担当者
履修条件
内容紹介
備考

単位数 2
履修期間 1 学期

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

教科名	英語 – English	コースコード	EN3IHE1
科目名	IBH English 11		

選択・必修
週間時間数 4
授業担当者
履修条件
内容紹介
備考

単位数 2
履修期間 1 学期

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

教科名	英語 – English	コースコード	EN3ISE2
科目名	IBS English 12		

選択・必修
週間時間数 3
授業担当者
履修条件
内容紹介
備考

単位数 1
履修期間 1 学期

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

教科名	英語 – English	コースコード	EN3IHE2
科目名	IBH English 12		

選択・必修
週間時間数 4
授業担当者
履修条件
内容紹介
備考

単位数 2
履修期間 1 学期

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

教科名	英語 － English	コースコード	EN1CsM
科目名	HS Communication s		

選択・必修　自由選択　　単位数　0　　開講時期

週間時間数　5　　履修期間　3 学期

授業担当者　Namba, F./Udy/Arunski

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件　This course is required for 9th grade s-level students, along with s-level grade 10 students who have just entered SIS.

内容紹介　春学期、生徒はいろいろな活動の中で、基本的な英語のしくみと言葉を練習し、強化します。英語を流暢に書いたり話したりする力を高めることにも取り組みます。学期を通じて、エッセイを書く力を伸ばすことに、大きな重点がおかれます。このために、グループやクラス全体でのディスカッションをしたり、毎週出される課題があり、それをコンピューターを使って修正したり、打ち込んだりします。読むことに関しても、生徒は各自で読み進めたり、クラス単位で読んだりすることに取り組みます。
　秋学期と冬学期には、文学作品について、どのように勉強をし、書き、話をするのかを学びます。活動としては、英語の小説を基にして、ディスカッション、劇、語彙の強化、創作、短いエッセー、ジャーナルなどに取り組みます。また文法についても学び、一方では、定期的に行われるさまざまな話題に関するスピーチを通して、正確な発音や流暢さを身に付けることも行います。

In the spring trimester students will be given a wide range of opportunities to practice and consolidate basic English structures and vocabulary. They will be encouraged to develop fluency in written and spoken English. Throughout the term the development of essay writing skills is given a high priority through group and class discussion, weekly writing assignments and computer lab lessons for revising and typing. Students are also encouraged to read, and will spend time reading both independently and as a class.
In the fall and winter trimesters students will learn how to study, write and talk about literature. Activities will include discussion, drama, vocabulary building, creative writing, short essays and journal entries about English novels. Students will also study grammar, while working on pronunciation and fluency, through giving regular speeches on a variety of topics.

Texts may include: The Monkey's Paw by W.W. Jacobs, The Silver Sword by Ian Serraillier or The Diary of Anne Frank and About a Boy by Nick Hornby.

備考　This is a one-year intensive course designed to give s-level students the academic and linguistic skills necessary to make a successful transition to high school English classes.
これは一年の集中コースであり、s レベルの9年生の生徒が、これからのハイスクールでの英語のクラスで、必要な言語能力・学習能力をつけるためのコースです。

教科名	英語 － English	コースコード	EN1CiM
科目名	HS Communication i		

選択・必修　自由選択　　単位数　0　　開講時期

週間時間数　5　　履修期間　3 学期

授業担当者　Ray/Udy

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件　This course is open to (and required for) 9th grade i-level students, along with selected grade 10i students who have just entered SIS.

内容紹介　春学期のコミュニケーション i のクラスでは、リスニング能力を高める事、沢山本を読む事、そして流暢に英語を書け,そして話せるようになる事を目指します。特に話す能力を高める場面では、少人数制でのグループワークやクラス内でのプレゼンテーションなども予定しています。書くことに関しては、段落レベルで内容的につながりのある文を書けるようになることと、ジャーナルを書くことに焦点をあてます。
秋学期のコミュニケーションiクラスでは、文学分析、熟読、個人プレゼンテーション、そしてエッセーを書くことなどを中心に取り組んでいきます。読む題材としては、小説やほかのフィクションを扱います。
冬学期のコミュニケーションi クラスでは、ノンフィクションの文学を学んだり、リサーチそしてディベートなどもします。主なプロジェクトとして、かなりの量のリサーチペーパーを書くことになります。
各学期、計200語の英単語のテストがあります。

The Spring trimester of Communication i focuses on listening skills, extensive reading, and speaking and writing fluency. Speaking activities will focus on, but not be limited to, small-group discussions and class presentations. Writing activities will focus on paragraph-level coherence and journal writing.
The Fall trimester of Communication I focuses on literary analysis, close reading, individual presentations and essay writing. Reading texts will be novels and other works of fiction.
The Winter trimester of Communication i focuses on non-fiction, research and debate. The main writing project will be a substantial research paper.
Each trimester, students will be tested on approximately 200 vocabulary words.

備考　This is a one-year intensive course designed to give i-level 9th grade students the academic and linguistic skills necessary to make a successful transition to high school English classes.
これは一年の集中コースであり、i レベルの9年生の生徒が、これからのハイスクールでの英語のクラスで、必要な言語能力・学習能力をつけるためのコースです。

教科名	英語 – English	コースコード	EN1ChM
科目名	HS Communication h		

選択・必修: 自由選択
単位数: 0
週間時間数: 5
履修期間: 3 学期
授業担当者: Brown

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件: This course is required of all grade 9h students (and in spring trimester, h+ students), along with selected grade 10h students who have just entered SIS.

内容紹介: In the spring term, this Communication h/h+ course focuses on improving reading, writing, listening, speaking, and viewing skills, building on students's past work in SIS middle school English classes. We will explore themes of growing up, the self and others, and our social environment.

The fall term of Communication h continues to focus on literary analysis, close reading, individual presentations and essay writing.

The winter trimester of Communication h focuses on nonfiction, research and debate. Students will learn how to conduct responsible research, then write a research paper following the writing process.

備考: This is a one-year intensive course designed to give h-level grade 9 students the academic and linguistic skills necessary to make a successful transition to high school English classes.

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G9AM
科目名	OIS G9 英語A / English 9A		

選択・必修:
単位数: 0
週間時間数: 4
履修期間: 1 学期
授業担当者:

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件: Approval of the Instructor.
内容紹介:
備考:

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G9BM
科目名	OIS G9 英語B / English 9B		

選択・必修:
単位数: 0
週間時間数: 4
履修期間: 1 学期
授業担当者:

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件: Approval of the Instructor.
内容紹介:
備考:

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G9CM
科目名	OIS G9 英語C / English 9C		

選択・必修:
単位数: 0
週間時間数: 4
履修期間: 1 学期
授業担当者:

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件: Approval of the Instructor.
内容紹介:
備考:

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G10AM
科目名	OIS G10 英語A / English 10A		

選択・必修
週間時間数 4
授業担当者
単位数 0
履修期間 1 学期

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G10BM
科目名	OIS G10 英語B / English 10B		

選択・必修
週間時間数 4
授業担当者
単位数 0
履修期間 1 学期

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

教科名	英語 – English	コースコード	EN3G10CM
科目名	OIS G10 英語C / English 10C		

選択・必修
週間時間数 4
授業担当者
単位数 0
履修期間 1 学期

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 Approval of the Instructor.
内容紹介
備考

Music

Music at SIS is an important and valued part of the curriculum. Participation in the program is encouraged, as students benefit from the opportunity of playing or singing regularly in the various music performance courses which are offered. We believe that the program at SIS is comprehensive and offers a wide variety of choices for students.

Instrumental Music: 器楽

Instrumental Music is offered to all interested students grade 6-12 for both SIS and OIS. There is a wide variety of offerings available for virtually any interest level. These are listed below.

器楽の授業は、SIS、OIS 両校の 6 年生から 12 年生に対して開講されます。いろいろな分野･レベルの授業が提供されています。各授業は以下の通りです。

Middle School Beginning Band and Strings （中等部ビギニング･バンド、ストリングス）is available to all students who are interested. No prior instrumental experience is needed. Choice of instruments will be determined by consultation with directors. They are offered as year long courses during Fall, Spring and Winter Terms.

中等部で、まったくの初心者に対して開講されます。どの楽器を選ぶかは、担当の先生と相談してください。秋学期に始まり、次の学年の春学期に終了する、一年間のコースです。

Middle School Intermediate Band and Strings （中等部インターミディエート･バンド、ストリングス）is available to students who have had prior instrumental experience and can perform at an intermediate level. They are offered as year long courses during Fall, Spring and Winter Terms.

中等部で、楽器の経験者で中級レベルの演奏が出来ると判断された生徒に対して開講されます。秋学期に始まり、次の学年の春学期に終了する、一年間のコースです。

Middle School Performance Band and Strings （中等部パフォーマンス･バンド、ストリングス）is available to students who have had prior instrumental experience and can perform at a relatively advanced level. Director approval is necessary. They are offered as year long courses during Fall, Spring and Winter Terms.

中等部で、上級レベルの演奏が出来ると判断された生徒に対して開講されます。このクラスを履修するためには、担当の先生の許可が必要です。秋学期に始まり、次の学年の春学期に終了する、一年間のコースです。

High School Rookie Band and Strings （高等部ルーキー･バンド、ストリングス）is a trimester course offered to students who have had no prior instrumental experience and have a desire to join the High

School band or string program. Students who are currently playing an instrument, but would like to try playing a different instrument are very welcome too. Choice of instruments will be determined by consultation with directors. Offered only in the Spring term.
高等部で、まったくの初心者であり、さらに上級のクラスに進みたい生徒に対して開講されます。今までやっていた楽器と違う楽器を始めたいという生徒も歓迎します。どの楽器を選ぶかは、担当の先生と相談してください。春学期のみに開講されます。

High School Guitar （高等部ギター）is available to students in the fall term who have no prior experience on guitar and have a sincere interest in learning how to play.
高等部で、まったくのギター初心者であり、弾けるようになりたい生徒に対して開講されます。秋学期のみに開講されます。

High School Jazz Band （高等部ジャズ･バンド）is available to students in the Winter term, who have an interest in Jazz and who demonstrate a relatively high level of proficiency on the following instruments: Trumpet, Saxophone, Trombone, Drum set, Bass (electric or acoustic), Piano / Keyboard and Guitar.
高等部で、冬学期にのみ開講されます。ジャズに興味があり、トランペット・サキソフォン・トロンボーン・ドラム・ベース・ピアノ・キーボード・ギターがある程度以上に演奏が出来る生徒が対象です。

High School Concert Band and Strings （高等部コンサート･バンド、ストリングス）is available to students who have completed the Rookie Band/Strings satisfactorily and to all other students who demonstrate a moderate to high level of proficiency. They are offered as year long courses during Fall, Spring and Winter Terms.
高等部で、ルーキー・バンド、ストリングスで十分な技術を身に付けたと判断された生徒、また、中級から上級の演奏技術を持っていると判断された生徒に対して開講されます。秋学期に始まり、次の学年の春学期に終了する、一年間のコースです。

Wind Ensemble and Symphonic String Ensemble （ウインドアンサンブル、シンフォニック・ストリング・アンサンブル）is available to High School students who demonstrate a high level of proficiency on their instrument. Director approval is required and an audition is expected. They are offered as year long courses during Fall, Spring and Winter Terms.
高等部で、上級の演奏技術を持っていると判断された生徒に対して開講されます。このクラスを履修するためには、担当の先生の許可が必要であり、オーディションの可能性もあります。秋学期に始まり、次の学年の春学期に終了する、一年間のコースです。

Choral Music: 合唱

Middle School Chorus（中等部コーラス）seeks to provide any interested middle school student—regardless of previous musical experience—an opportunity to learn the fundamentals of singing in a group. It strives to cultivate a singer's artistic abilities and literate musicianship through a wide range of choral literature in unison, two and three voice parts from different periods of music history and cultures. Students will perform this music with appropriate technique and performance style. They should then be able to participate in concerts with more stage presence and confidence. They can expect to do at least three performances a year. Students take this as a year long course during Fall, Spring and Winter Terms.
ミドルスクールの生徒（中等部 1 年～3 年春学期）に対して開講されます。初心者であってもかまいません。合唱の基礎を学びます。三声までのいろいろな時代･地域の曲を通して、音楽に対する理解を深めます。秋学期に始まり、次の学年の春学期に終了する、一年間のコースです。

High School Chorus (高等部コーラス) seeks to provide any interested high school student—regardless of previous musical experience—an opportunity to develop his or her singing skills in a group. It strives to cultivate a singer's artistic abilities and literate musicianship through a wide range of choral literature in unison, two, three and four voice parts from different periods of music history and cultures. Students will perform this music with appropriate technique and performance style. They should then be able to participate in concerts with more stage presence and confidence. They can expect to do at least three performances a year. Students take this as a year long course during Fall, Spring and Winter Terms.
ハイスクールの生徒（中等部 3 年秋学期以降）に対して開講されます。初心者であってもかまいません。合唱の技術を高めます。四声までのいろいろな時代･地域の曲を通して、音楽に対する理解を深めます。秋学期に始まり、次の学年の春学期に終了する、一年間のコースです。

音楽の授業の取り方

7,8 年生から 9 年生の春学期までは必修として全員が週 2.5 時間（週 3 時間と週 2 時間の週が交互にある）の授業を受けます。

9 年生の秋学期以降も、一部の学期完結のコース（ルーキー、ギター、ジャズ）を除いて、秋学期からの 1 年間(3 学期)の授業であることを考えて選択することが重要です。上達度によってレベルの変更はありますが、この 1 年間の途中でやめることはできません。レベルの変更(例えば、ビギニングからインターミディエート、コンサートからアンサンブルなど)の場合でも担当者の指示に従い、その前の学期のうちに次学期の時間割の確認をしておいてください。12 年生については例外的に連続して選択しないことを認める場合がありますが、必ず担当者と相談して決めてください。

芸術 － Music

教科名	芸術 － Music	コースコード	MU3MCH
科目名	MSコーラス / MS Chorus		

選択・必修　自由選択　　単位数
週間時間数　2.5　　履修期間　3 学期
授業担当者　ファクトラ
Factora

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　このクラスでは正しい姿勢がいかに呼吸を容易にしリラックスした歌唱を可能にするかを学習する。生徒は正しい呼吸法を学ぶことで発声に関係のある体の部位やいかに声を大事にするかに関心を持つようになる。
様々な時代や文化の様々なレパートリーの声楽を題材に斉唱(ユニゾン)や二声／三声合唱を行なう。一年に最低3回はコンサートを行なう予定。
In this class, students learn how good posture facilitates correct breathing and relaxed singing. As the students learn proper breathing, they become more aware of the parts of the body which are involved in vocal production and how to take care of their voices.
Students perform unison, two-three part music with different repertoire from different periods of music history and different cultures.
Students expect to do at least three performances a year.

備考　This course is for 7th-8th graders who wish to learn the fundamentals of singing in a group.

教科名	芸術 － Music	コースコード	MU3MBB
科目名	MSビギニングバンド / MS Beginning Band		

選択・必修　自由選択　　単位数
週間時間数　2.5　　履修期間　3 学期
授業担当者　森/リンドリー
Mori/Lindley

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　アンブシュア(吹奏楽器の歌口への唇の当て方)、音の出し方、姿勢、そして楽譜の読み方の基礎を学習する。打楽器の生徒はさまざまな楽器の基本技術を学ぶ。生徒は今後の学期にパフォーマンスアンサンブルに参加して上手に演奏できるようになることを目指す。
Students can expect to learn the basics of embouchure(lip and mouth setting), tone production, posture, and music reading. Percussion students will learn basic technique for mallet instruments, accessory instruments, and battery instruments. Students should expect to be able to perform well enough to join a performance ensemble the following school year.

備考　This course is open to any 7th and 8th grade middle school student who wishes to learn how to play a wind or percussion instrument. These instruments are flute, oboe, bassoon, clarinet, bass clarinet, saxophone, trumpet, french horn, trombone, baritone, tuba and percussion instruments.

教科名	芸術 － Music	コースコード	MU3MIB
科目名	MSインターミディエイトバンド / MS Intermediate Band		

選択・必修　自由選択　　単位数
週間時間数　2.5　　履修期間　3 学期
授業担当者　森/リンドリー
Mori/Lindley

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件　Teacher approval

内容紹介　音質、演奏技術、アンブシュア(吹奏楽器の歌口への唇の当て方)、そして楽譜の読み方を学ぶ。一年を通じて演奏会が何回か開かれる。
To develop the basics of tone quality, techique, embouchure, and music reading. There will be performance opportunities throughout the year.

備考　This course is designed for 7th and 8th grade wind and percussion middle school students with intermediate level skills.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3MPB
科目名	MSパフォーマンスバンド / MS Performance Band		

選択・必修	自由選択	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期		春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
授業担当者	森/リンドリー				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	Mori/Lindley				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件　Teacher approval

内容紹介　基礎的な技術を身につけ、向上させ、管楽器作品の知識を広げることを目的とする。アンサンブルやソロ演奏の機会が提供される。一年に最低3回以上はコンサートを行なう予定。
Students can expect to develop and improve basic skills and expand their knowledge of wind literature. Ensemble and solo performance will be encouraged. Students can expect to perform at least three or more concerts performances throughout the school year.

備考　This course is for 7th and 8th grade students who has developed a relatively advanced degree of skill for a middle school student. Director approval is required for enrolling in this class.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3MBS
科目名	MSビギニングストリングス / MS Beginning Strings		

選択・必修	自由選択	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期		春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
授業担当者	セコム				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	Secomb				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　左手の位置、姿勢、運弓法、音の出し方、そして楽譜の読み方に重点を置きながら弦楽器演奏法の基礎を学習する。次の年にはパフォーマンスアンサンブルに参加できるほど上達することを目指す。
Students can expect to learn the basics fundamentals of string pedagogy with emphasis on left hand position, posture, bow technique, tone production and music reading. Students should expect to be able to perform well enough to join a performance ensemble the following year.

備考　This course is open to any 7th and 8th grade middle school student who wishes to learn how to play a string instrument. These instruments include violin, viola, cello and bass. No previous experience or teacher approval is needed to enroll.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3MIS
科目名	MSインターミディエイトストリングス / MS Intermediate Strings		

選択・必修	自由選択	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期		春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
授業担当者	セコム				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	Secomb				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件　Teacher approval

内容紹介　上質の弦楽作品に関する知識を広げながら基本的な演奏能力をさらに発展させ、向上させることを目指す。アンサンブルやソロ演奏の機会が提供される。各人の技術を向上させることに重点を置くが、一年に何回かのコンサートを行なう予定。
Students can expect continued development and improvement of basic skills while expanding their knowledge of quality string literature. Ensemble and solo performance will be encouraged. Although the focus will be on developing individual technique, students can expect to perform several times throughout the school year.

備考　This course is for 7th and 8th grade students who can perform at an intermediate skill level. Students who have had previous school ensemble or private lesson experience are eligible. Director approval is required for enrolling in this class.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3MPS
科目名	MSパフォーマンスストリングス / MS Performance Strings		

選択・必修	自由選択	単位数		開講時期	
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期		
授業担当者	セコム/森 Secomb/Mori				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件　Teacher approval

内容紹介　弦楽器の作品に関する知識を広げながら基本的な演奏技術を発達、向上させる。アンサンブルやソロ演奏の機会が提供される。一年に3回以上のコンサートを行なう予定。
Students can expect to develop and improve basic skills and expand their knowledge of string literature. Ensemble and solo performance will be encouraged. Students can expect to perform at least three or more concerts performances throughout the school year.

備考　This course is for 7th and 8th grade students who have developed a relatively advanced degree of skill for a middle school student. Students who have had at least one year of school ensemble or private lesson experience are eligible. Director approval is required for enrolling in this class.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HCH
科目名	HSコーラス / HS Chorus		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期		
授業担当者	ファクトラ Factora				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Teacher approval

内容紹介　このクラスでは様々な時代や文化のより複雑な編曲の歌を歌う。幅広いレパートリーの曲をそれぞれの曲に適した発声法や歌唱法を使って歌うことを学ぶ。合唱団のメンバーは独自で楽譜が読めるようになることを目指す。一年に最低3回はコンサートを行なう予定。
In this class, students sing more complex arrangements of music from different periods of music history and different cultures. They learn to perform varied repertoire with the appropriate vocal technique and performance style. Choir members hope to show more independence in music reading. Students expect to do at least three performances a year.

備考　This course is for 9th-12 grade students who wish to experience singing different types of repertoire.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HRB
科目名	HSルーキーバンド / HS Rookie Band		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	4	履修期間	1 学期		
授業担当者	リンドリー/森 Lindley/Mori				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　個別指導を多く取り入れた集中的入門クラスで、次学期までにパフォーマンスアンサンブルで演奏できるようになることを目指す。楽器特有の音色を出せるようにすることと、楽譜の読み方と技法の基本に重点を置く。
This will be an intensive, individualized beginning level class to equip enrolled students to be able to perform with a performance ensemble by the following term. The emphasis will be on developing characteristic tone, basic music reading and technical skill.

備考　Offered in the spring term to any High School student who wishes to learn the fundamentals of playing a wind instrument with the intent of continuing in the Band program. Also available to more advanced students whose schedule might not allow tem to fully participate in other Band offerings.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HCB
科目名	HSコンサートバンド / HS Concert Band		

選択・必修	自由選択	単位数	1
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期
授業担当者	リンドリー/森 Lindley/Mori		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 Teacher approval

内容紹介 ポップからクラシックまでの管楽器の作品を題材に、高度な演奏技術と音色の向上を目標とする。一年に最低3回以上はコンサートを行なう予定。
The class emphasis will be to develop advanced technical and tonal skill with wind literature ranging from ″pop″ to the classics. Students will perform at least three of more concert performances throughout the school year.

備考 This course is open to grade 9-12 wind and percussion student who have had at least one year of experience in one of the performance ensembles offered at at SIS/OIS or other significant experience. Teacher approval is required.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HWE
科目名	HSウィンドアンサンブル / HS Wind Ensemble		

選択・必修	自由選択	単位数	1
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期
授業担当者	リンドリー/森 Lindley		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 Teacher approval

内容紹介 このクラスでは高度な演奏技術及び音色を開発することに重点を置く。様々な様式の上質な管楽作品の演奏が中心となる。一年に最低3回以上のコンサートを行なう予定。
The emphasis of this class is to continue to develop advanced technical and tonal skills. The performance of high quality wind literature featuring a variety of music styles will be the focus of class. Students will perform at least three or more concert performances throughout the school year.

備考 This course is designed for the advanced wind and percussion student grade 9-12 who have attained a high degree of proficiency. The Wind Ensemble is considered the highest level band class. Audition and teacher approval is required.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HJB
科目名	HSジャズバンド / HS Jazz Band		

選択・必修	自由選択	単位数	2
週間時間数	4	履修期間	1 学期
授業担当者	森 Mori		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 Teacher approval

内容紹介 ディキシーランドから、ロック、ラテンおよび現代ジャズまで様々なジャズのスタイルを学ぶ。生徒は学期末近くに行なう演奏会を目指して練習する。また、ジャズに関連したテーマを選び、それについてのプロジェクトペーパーの作成を行う。
A survey of a variety of jazz styles from dixieland, rock,latin and contemporary jazz. Students will be working toward a performance near the end of the term.
Also students need to choose a theme related with Jazz and make a project paper about it.

備考 For those students who are interested in Jazz and have ability on one of the following instruments: saxophone(woodwind)trumpet,trombone,piano, bass, guitar and set drum. Limited to those enrolled in the music program except for piano, bass, and set drum.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HRS
科目名	HSルーキーストリングス / HS Rookie Strings		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	セコム				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Secomb				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　個別指導を多く取り入れた集中的入門クラス。次学期までにアンサンブルが演奏できる力を身に付ける。楽譜の読み方、正しい姿勢、手の位置、それに演奏技術の基本を身に付けることに重点を置く。
This will be an intensive, individualized beginning level class. Students will be equipped with the skills necessary to perform with a performance ensemble by the following term. The emphasis will be on developing a characteristic tone quality, reading basic music notation, proper posture/hand position and technical skill.

備考　Offered in the spring term to any high school student who wishes to learn the fundamentals of playing a string instrument with the intent of continuing in the string program. This course is also available to more advanced students whose schedule might not allow them to fully participate in other string offerings.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HCS
科目名	HSコンサートストリングス / HS Concert Strings		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	セコム/森				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Secomb/Mori				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Teacher approval

内容紹介　質の高い弦楽作品に関する知識を広げながら基本的な演奏能力を向上させる。アンサンブルやソロ演奏の機会が提供される。各人の技術を向上させることに重点を置くが、一年に最低3回はコンサートを行なう予定。
Students can expect to develop and improve basic skills while expanding their knowledge of quality string literature. Ensemble and solo performance will be encouraged. Although the focus will be on developing individual technique, students can expect to perform at least three concerts throughout the school year.

備考　This course is for 9th – 12th grade students who can perform at an intermediate skill level. Students who have had previous school ensemble or private lesson experience are elgible. Director approval is required for enrolling in this class.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HSE
科目名	HSストリングアンサンブル / HS String Ensemble		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	3 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	セコム/森				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Secomb/Mori				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Teacher approval

内容紹介　このクラスでは演奏技術と音色を向上させることに重点が置かれる。様々な音楽形式を含む上質な弦楽作品の演奏が授業の中心となる。生徒は一年に最低3回か4回コンサートに参加する。
The emphasis of this class is continued development of technical and tonal skills. The performance of high quality strings literature featuring a variety of music styles will be the focus of class. Students will perform at least three or more concert performances throughout the school year.

備考　This course is designed for the advanced violin, viola, cello and bass students, grade 9-12, who have attained a high degree of proficiency. The String Ensemble is considered the highest level string class and has a performance focus. Audition and teacher approval is required.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3HBG
科目名	HSビギニングギター / HS Beginning Guitar		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	4	履修期間	1 学期		
授業担当者	森 Mori				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 手の位置、姿勢、音の出し方、そして楽譜の読み方に重点を置きながらギター演奏法の基礎を学習する。伝統的な簡略表音法／タブラチュア《音符でなく文字・数字・符号などを用いる記譜法》が読めるようになり、様々なスタイルを演奏できるようになることを目指す。また、ギターを使った音楽についての発表が必要であり、そのうち1回は英語によるものとする。
Students can expect to learn the basics fundamentals of guitar pedagogy with emphasis on hand position, posture, tone production and music reading. Students will be able read traditional notation/ tablature and perform a variety of styles. Also students need to make a presentation about music related with guitar at least one time in English.

備考 This course is open to any high school student who wishes to learn how to play the classical guitar. This is a beginning level course and no previous experience is needed to enroll.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3IB1
科目名	IBミュージック 1 / IB Music i		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	3	履修期間	3 学期		
授業担当者	セコム Secomb				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☐

履修条件 Teacher approval

内容紹介 このコースでは基本的な音楽理論、形式、楽典（分析）をカバーする。リサイタルでの演奏がカリキュラムに組込まれている。
This course is designed to cover the basics of music theory, form and analysis
music theory. There is a performance component that requires students to perform at recitals.

備考 An OIS IBS class available to SIS grade 11 students who have a serious interest in music with the possibility of going to a music program or major in university. Students must be a part of a parent music organization.ie Chorus, Band,Strings.

教科名	芸術 – Music	コースコード	MU3IB2
科目名	IBミュージック 2 / IB Music ii		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	3	履修期間	3 学期		
授業担当者	リンドリー Lindley				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑

履修条件 IB Music 1

内容紹介 IB1の続き。このコースではIB1よりさらに詳しく音楽理論、形式、楽典（分析）を学ぶ。リサイタルでの演奏がカリキュラムに組込まれている。
A continuation of IB I,this course is designed to cover in more detail than IB 1, music theory, form and analysis
music theory. There is a performance component that requires students to perform at recitals.

備考 An OIS IBS class available to SIS grade 12 students who have a serious interest in music with the possibility of going to a music program or major in university. Students must be a part of a parent music organization.ie Chorus, Band,Strings.

Senri International School Art Programme

The Art programme at Senri International School is committed to forming an art student who:

- is original and creative
- is inquisitive about other cultures
- appreciates art
- understands the elements and principles of design
- is sensitive to media and technique
- prides personal growth

千里国際学園の美術科は、生徒の皆さんに次のようなことを身に付けてもらうことに力を注ぎます。

- 独創性と創造性
- 他文化への興味
- 美術の鑑賞力
- デザインの構成要素と本質の理解
- 媒体と技術への関心
- 自分の成長に対する矜持

The programme is composed of two phases of study:
授業は、次の二つの段階からなっています。

Grades Seven and Eight: 7 年生と 8 年生

The Art programme in grades seven and eight is designed to provide an introduction to Art through art making, appreciation, criticism, and aesthetics.
7 年生と 8 年生を対象とした授業は、製作、鑑賞、批評、美学の学習を通して、美術の基礎を学ぶことに主眼を置いています。

Grades Nine to Twelve: 9 年生から 12 年生

Students in grades nine to twelve are provided with the opportunity to design their own path of study in Art by selecting and sequencing courses to suit their individual aspirations.
9 年生から 12 年生の生徒に対しては、個々の興味に応じて授業を選択していくことによって、各自の美術学習の道のりを作り上げることが出来る機会を提供します。

There are no pre-requisite courses within this phase and students may elect to take as many of the concept and media based courses as they wish.
この段階では、必修・必須科目はなく、希望する授業を履修することが出来ます。

All the courses are one term in length.
全ての科目は一学期間の授業です。

The programme encourages students to explore a broad range of art experiences although Portfolio and Personal Programme courses are offered if students wish to pursue studies in one area to a greater depth.
これらの授業は、幅広く美術に触れることを主眼におきますが、一つのことを掘り下げて探求したい生徒のために、個人プロジェクトの指導も提供されます。

Elective Art Courses

ART の選択授業について

Most Art courses can be taken only once but some courses can be repeated. Please check individual course descriptions. Students wishing to repeat a course at a higher level may do so with teacher approval.
多くの美術の科目は 1 度だけ取れることになっていますが、いくつかの科目は繰り返し取ることが可能であり、単位も加算されていきます。履修については、必ず担当教員と相談の上、承認を得てください。また各科目の内容を良く読んでおくこと。

芸術 － Art

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR307
科目名	Grade Seven Art		

選択・必修　必修
単位数
開講時期
週間時間数　2
履修期間　3 学期
授業担当者
Visual Arts Department
履修条件
内容紹介　このプログラムでは世界の様々な文化とアーティストの芸術形式を探究する。実験や個々の表現の育成を奨励することを目的にプリント、絵画、彫刻といった二次元、三次元の製法に親しむ。生徒は自身の美術学習と制作、自分の世界につながりを見出すようにすること。
備考

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR308
科目名	Grade Eight Art		

選択・必修　必修
単位数
開講時期
週間時間数　2
履修期間　3 学期
授業担当者
Visual Arts Department
履修条件
内容紹介　This course builds on experience gained in the grade seven programme. Students explore two dimensional and three dimensional artforms.
Students keep a developmental workbook (DWB) in which information, diagrams, planning, investigation and experimentation is recorded.
Students are encouraged to find connections between the study and making of art and their own world.
備考

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR3CE
科目名	Ceramics		

選択・必修　自由選択
単位数　2
開講時期
週間時間数　4
履修期間　1 学期
授業担当者　スティーブン/バートラム
Visual Arts Department
履修条件
内容紹介　Students will study traditional handbuilding techniques. Emphasis is placed on the expressive potential and intrinsic beauty of the clay medium. Functional and/or non-functional forms will be made.
備考　Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme. Students are to purchse a sketchbook.

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR3DR
科目名	Drawing		

選択・必修　自由選択
単位数　2
開講時期
週間時間数　5
履修期間　1 学期
授業担当者　バートラム
Visual Arts Department
履修条件
内容紹介　Working in a studio environment, students will study style and meaning in drawing. They will apply these concepts to their own artmaking and solve contemporary visual problems. A variety of media and techniques will be explored.
備考　Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3HA
科目名	Living Spaces		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course explores habitats within natural and human-made environments.
Students will develop two dimensional and three dimensional solutions to problems that have been devised to extend each student's ability to think with creativity and originality.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3TC
科目名	Textile/Costume		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	バートラム				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介

備考

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3LA
科目名	Advertising		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course will study the implication of visual imagery in our century. Students will consider the psychological and emotional impact of layout, advertising and illustration through a study of the elements and principles of design.
A creative approach to understanding these forms of communication will be undertaken including illustration, stories without words, humour with the pen.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3MIX
科目名	Mixed Media		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	スティーブン				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course deconstructs the traditional divisions of media.
Through a process of research, appreciation and by devising solutions to complex problems, the endless potential of mixed media will provide a stimulus for new visual awareness and appreciation.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3PG
科目名	Painting		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	バートラム/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 Students will learn to use paint to express and communicate ideas. Students will study aspects of composition and work in a range of media; watercolour, poster color, acrylic and water soluble materials on a variety of surfaces.
Students will keep a developmental workbook in which they record their investigations, planning and experimentation.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3PM
科目名	Printmaking		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	バートラム/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 This course will explore the history of printmaking including the wide variety of methods and techniques available to printmakers. Woodblock, silkscreen, linoleum and etching will be introduced.
Students will create their own series of prints.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme. Students are to purchse a sketchbook.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3PP
科目名	Personal Programmes		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	バートラム/スティーブン				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 In consultation with their teacher, students will share the responsibility for developing the direction of their studies. Students will learn how to develop sophisticated ideas for their artmaking through research and experimentation.
This course can be taken more than once and is ideal for students who are interested in focusing on concepts and ideas as opposed to media based courses.

備考

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3PTr
科目名	Photography		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	スティーブン/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course is an introduction to black and white photography. Students will learn how a camera works and the processes involved in producing a photographic image.
Students will have access to a school camera and will sign a declaration of their willingness to maintain and care for the camera, taking full responsibility for any damage, loss or miss-use to the equipment. Parent signature is also required. Students are encouraged to purchase their own SLR (single lense reflex) camera. i.e. A fully manual camera.
Students must also purchase a sketchbook.

備考

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3SC
科目名	Sculpture		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	スティーブン/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 Throughout the ages sculpture as a three dimensional form of visual expression has stimulated the senses, prevoked reaction and demanded interaction. Students will explore the endless potential of form and space using a variety of materials and techniques.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme. Students are to purchse a sketchbook.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3CAL1
科目名	書道Ⅰ / Calligraphy I		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1～ 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	岡部				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Okabe				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 古典の臨書を通して、基本的な用筆、運筆をもとにした点画や線質の表し方、字形の構成、全体構成を学習し、書の美しさに触れる。教科書は「書道Ⅰ」を用いるのが原則だが、これを終える上級者が選択した場合には「書道Ⅱ」へ移行する。

備考 1学期間のみの履修も可だが、連続して取る方がよい。単位数は取った学期分加算される。以前はG9,G10が中心であったが、G11,G12や上級者も選択できるようになった。

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3CAL2
科目名	書道Ⅱ / Calligraphy II		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1～ 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	岡部				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Okabe				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 書表現の多様性を理解し、自己の作品作りの基盤となる古典の臨書を重点的に行う。希望があれば篆刻制作をする。教科書は「書道Ⅰ」を用いるが、これを終える上級者が選択した場合には「書道Ⅱ」へ移行する。

備考 1学期間のみの履修も可だが、連続して取る方がよい。単位数は取った学期分加算される。以前はG11,G12が中心であったが、G9,G10や初級者も選択できるようになった。

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3CEM
科目名	Ceramics		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	スティーブン/バートラム				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 Students will study traditional handbuilding techniques. Emphasis is placed on the expressive potential and intrinsic beauty of the clay medium. Functional and/or non-functional forms will be made.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme. Students are to purchse a sketchbook.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3DRM
科目名	Drawing		

選択・必修　自由選択　単位数　0
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　バートラム
Visual Arts Department

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　Working in a studio environment, students will study style and meaning in drawing. They will apply these concepts to their own artmaking and solve contemporary visual problems. A variety of media and techniques will be explored.

備考　Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3HAM
科目名	Living Spaces		

選択・必修　自由選択　単位数　0
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　ナビツキー
Visual Arts Department

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　This course explores habitats within natural and human-made environments.
Students will develop two dimensional and three dimensional solutions to problems that have been devised to extend each student's ability to think with creativity and originality.

備考　Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3TCM
科目名	Textile/Costume		

選択・必修　自由選択　単位数　0
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　バートラム
Visual Arts Department

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

備考

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3LAM
科目名	Advertising		

選択・必修　自由選択　単位数　0
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　ナビツキー
Visual Arts Department

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　This course will study the implication of visual imagery in our century. Students will consider the psychological and emotional impact of layout, advertising and illustration through a study of the elements and principles of design.
A creative approach to understanding these forms of communication will be undertaken including illustration, stories without words, humour with the pen.

備考　Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3MIXM
科目名	Mixed Media		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	スティーブン				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course deconstructs the traditional divisions of media.
Through a process of research, appreciation and by devising solutions to complex problems, the endless potential of mixed media will provide a stimulus for new visual awareness and appreciation.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3PGM
科目名	Painting		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	バートラム/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 Students will learn to use paint to express and communicate ideas. Students will study aspects of composition and work in a range of media; watercolour, poster color, acrylic and water soluble materials on a variety of surfaces.
Students will keep a developmental workbook in which they record their investigations, planning and experimentation.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3PMM
科目名	Printmaking		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	バートラム/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course will explore the history of printmaking including the wide variety of methods and techniques available to printmakers. Woodblock, silkscreen, linoleum and etching will be introduced.
Students will create their own series of prints.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme. Students are to purchse a sketchbook.

教科名	芸術 – Art	コースコード	AR3PPM
科目名	Personal Programmes		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	バートラム/スティーブン				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 In consultation with their teacher, students will share the responsibility for developing the direction of their studies. Students will learn how to develop sophisticated ideas for their artmaking through research and experimentation.
This course can be taken more than once and is ideal for students who are interested in focusing on concepts and ideas as opposed to media based courses.

備考

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR3PTrM
科目名	Photography		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	スティーブン/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 This course is an introduction to black and white photography. Students will learn how a camera works and the processes involved in producing a photographic image.
Students will have access to a school camera and will sign a declaration of their willingness to maintain and care for the camera, taking full responsibility for any damage, loss or miss-use to the equipment. Parent signature is also required. Students are encouraged to purchase their own SLR (single lense reflex) camera. i.e. A fully manual camera.
Students must also purchase a sketchbook.

備考

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR3SCM
科目名	Sculpture		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	スティーブン/ナビツキー				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Visual Arts Department				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 Throughout the ages sculpture as a three dimensional form of visual expression has stimulated the senses, prevoked reaction and demanded interaction. Students will explore the endless potential of form and space using a variety of materials and techniques.

備考 Students wishing to take this course at a higher level are encouraged to do so through a personal programme. Students are to purchse a sketchbook.

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR3CAL1M
科目名	書道Ⅰ / Calligraphy I		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1～ 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	岡部				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Okabe				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 古典の臨書を通して、基本的な用筆、運筆をもとにした点画や線質の表し方、字形の構成、全体構成を学習し、書の美しさに触れる。教科書は「書道Ⅰ」を用いるのが原則だが、これを終える上級者が選択した場合には「書道Ⅱ」へ移行する。

備考 1学期間のみの履修も可だが、連続して取る方がよい。単位数は取った学期分加算される。以前はG9,G10が中心であったが、G11,G12や上級者も選択できるようになった。

教科名	芸術 － Art	コースコード	AR3CAL2M
科目名	書道Ⅱ / Calligraphy II		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1～ 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	岡部				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Okabe				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 書表現の多様性を理解し、自己の作品作りの基盤となる古典の臨書を重点的に行う。希望があれば篆刻制作をする。教科書は「書道Ⅰ」を用いるが、これを終える上級者が選択した場合には「書道Ⅱ」へ移行する。

備考 1学期間のみの履修も可だが、連続して取る方がよい。単位数は取った学期分加算される。以前はG11,G12が中心であったが、G9,G10や初級者も選択できるようになった。

保健体育について

【中等部】

中等部 1 年生から中等部 3 年生（第 1～9 学期）までは必修。

体育

1 年生春学期（第 1 学期）は MS 0（SIS 新入の中等部 1 年生用）プログラム。

1 年生秋学期から 3 年生春学期（第 2～7 学期）は MS プログラム。

3 年生秋学期から（第 8 学期～）は HS（ハイスクール）プログラム。HSPE の履修方法を参照。

CHUGAKUSEI（Junior High School Students = JHS）

Physical Education is compulsory from Term 1st – 9th (JHS 1 *NEN* to JHS 3 *NEN*).

Physical Education

Spring Term of 1 *NEN* (Term 1st)	MS 0 Program
From Fall Term of 1 *NEN* to Spring Term of 3 *NEN* (Term 2nd – 7th)	MS Program
From Fall Term of 3 *NEN* (Term 8th –)	HS Program

【高等部】

保健

1 年生に 2 学期（2 単位）必修。

体育

1 年生春学期から 2 年生春学期（第 10～13 学期）までは毎学期 1 単位ずつの必修。

2 年生秋学期以降（第 14 学期～）は最低 3 単位の必修。各個人の興味や必要に応じて 4 単位以上の履修も可能。

KOKOSEI (Senior High School Students = SHS)

Health

Health is compulsory for 2 credits from Term 10th – 13th (SHS 1 *NEN*).

Physical Education

You need a total 4 credits each Term from Term 10th – 13th (Spring Term of 1 *NEN* to Spring Term of 2 *NEN*). After Term 14th you must take at least 3 Credits. (You can take more if you wish.)

【中等部･高等部六年間の概要】

体育（PE）の履修について

学年	中等部1年			中等部2年			中等部3年			高等部1年			高等部2年			高等部3年		
学期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
Term	S（春）	F（秋）	W（冬）	S	F	W	S	F	W	S	F	W	S	F	W	S	F	W
PE	MS0	MS PE					HS PE						HS	SR PE				
単位 Credits										**1単位 1**	**1単位 1**	**1単位 1**	**1単位 1**	**3単位以上 more than 3 credits**				

保健（Health）の履修について

学年	中等部1年			中等部2年			中等部3年			高等部1年			高等部2年			高等部3年		
学期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
Term	S（春）	F（秋）	W（冬）	S	F	W	S	F	W	S	F	W	S	F	W	S	F	W
Health										Health I, II								
単位 Credits										**この間で2単位 2 credits**								

体育(PE)の履修について

【MS Activity Schedule／MS 実技種目計画】

MS 0 PE PROGRAM

SPRING April - June		
Fitness Test フィットネステスト	Swimming 水泳	Invasion Game ゴール型スポーツ
Invasion Game ゴール型スポーツ	Fitness Test フィットネステスト	Swimming 水泳
Swimming 水泳	Invasion Game ゴール型スポーツ	Fitness Test フィットネステスト

MS PE PROGRAM (2006-)

2008

FALL September - November			WINTER December - March			SPRING April - June
Swimming 水泳	Striking Sports 打つスポーツ	Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ	Swimming 水泳	Invasion Games ゴール型スポーツ	Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ	Junior Olympic ジュニアオリンピック Track and Field Meet 陸上競技大会
Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ pickleball in Gym	Swimming 水泳	Striking Sports 打つスポーツ	Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ volleyball in Gym	Swimming 水泳	Invasion Games ゴール型スポーツ	Junior World Cup ジュニアワールドカップ Invasion Game Tournament ゴール型スポーツトーナメント
Striking Sports 打つスポーツ Cricket on Field	Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ	Swimming 水泳	Invasion Games ゴール型スポーツ Soccer on Field	Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ	Swimming 水泳	
			Fitness Test フィットネステスト			

2009

FALL September - November			WINTER December - March			SPRING April - June
Swimming 水泳	Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ	Individual Sports 個人競技	**Swimming** 水泳	Invasion Games ゴール型スポーツ	Invasion Games ゴール型スポーツ	Junior Olympic ジュニアオリンピック Track and Field Meet 陸上競技大会
Individual Sports 個人競技 Gymnastics in Gym	Swimming 水泳	Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ	Invasion Games ゴール型スポーツ basketball in Gym	Swimming 水泳	Invasion Games ゴール型スポーツ	Junior World Cup ジュニアワールドカップ Invasion Game Tournament ゴール型スポーツトーナメント
Racket /Net Sports ラケット・ネットスポーツ mini tennis on Field	Individual Sports 個人競技	Swimming 水泳	Invasion Games ゴール型スポーツ Hockey on Field	Invasion Games ゴール型スポーツ	Swimming 水泳	
			Fitness Test フィットネステスト			

体力維持・増進トレーニング Fitness Exercises	フィットネステスト、フィットネストレーニング　など Fitness test, Fitness training etc
自己に挑戦する運動 Self Challenging activities	縄跳び、一輪車、ジャグリング、オリエンテーリング、アーチェリー　など Jump rope, Unicycle, Juggling, Orienteering, Archery etc
ゴール型スポーツ Invasion Games	サッカー、バスケットボール、ハンドボール、ラクロス、ホッケー、ピロポロ、タッチ(ラグビー)　など Soccer, Basketball, Handball, Lacrosse, Hockey, Pillopolo, Touch etc
ラケット・ネットスポーツ Racket /Net sports	テニス、バドミントン、卓球、ピックルボール、バレーボール、セパタクロ　など Tennis, Badminton, Table tennis, Pickleball, Volleyball, Sepatacro etc
打つスポーツ Striking Sports	野球、ソフトボール、クリケット　など Baseball, Softball, Cricket etc
個人競技 Individual Sports	ダンス、パフォーマンス、水泳、陸上競技、機械体操、剣道 Dance, Performance, Swimming, Track & Field, Gymnastics, Kendo etc

履修方法について

【HS（ハイスクール）PE の履修について】

① 各学期、HSPE1、2、3 のどれかを必ず 1 つ履修する(HSPE では 1 学期に 2 つは履修できない)。内容は基本的には同じである。

② 高等部 1 年生春学期、秋学期、冬学期、2 年生春学期（第 10、11、12、13 学期）までの間に原則として 4 単位を履修する。

③ 高等部 2 年生春学期(第 13 学期)から SR（シニア）PE を履修することも可能だが、以下の i、ii の条件を満たしていること。

（i） 高等部 1 年生秋学期、冬学期（第 11、12 学期）の履修で S コースと F コースが履修できている者

（ii） i のコースの 4 つの種目でそれぞれの成績に「F」がないこと。

④ 中等部 3 年生春学期(第 7 学期)、高等部 1 年生春学期(第 10 学期)の科目選択の際に、「HSPE コース選択方法」に従い、1 年分(3 学期分)の体育のコース選択を行う。

⑤ 編入生や履修について分からない生徒は体育科の先生まで聞きに行くこと。

[HS（High School） PE Program]

1. HS1, 2 and 3 are basically the same content. You must choose one HS PE section in each Term. (You can't take two sections in the same Term in HS PE)
2. You have to take one PE course from each Term in Term 10th, 11th, 12th and 13th (Spring, Fall, Winter Terms of SHS 1 *NEN* and Spring Term of SHS 2 *NEN*) therefore you take 4 credits.
3. You can take SR PE from Term 13th (SHS 2 *NEN*) if you clear the following the conditions.
   Passed S and F course in Term 11th and 12th (Fall and Winter Terms of SHS 1 *NEN*)
   Passed (No F grade) 4 activities in A and B course in Term 11th and 12th.
4. You choose next year whole HS PE courses and schedule in Term 8th and 11th (Spring Terms of JHS 3 *NEN* and SHS 1 *NEN*). Please look at "How to choose HE PE course" and think carefully to choose which courses you would like to do and when you want to do them.
5. If you have questions or problems, please come to see PE teachers.

【HS PE のコースの選択方法について】

毎年秋学期、冬学期、の 2 学期の間に S コースから 1 つ、F コースから 1 つを必ず 1 つずつ選択しなくてはいけない。春学期は全員同一種目。

原則として同じコードのコースを 2 年続けて履修できない。例）2006 年秋学期に FVB を履修した者は、2006 年には FVB は選択できないので、FBB か STN か SSC を選択しなければならない。

注意　希望者多数の場合は、コースを変更されることもある。
　　種目の組み合わせは変更される可能性もある。

[How to choose HS PE courses]

Please look at the activities for your HS courses in Physical Education.

Required courses for each year are

At least one courses each from S and F courses every year.

Do not choose the same code course as last year.

e.g. if you took　FVB in the 9th grade year, you have to choose FBB or STN or SSC.

Attention

If the course is too full, you will be asked to change. So please be prepared.

Activities may be changed depending on staffing.

2007F～2008S

HS 1

		FALL 秋学期 Term 8th and 11th			WINTER 冬学期 Term 9th and 12th			SPRING 春学期 Term 10th and 13th	
F course **F　コース**	**F** **VB**	Volleyball **バレーボール**	Fitness **トレーニング**	**F** **BD**	Fitness **トレーニング**	Badminton **バドミントン**		**パフォーマンス** **Performance**	**HSオリンピック** **HS Olympic**
S course **S　コース**	**S** **TN**	Softball **ソフトボール**	Pool (Skill) **泳力アップ**	**S** **TC**	Touch (Rugby) **タッチ (ラグビー)**	Pool (Long) **長距離水泳**			

HS 2, 3

F course **F　コース**	**F** **BB**	Fitness **トレーニング**	Basketball **バスケットボール**	**F** **BD**	Fitness **トレーニング**	Badminton **バドミントン**		**パフォーマンス** **Performance**	**HSオリンピック** **HS Olympic**
	F **VB**	Volleyball **バレーボール**	Fitness **トレーニング**	**F** **BD**	Badminton **バドミントン**	Fitness **トレーニング**			
S course **S　コース**	**S** **TN**	Softball **ソフトボール**	Pool (Skill) **泳力アップ**	**S** **FH**	Pool (Waterpolo) **水球**	Field Hockey **フィールドホッケー**			
	S **SC**	Pool (Skill) **泳力アップ**	Soccer **サッカー**	**S** **TC**	Touch (Rugby) **タッチ (ラグビー)**	Pool (Long) **長距離水泳**			

【SR（シニア）PE の履修について】

① 高等部 2 年生秋学期から高等部 3 年生冬学期まで（第 14 学期から第 18 学期）で 3 単位以上を履修する。

② 1 つの学期に SR1 と SR2 の 2 単位を履修することも可能。

③ 高等部 2 年生春学期(第 13 学期)に SRPE を履修する場合は、SR1 か SR2 の 1 つのみを履修できる。ただし、履修できる生徒は HSPE 履修についての③の条件を満たしている生徒のみ。

④ 高等部 2 年生春学期(第 13 学期)の科目選択の際に、高等部 2 年生秋学期から卒業までを見通し、いつどのように履修するか考え履修する。

⑤ 編入生や履修について分からない生徒は体育科の先生まで聞きに行くこと。

[SR（Senior）PE Program]

1. You have to get more than 3 credits from Term 14th to 18th (Fall of SHS 2 *NEN* to Winter of SHS 3 *NEN*).
2. You can take 2 courses (=2 credits) in the same Terms like taking SR1 and SR2 sections.
3. If you take SR PE in Term 13th (Spring Term of SHS 2 *NEN*), you can only take one course either SR 1 or SR 2. Please check HSPE Program 3. condition.
4. You choose whole SR PE courses and schedule in Term 13th (Spring Terms of SHS 2 *NEN*). Please look at "How to choose SR PE course" and think carefully to choose which courses you would like to do and when you want to do them.
5. If you have questions or problems, please come to see PE teachers.

	FALL 秋学期 Term 14th and 17th		WINTER 冬学期 Term 15th and 18th		SPRING 春学期 Term 13th and 16th	

SR1

A course **A コース**	**A** **1**	Volleyball バレーボール	J-CPR 日本語救急法	**A** **2**	Marshal Arts 格技	J-CPR 日本語救急法	**A** **3**	Table Tennis 卓球	J-CPR 日本語救急法
B course **B コース**	**B** **7**	Softball ソフトボール	Pool プール	**B** **8**	Pool プール	Soccer サッカー	**B** **9**	Pool プール	Softball アルティメット
C course **C コース**	**C** **13**	Fitness フィットネス	New Sports ニュー・スポーツ	**C** **14**	Field Hockey ホッケー	Basketball バスケットボール	**C** **15**	Fitness フィットネス	Badminton バドミントン

SR2

A course **A コース**	**A** **4**	E-CPR 英語救急法	**A** **5**	J-CPR 日本語救急法	**A** **6**	J-CPR 日本語救急法
B course **B コース**	**B** **10**	Fitness / Pool フィットネス／プール	**B** **11**	Life guard プール／ライフ・ガード	**B** **12**	Pool / Badminton プール/バドミントン
C course **C コース**	**C** **16**	Basketball バスケットボール	**C** **17**	Field Hockey ホッケー	**C** **18**	Badminton / New Sports バドミントン/ニュースポーツ

【SRPE のコースの選択方法について】

SRPE（3 単位）を履修する間に A コースから 1 つ、B コースから 1 つを必ず 1 つずつ選択しなくてはいけない。
同じ番号のコースを 2 年続けて選択することも可能だが、初めての選択者が優先される。
注意　　希望者多数の場合は、コースを変更されることもある。
　　種目の組み合わせは変更される可能性もある。

[How to choose SR PE courses]

Please look at the activities for your SR courses in Physical Education.
Required courses are
1. At least one courses each from A and B courses in the beginning of 3cridits.

2. You can choose the same code courses as last year but a student who takes the course first time has priority to take it.

Attention

If the course is too full, you will be asked to change. So please be prepared.

Activities may be changed depending on staffing.

保健体育 － PE/Health

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3HE1
科目名	保健Ⅰ / Health 1		

選択・必修　必修　　単位数　1　　開講時期

週間時間数　2　　履修期間　1 学期

授業担当者　加納 Kano

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐

履修条件

内容紹介　保健Ⅰの大きなテーマは、「生、性、死」である。
「命が生まれ、生きていく」ということはどういうことなのか、「性」との関わりを、人権の問題を含め、セクシャル・マイノリティーや、売買春の問題などを通じ学ぶ。連綿と繋がる命の中の自分、死に別れた人の悲しみ、生と死をとりまく現代医療（不妊治療、脳死、臓器移植など）、終末医療（ターミナル・ケア）などを学ぶ。

備考

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3HE2
科目名	保健Ⅱ / Health 2		

選択・必修　必修　　単位数　1　　開講時期

週間時間数　2　　履修期間　1 学期

授業担当者　相良 Sagara

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐

履修条件

内容紹介　保健Ⅱの大きなトピックは、「安全」と「個性と流行」の2つである。
「安全」の中では、身近な危険を認識し、それらの改善方法を考え実行していくというアクション・リサーチに取り組む。
「個性と流行」では、現代社会の中で消費者として位置付けらている自分を見つめなおし、流行とどう付き合っていくのかを考える。それに関連して、セルフ・エスティーム（自尊感情）や酒・タバコにも触れる。

備考

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3MS0
科目名	MS0		

選択・必修　必修　　単位数　　開講時期

週間時間数　3　　履修期間　1 学期

授業担当者　保健体育科 PE Department

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　ミドルスクール0(中学1年生春学期)の授業は1学期間のみ行われる。9月からのミドルスクール1，2，3の授業にスムーズに入るための準備期間としている。以下の5つの活動に取り組む。(1)各体育施設の使い方と授業への取り組み方を理解する、(2)水泳、(3)体力測定、(4)秋のスポーツデー（運動会）に行われるスポーツの紹介、(5)ゴール型スポーツトーナメント。この1学期間の授業を通して、以下の3点を獲得し、学ぶ姿勢・過程が最も大切であるとしている体育の授業への取り組み方を身につけていくことを目標とする。(1)「体育の授業の中での5つのリスペクト」の実践、(2)スポーツ・運動を楽しみ、好きになる、(3)速く走れる、ボールが遠くまで投げられる、といったような個々のスポーツや運動ができる・できないという結果ではなく、授業を大切にし、責任をもった行動がとれるようになる。

備考

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3MS1
科目名	PE MS1		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	6 学期		春学期	☐	☑	☑	☐	☐	☐
授業担当者	保健体育科				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	PE Department				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 MS(ミドルスクール/中学1年生・2年生・3年生春)
ミドルスクールレベルでは様々なスポーツ、運動に取り組むことで、まず、スポーツ・運動を楽しみ、好きになることを目標としている。そして、それぞれのスポーツや運動ができる・できないという結果ではなく、授業を大切にし、責任もった行動がとれるようになるという学ぶ姿勢・過程を最も大切にしている。このレベルでは幅広い様々な種目・運動に取り組んでいる。それぞれを種目の特性から下記のエリアに区分している。それぞれのエリアごとに共通する特性を理解することで個々のスポーツへ発展させていくことができる。(1)体力維持・増進トレーニング、(2)自己に挑戦する運動、(3)ゴール型スポーツ、(4)ラケット・ネット型スポーツ、(5)打つスポーツ、(6)個人競技(ダンス、器械体操、水泳、陸上競技)。それぞれに取り組む中で自分の体の動き方・動かし方に気づくこと、どんなことができるのか・どのようにすればできるのかわかるようになることなどを大切にしている。

備考

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3MS2
科目名	PE MS2		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	6 学期		春学期	☐	☑	☑	☐	☐	☐
授業担当者	保健体育科				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	PE Department				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 MS1の内容を参照

備考 MS1 の内容を参照。

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3MS3
科目名	PE MS3		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	6 学期		春学期	☐	☑	☑	☐	☐	☐
授業担当者	保健体育科				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	PE Department				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 MS1の内容を参照

備考 MS1 の内容を参照。

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3MS4
科目名	PE MS4		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	6 学期		春学期	☐	☑	☑	☐	☐	☐
授業担当者	保健体育科				秋学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐
	PE Department				冬学期	☑	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介 MS1の内容を参照

備考 MS1 の内容を参照。

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3HS1
科目名	PE HS1		

選択・必修	必修	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	6 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
授業担当者	保健体育科				秋学期	☐	☐	☑	☑	☐	☐
	PE Department				冬学期	☐	☐	☑	☑	☐	☐

履修条件 履修方法と履修ルールを参照。

内容紹介 HS(ハイスクールレベル/中学3年生・高校1年生・2年生春) ハイスクールレベルでは各学期ごとにコースを選択し、約6週間ずつ2種目に取り組む。基本的な技能はもちろん、ルールの理解、試合の展開、審判法、コーチ法まで、幅広く深く取り組む。自ら興味のある種目に挑戦すること、またそれぞれの種目の特性に触れることでその種目を好きになること、楽しむことで生涯スポーツへとつながっていくことを目標としている。ハイスクールでは、学ぶことに対する責任はミドルスクールレベルと同様であるが、さらにそれぞれのスポーツ独自の技能(理解度、上達度など)についても重視される。

各種目別
1. FITNESS フィットネス
全身持久力の向上あるいは筋力の向上の基礎を学ぶ。走ることはしんどいことではない。自分のペースを上回るからしんどくなる。しんどくないペースで走っても持久力(心肺機能)は向上する。自分のペース探しと、トレーニングの理論を学ぶ。 また、筋力の基礎では、トレーニングの方法を学ぶ。筋肉モリモリになるだけがウェイトトレーニングではない。より強い力を出せるようにすることも、よりたくましい筋肉をつけることも、野球の投手のように同じ動作を繰り返せるようになることも、スリムでしまったボディラインにすることも、ウェイトトレーニングのやり方次第。様々な種類のトレーニングとその理論を学ぶ。

2. Swimming SKILL UP 水泳 スキルアップ (初心者、初級者向き)
ゆっくりスムーズにクロールが泳げるようになる、エレメンタリーバックストロークでゆっくり長い距離が泳げるようになる、ことを目標とする。そのために1)水に慣れる、2)水の中での自分の体の動きを理解する、3)色々な泳ぎに挑戦する、4)フィンやビート板の助けを借りて長い距離を泳げるようになる、5)自分で練習ができるようになる、の5点を中心に取り組む。クロール、エレメンタリーバックストロークともにできる人はバタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ(横泳ぎ)、クロールのすべてを泳ぐメドレーに挑戦する。

条件:12分間泳で500m以上泳げる人には物足りない。

3. Swimming Long Distance 水泳 長距離泳 (初級者、中級者向き)
ゆっくり長く泳ぐことを目的としたクラス。フィンを使って(あるいは使わずに)クロールで1000m泳ぎきることを最終目標としたクラス。効率のよいフォーム作りを目指す。泳げない人でもビート板を使ったり、自分のスキルに合わせて挑戦する。

条件:特になし

4. Swimming WATERPOLO 水球 (上級者向き)
水球のゲームができるようになる。そのために、1)ルールを理解する、2)個人スキル(パス、ドリブル、シュート)ができるようになる、3)水球に必要な泳力、持久力を身につける、4)オフェンス、ディフェンスができるようになる、5)スキル、作戦の理解と分析ができるようになる、の5点を中心に取り組む。泳力の指標として、1分間の立ち泳ぎ、400mクロールのタイム計測を行う。HSの水泳の授業の中でもっともハードなクラス。

条件:12分間泳で400m以上泳げる人、立ち泳ぎができる人に限る。

5. PERFORMANCE／GYMNASTIC パフォーマンス・器械体操
想像力、創造力を駆使し、リズムとセンスで体を使った表現を作り上げる。コンパルソリ(決まったスタイル)のリズムと動きを使い表現の基礎を学び、各自の作品を作り上げる。ジャズ、モダン、クラッシック、タップ、体操、ヒップホップ、シンクロナイズド・スイミング、道具を使ったもの、単独、グループ、なんでもあり。最後に発表を行う。器械体操もこのパフォーマンスに含まれる。倒立、回転、ジャンプ、跳び箱、バランスなどの器械体操の技に挑戦する。段階を踏んで技の上達を目指すとともに、必要な体の動きを理解する。適切な補助を学び、互いに補助しながら、より高度な技に挑戦する。技をつなげ、体操競技として演技する。

6. HS OLYMPIC ハイスクール・オリンピック(TRACK＆FIELD 陸上競技)
ランニング(短距離走、ハードル、長距離)、跳躍(高跳び、幅跳び、三段跳び)投てき(円盤投げ、砲丸投げ、ハンマー投げ、槍投げ)に取り組む。短距離走のスタートの仕方、ハードルでの足の合わせ方、跳躍での踏み切りの仕方、様々な飛び方

備考 高校2年生の春学期にはSR(シニア)PE履修することも可能。ただし、HSPEの選択方法についてを参照。

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3HS2
科目名	PE HS2		

選択・必修	必修	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	6 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
授業担当者	保健体育科				秋学期	☐	☐	☑	☑	☐	☐
	PE Department				冬学期	☐	☐	☑	☑	☐	☐

履修条件 履修方法と履修ルールを参照。

内容紹介 HS1の内容を参照。

備考 HS1の備考を参照。

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3HS3
科目名	PE HS3		

選択・必修	必修	単位数	1
週間時間数	2.5	履修期間	6 学期
授業担当者	保健体育科 PE Department		
履修条件	履修方法と履修ルールを参照。		
内容紹介	HS1の内容を参照。		
備考	HS1の備考を参照。		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☐
秋学期	☐	☐	☑	☑	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☑	☐	☐

教科名	保健体育 － PE/Health	コースコード	PE3SR1
科目名	PE SR1		

選択・必修	選択必修	単位数	1	開講時期	
週間時間数	3	履修期間	3 学期		
授業担当者	保健体育科 PE Department				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件　履修方法と履修ルールを参照。

内容紹介　SR(シニアレベル/高校2年生・高校3年生)
シニアレベルにおいては自己管理、生涯スポーツへの継続を特に大切にしている。自ら興味のある種目に挑戦すること、またそれぞれの種目の特性に触れることでその種目を好きになること、楽しむことで生涯スポーツへとつながっていくことを目標としている。

各種目説明
1. FITNESS
フィットネス
HSの2つのフィットネス・クラスを踏まえ、自分の目的に合わせて自分でトレーニング・メニューを設定し、それに合わせてトレーニングに取り組む。基本的に理論の復習はおこなわず、できるだけトレーニングに時間をとる。トレーニングの内容は、持久力トレーニングでも、ウエイト・トレーニングでも、それらのコンビネーションでもかまわない。

2. POOL
水泳
プールでのさまざまなエクササイズに取り組む。スキルアップ、泳力アップ、水球、アクアビクスなど。
冬学期には「ウォーターボーイズ＆ガールズ」と称しシンクロナイズド(リズム)スイミングに取り組む。グループでのパフォーマンスを中心に行うため、出席、参加が重視される。

3. LIFE GUARD
ライフ・ガード
オーストラリアのロイヤル・ライフ・セービング・ソサエティーのカリキュラムに沿っておこなわれる。水中での事故を防止し、事故が起こったときの対処法を学ぶ。ビデオも使用するが、基本はプール内での実習である。すべての授業に参加し、必要な技術を習得した者には、ブロンズ・メダリオンという資格が与えられる。13分間に400mぐらい泳げる泳力がないと資格を取るのは難しいかもしれない。

4. JAPANESE CPR
日本語救急法
メディック・ファースト・エイドのカリキュラムを基本に、アメリカン・レッド・クロスや日本赤十字社のテクニックも取り入れておこなわれる。事故を防止し、緊急時に必要な応急手当（治療ではない）ができるように、ビデオを中心として正しい知識と技術を学習する。具体的には、倒れている人を見つけた場合の手当の流れ、ケガの評価、病気の評価などである。すべての授業に参加し、必要な技術を習得した者には、千里国際学園の救急法適認証が与えられる。

5. ENGLISH CPR
英語救急法
オーストラリアのロイヤル・ライフ・セービング・ソサエティーのカリキュラムに沿っておこなわれる。事故を防止し、緊急時に必要な応急手当（治療ではない）ができるように、ビデオを中心として正しい知識と技術を学習する。具体的には、倒れている人を見つけた場合の手当の流れ、ケガの評価、病気の評価などである。

6. Kakugi（Martial Arts）
格技
柔道、剣道を少しずつ行う

7. NEW SPORTS
ニュー・スポーツ:
生涯体育につながるものとして、ターゲット・バード・ゴルフ（羽根突きのゴルフボールを使う）やゲートボール、・アーチェリーペタンクなどを紹介する。

8. VOLLEYBALL バレーボール:
HSのバレーボールを基本に、さらなる技術の習熟と、それを使って高レベルのゲームを楽しむことを目的とする。もちろん初心者でも大丈夫。クラブ員などの上級者は、初心者の手助けをしたりゲームの組み立てをおこなうなど、クラス内でリーダーシップを発揮することを求められる。コーチングや審判法などをおこなう。

9. TABLE TENNIS 卓球同上

10. BADMINTON バドミントン同上

11. SOCCER サッカー同上

12. BASKETBALL バスケットボール同上

13. HOCKEY ホッケー同上

14. TOUCH（TOUCH RUGBY） タッチ（タッチラグビー）同上
タッチとは: ボールを持った鬼を追いかけてタッチする鬼ゴッコと、相手の陣地にボールを運ぶ陣取り合戦を合わせたようなゲーム。ラグビーと同じ楕円形のボールを使い、タックルの変わりにタッチするので安全

。ラグビーのように後ろにしかパスできないのが面白くて難しいところ。

15. SOFTBALL　ソフトボール同上
ソフトボールには：ピッチャーが山なりのスローボールを投げるスローピッチとオリンピックと同じように速球を投げるファストピッチにも挑戦する。

16. ULTIMATE　アルティメット同上
フライングディスクを使ったスポーツ。パスをしながらゴールを目指し、ゴールエリアでキャッチする。

備　　考　T13で履修する場合は、SRPEコース選択方法についてを参照。

教　科　名	保健体育 － PE/Health	**コースコード**	**PE3SR2**
科　目　名	PE SR2		

選択・必修　選択必修
単位数　1
週間時間数　2
履修期間　3 学期
授業担当者　保健体育科
PE Department

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件　履修方法と履修ルールを参照。
内容紹介　SR1の内容を参照。
備　　考　T13で履修する場合は、SRPEコース選択方法についてを参照。

生活科学の履修について

生活科学科では、将来多様な環境で活躍していくであろう生徒に、どのような場合でも自立した社会生活を営む事が出来るように、その基礎となる力を身につけることを目標としています。そのため、生活科学科では、

（1）科学的根拠に基づく正しい生活知識
（2）基本的な生活技術
（3）社会にあふれている情報を分析し、選択する力
（4）豊かな生活を創造する力

の習得が必要であると考えます。

必修科目の生活科学 1～4 では、生活の基本的要素、衣・食・住について、多くの時間を実習に充て、実践的、体験的に学習してゆきます。（授業の各内容については、次からのページを参照）

各選択科目では、必修科目よりさらに実習に重点を置いた授業内容になっていますので、必修での学習をさらに深く学びたい、技術を身につけたいという希望を持つ者が対象となります。

開講科目は以下の通りです。

【必修科目】

	履修時期	履修期間・単位数
生活科学 1	中等部 1 年	週 2 時間×1.5 学期間
生活科学 2	中等部 2 年	週 4 時間×1 学期間
生活科学 3	中等部 3 年	週 7 時間×1 学期間
生活科学 4	高等部 2 年か 3 年	週 5 時間×1 学期間・2 単位

【選択科目】… 自由選択

	履修時期	単位数	備考
食物 a	中 3 以上の秋学期	1 単位	中等部では単位にならない
食物 b	中 3 以上の冬学期	1 単位	中等部では単位にならない
衣服 1	高 1 以上の春学期	1 単位	
衣服 2	高 1 以上の秋学期	1 単位	
衣服 3	高 1 以上の冬学期	1 単位	
編物	中 3 以上の秋学期	1 単位	中等部では単位にならない
保育	高 2 以上の春学期	1 単位	総合として履修可能
カラーコーディネート	高 1 以上の冬学期	1 単位	総合として履修可能

選択科目の「保育」と「カラーコーディネート」の単位は、選択時に「生活科学」もしくは「総合」で取るかを

選ぶことができます。

　履修に関して、何か質問があれば、生活科学科まで相談に来てください。

生活科学 － Home and Family Life

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1HFL1
科目名	生活科学1 / Home and Family Life 1		

選択・必修	必修	単位数	
週間時間数	1.5	履修期間	2 学期
授業担当者	志垣 Shigaki		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

生活科学のイントロダクション的なコース。主に、”食”について取り上げ、講義、実習を通して、生活科学室を正しく使えることを目標に、授業を行います。また、栄養についても学習し、休日の昼食を計画し、調理できることを目指します。

授業内容:
＊生活科学室の備品を使いこなす。講義および調理実習
調理器具の特徴や使い方(包丁・まな板・フライパン・鍋・電子レンジとオーブンの比較等)
＊5大栄養素と6つの食品群
＊中学生の昼食の献立作成と調理実習
＊栄養バランスの整った食事(自分の食生活を見直してみよう)

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1HFL2
科目名	生活科学2 / Home and Family Life2		

選択・必修	必修	単位数	
週間時間数	4	履修期間	1 学期
授業担当者	志垣/泉田 Shigaki/Izumida		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介

主に、”衣”と”住”の分野について取り上げ、衣服の働き、衣服の管理、快適な住まい等を学習する。”住”の分野では、授業で学んだことをもとに、自分の理想の住居の模型を製作する。”衣”の分野では、基本的な裁縫の実習や、カラーコーディネートについても取り上げる。
授業内容
”住”
・住居の機能
・住居に影響を与える要因(リサーチ「世界の住居」)
・住居の歴史(日本の住居の歴史と近代の生活様式の変化について)
・新しい住宅(バリアフリー、環境共生住宅、住宅展示場見学)
・理想の家作り(縮尺、平面図の見方、住居模型の製作)
”衣”
・パーソナルカラー
・色の見え方・感じ方
・衣服の流行とTPO
・日常着の活用と既製服の表示
・ミシンのしくみと基本的な縫い方・製作
・コーディネート発表

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1HFL3
科目名	生活科学3 / Home and Family Life3		

選択・必修　必修　　単位数　　開講時期

週間時間数　7　　履修期間　1 学期

授業担当者　泉田/志垣
Izumida/Shigaki

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　社会とのつながりに目を向け、社会の中における生活について考える。週7時間の授業を週3時間は、身近な環境問題について生活者の視点を大切にして取り組み、残りの4時間は食品の安全性など、生活に潜んでいる危険について学び、消費者としての意識を高める。
授業内容:
・日本の食糧自給率の低下とその問題点。これからの展望。
飽食の時代の食生活事情
遺伝子組み替え作物の光と影
食品添加物について
食品の表示について
メディアリテラシーとは
実習・・・豆腐　・ソーセージ　・米の加工食品　・天然酵母パン　・イーストパン・パスタ・バター・ジャムなど
新聞記事のスクラップ・・・食に関する記事について
・環境問題リサーチ、プレゼンテーション(グループ毎)
環境にやさしいプロジェクト

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1HFL4
科目名	生活科学4 / Home and Family Life 4		

選択・必修　必修　　単位数　2　　開講時期

週間時間数　5　　履修期間　1 学期

授業担当者　泉田/志垣
Izumida/Shigaki

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件

内容紹介　生活全般について取り上げ、学習する。

”生活的自立”
一人暮らしを例にて、生活に必要なスキルを身につけ、将来を展望する。
授業内容:
・生活的自立について
実際の一人暮らしを想定した部屋探し
一人暮らしを始める時に必要な家財道具等を調べ、かかる費用を計算
契約から引越しまでの手続き
毎月の生活費の計算
クレジットについて(クレジットカード・カードローン・分割払い、リボ払いの計算・多重債務・自己破産等)
一人暮らしの食生活(栄養素について、栄養計算、20分で出来る献立)
1日1000円の食生活(1人で献立作成、買い物、調理実習・中食との比較)
快適な生活のために

”社会的自立”
様々なプロジェクトを通して身辺の自立、社会的自立を図る。
「ともに生きる」人生を考える
家族意識(核家族、晩婚化未婚化)、理想の結婚、夫婦別姓、ジェンダー意識、男女のパートナーシップ
親になるということ、乳幼児の衣食住にまつわる社会問題、少子化、児童虐待
高齢者介護、死を向かえる前に、ユニバーサルデザインコンテスト

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1CL1
科目名	衣服1 / Clothing 1		

選択・必修　自由選択　　単位数　1　　開講時期

週間時間数　2　　履修期間　1 学期

授業担当者　泉田
Izumida

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　被服製作を中心に衣生活について理解を深める。
・ 課題作品・・・手縫いとミシン縫いで小物作り(1作品)
・ 自由作品・・・ミシン縫いで1作品以上

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1CL2
科目名	衣服2 / Clothing 2		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	泉田				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Izumida				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 衣服1の履修済みの人（又は、ミシンを自分1人で扱うことのできる人）、高度な内容なので、意欲を持って取り組める人。担当教員に事前に相談すること。

内容紹介 衣服1で学んだ内容をレベルアップした授業内容で、デザイン画や製図の基礎的な知識を学び、各自、それを応用した被服製作を行う。デザイン画コンテストに応募する予定。

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1CL3
科目名	衣服3 / Clothing 3		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2.5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	泉田				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Izumida				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 衣服1,2の履修済みの人（又は、ミシンを自分1人で扱うことのできる人）、高度な内容なので、意欲を持って取り組める人。担当教員に事前に相談すること。

内容紹介 衣服3では、人と衣服と社会環境との関係について学習し、ユニバーサルファッションをデザイン・製作します。

授業内容：
- 生活の中の衣服
- 衣服の分類
- 衣服と体型
- 衣服の構成要素
- 高齢者・障害者と衣生活
- ユニバーサルファッションのデザイン・製作

現在、衣服のデザインは、若者や健常者を対象とした斬新で華やかなものが中心に考えられがちです。しかし、衣服を介して、自由に、楽しく自己を表現するということは、すべての人にとって与えられた権利です。高齢者・障害者を含むすべての人が、年齢やサイズ、国籍や性別、体型、障害等にかかわらず、ファッションが楽しめる社会の実現に向けて、ユニバーサルファッションのデザイン・製作に取り組みましょう。目指せ、衣服の達人！

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1FO
科目名	食物 / Food a		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	志垣				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Shigaki				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件 生活科学3の履修が終わっていること。

内容紹介 食物の内容のうち、食物aのクラスでは、食材や食品に重点をおいた授業内容。
授業では、講義、実験、実習を通して、私達の命を支える“食”に対して関心を持つと共に、その料理を構成している食品の特性を理解し、それを活かした調理が行えることを目指します。
授業内容：
・食生活の変化と現状
・5大栄養素、栄養所要量について
・小麦・乳製品の特性とその調理
・米の特性とその調理
・食肉の特性とその調理
・野菜の特性とその調理
・卵の特性とその調理
・魚の特性とその調理
・バランスの整った1日分の献立作成と調理実習

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1CH
科目名	保育 / Child Care		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　泉田
Izumida

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　保育に関する実習や、保育所においての体験学習を通して、乳幼児の心身の発達を知り、乳幼児との関わり方を考える。
サブテーマ「生きる」
授業内容:
- 人間が生まれる
- 人間が育つ
- 子どもを育てる
- 子育てと食べる・着る
- 遊びと発達
- 子どもが育つ環境

備考　この授業は選択時に「生活科学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1KW
科目名	編物 / Knit Ware		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　泉田
Izumida

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　編み物経験者(未経験者は要相談)で、製作意欲のある人。

内容紹介　昨今、このハイテク時代に、かなりローテクな編み物が最注目されている。寒い冬を前にして、忙しい現代人が編み物にはまる理由は何なのか。自分の指を動かしながら黙々と何かを創る、という昔ながらの作業は、どうして人の心を満たし、癒していくのか。実習を通して、体験し、感じとり、編み物について理解を深める。実習内容は次の通り。手編みで(自分の指を動かして)作品を製作する。
- 課題作品・・・棒針編み・かぎ針編みで、小物作り(1作品)
- 自由作品・・・棒針編み・かぎ針編みのいずれかで1作品以上

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1CO
科目名	カラーコーディネート / Color Coordination		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　泉田
Izumida

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　カラーコーディネートでは、Color for life というタイトルで、演習などを通じて色がもたらす様々な効果を学びます。さらに、魅力的な色を活用して、より自分らしく気持ちの良い暮らしをしていくことについて考えます。
授業内容:
- 色彩についての基礎演習
- 気持ちいい！大好き！ルームカラーコーディネート
- おしゃれ！素敵！ファッションカラーコーディネート
- 楽しい！おいしい！テーブルカラーコーディネート

私たちは毎日の生活の中でたくさんの色を目にします。それらの中で、美しい、楽しい、好ましいなどと感じた色を生活の中に取り入れたいと思ったとき、「どのように使えば良いのだろう？」と、とまどった経験はありませんか。色を使って「もっと快適に暮らしたい」「おしゃれに見せたい」「料理上手に見せたい」など、色に求めるものは人によって様々ですが、色彩についての初歩的・基本的な知識やカラーコーディネートをうまく生活の中に取り入れることができれば、より豊かな暮らしを送ることができます。目指せ、カラーの達人！

備考　この授業は選択時に「生活科学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。
2008年は春学期と冬学期に、2009年以降は冬学期に開講される。

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1FOM
科目名	食物 / Food a		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	
週間時間数	2	履修期間	1 学期		
授業担当者	志垣 Shigaki				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件　生活科学3の履修が終わっていること。

内容紹介　食物の内容のうち、食物aのクラスでは、食材や食品に重点をおいた授業内容。
授業では、講義、実験、実習を通して、私達の命を支える“食”に対して関心を持つと共に、その料理を構成している食品の特性を理解し、それを活かした調理が行えることを目指します。
授業内容:
・食生活の変化と現状
・5大栄養素、栄養所要量について
・小麦・乳製品の特性とその調理
・米の特性とその調理
・食肉の特性とその調理
・野菜の特性とその調理
・卵の特性とその調理
・魚の特性とその調理
・バランスの整った1日分の献立作成と調理実習

備考

教科名	生活科学 － Home and Family Life	コースコード	HF1KWM
科目名	編物 / Knit Ware		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	
週間時間数	2	履修期間	1 学期		
授業担当者	泉田 Izumida				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　編み物経験者（未経験者は要相談）で、製作意欲のある人。

内容紹介　昨今、このハイテク時代に、かなりローテクな編み物が最注目されている。寒い冬を前にして、忙しい現代人が編み物にはまる理由は何なのか。自分の指を動かしながら黙々と何かを創る、という昔ながらの作業は、どうして人の心を満たし、癒していくのか。実習を通して、体験し、感じとり、編み物について理解を深める。実習内容は次の通り。手編みで（自分の指を動かして）作品を製作する。
・ 課題作品・・・棒針編み・かぎ針編みで、小物作り（1作品）
・ 自由作品・・・棒針編み・かぎ針編みのいずれかで1作品以上

備考

情報科の履修について

【必修科目・必修単位数】

まず、7 年生(中等部 1 年)で全員が必修科目「コンピュータ基礎 7」を受講します。
9 年生(中等部 3 年)以上は個人の興味や必要に応じて、自由選択科目をいくつでも履修できます。
10 年生～12 年生(高等部 1～3 年)の間に 2 単位以上を取得しなければなりません。
9 年生で IT 科目を履修しても、高校生の単位としては認定されませんので、10 年生以降に 2 単位以上を履修する必要があります。

【自由選択科目の選択方法について】

情報科の科目名は、IT0～5 のように数字のついたものがありますが、数字の小さい順から履修するものではありません。履修の順番は、以下を参考に、各自の興味と履修条件を考え合わせて選択してください。科目の内容がよくわからない場合、履修条件を満たしていない場合、選択に迷う場合は、必ず情報科教員に相談してください。

1. 最初に履修するのが望ましい科目

   IT1 は、文書作成、表計算、情報検索、プレゼンテーションに必要なスキルを、7 年生での「コンピュータ基礎 7」レベルからグレードアップさせるコースです。Word や Excel は「簡単だ」、「いつも使っているから大丈夫」と思って自己流で使っていると、いつまでも自分で知っている機能しか使えていません。コンピュータ以外の科目でよく使う機能を中心に、使えば便利な機能、見栄えが格段よくなるテクニックを徹底的に練習します。IT1 は週に 4 回のコースですが、IT1 の内容を前半と後半の 2 つに分け、週 2 回で実施する IT0a と IT0b のコースもあります。IT0a と IT0b は別学期に実施します。IT0a と IT0b はどちらからでも、どちらかだけでも履修可能です。

2. 絵を描くこと、Web ページ作成に興味がある人

   IT2 で、描画やフォトレタッチ、Tシャツの作成、作曲、Web ページの作成を行います。この IT2 で取り組んだ内容のうち、どれか 1 つをもっと徹底的に取り組みたい場合は、IT2 の履修後、IT3 を履修してください。IT2 での Web ページ作成をもっと発展的に取り組みたい場合、取り組みたいテーマが趣味的内容の場合は IT3 を、他の教科でリサーチしたりまとめたりした内容を持ち込んで取り組みたい場合は Multi Media Contents 制作コースを、履修することになります。

3. ゲームプログラミングに興味がある人

   IT4 で Visual Basic によるプログラミングを習得できます。このコースの最終目標は、オリジナルゲームソフトを作成することです。ただし、コンピュータゲームで遊ぶことと、コンピュータゲームを制作することは全く違います。論理的な思考ができるよう、徹底的に演習を行うので、単にゲームで遊べる、ゲームが好きだという動機だけでこのコースを履修しようと思っている人や、「ひたすら根気強く考える・取り組む、あきらめない、面倒がらない」ことが苦手な人は、このコースの履修は大変です。IT4 で取り組んだ内容を発展させて、さらに複雑なプログラミングをしてみたい場合は、IT3 を履修してください。

4. ロボットを作ったり動かしたりに興味がある人

IT5 では、LEGO MINDSTORMS を用いてロボットを製作し、コンピュータソフトのプログラミングにより動作させます。このコースはプログラミングを行いますので、プログラミングの基礎を学ぶ IT4 の既習が望ましいです。IT4 を未履修で IT5 を希望する場合は、担当教員に必ず相談してください。

5. プレゼンテーション、Web ページ作成の上達を目指したい人

PowerPoint のスライド作成やプレゼンテーションはある程度できるけれども、もっとスキルアップしたい場合、コンテンツの内容は準備できていてそれをWebページにしてみたい場合は、Multi Media Contents 制作コースを履修してください。プレゼンテーションはいろいろな科目で取り組むことができますが、取り組むレベルは、コンピュータ基礎 7（秋学期）→知の探検隊（冬学期）→IT1(IT0b も同レベル)→Multi Media Contents 制作の順に高くなります。12 年生で、大学の推薦入試の自己 PR（最近は PowerPoint によるプレゼンテーションも増えています）の準備が必要な場合も、このコースで取り組めます。なお、PowerPoint、Web ページともに画像・音・動画の処理が必須となりますので、IT2 の既習が望ましいです。

6. 7 年生以降に SIS に入学した人

7 年生で必修の「知の探検隊」を受講できなかった人向けに、「コンピュータ基礎」コースがあります。このコースは「知の探検隊」レベルの PowerPoint によるプレゼンテーションの内容を、受講者のレベルに合わせて実施します。

7. 情報の技術（担当 青山）は総合または情報の教科として単位が与えられます。

総合として選択する場合のコースコードは EX1HLR
情報として選択する場合のコースコードは CS1HLR となります。

情報 － IT

教科名	情報 － IT	コースコード	CS107a
科目名	コンピューター基礎 7 / Computer Basics 7		

選択・必修	必修	単位数	
週間時間数	1.5	履修期間	2 学期
授業担当者	合志 Koshi		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　コンピュータの基本操作、基礎知識、プレゼンテーションの基礎を学ぶコース。
(1)タッチタイピング…10本の指を用いて、キーボードを見ることなくキーを打つ技術を学ぶ。習得の度合いは、実技テストを実施して確認する。
(2)コンピュータの基本的な操作…Windowsの基本操作、Wordによる文書作成、ペイントによる描画を学ぶ。
(3)コンピュータのしくみと働き…パソコンの本体を分解して、内部を見る。パソコン本体を構成する主な部品がどのような働きをし、パソコン本体に接続される他の装置(キーボード、マウス、ディスプレイなど)とどのように情報のやり取りをするかを学ぶ。
(4)情報通信ネットワークの活用…インターネットのしくみと情報検索の方法、著作権・個人情報の保護や電子メール利用上のマナーなど情報モラルの必要性について学ぶ。
(5)プレゼンテーション技術…Powerpointによるスライド作成方法を学び、実際にプレゼンテーションを実施して、相互評価を行う。

備考　春学期と秋学期に分けて履修する
春学期:(1)タッチタイピング　(2)コンピュータの基本的な操作　(3)コンピュータのしくみと働き　(4)情報通信ネットワークの活用
秋学期:(5)プレゼンテーション技術

教科名	情報 － IT	コースコード	CS1B
科目名	コンピュータ基礎 / Computer Basics		

選択・必修	必修	単位数	1
週間時間数	2	履修期間	1 学期
授業担当者	宮澤 Miyazawa		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　図書館で利用できる各種資料(図書・雑誌・新聞・電子資料・インターネット)を主体的に活用し、必要な情報を探し出し、発表課題に対して、各自が自分の観点でまとめる力やPowerpointを使って発表する力を養う。本学園でのプレゼンテーションはどういうものであるのかを知ること、各教科におけるプレゼンテーションの取り組みに必要な、技術や基本知識を身に付けることが目標である。

備考　7年生で「知の探検隊」を履修していない9年生以上が対象

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT0a
科目名	インフォメーション・テクノロジー0a / Information Technology 0a		

選択・必修	自由選択	単位数	1
週間時間数	2	履修期間	1 学期
授業担当者	宮澤 Miyazawa		

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　このコースはInformation Technology1の前半部分を実施する。Information Technology0aとInformation Technology0bの両方を履修すると、Information Technology1と同内容を履修することになる。
Word、Excel応用編…見栄えのよい文書作成をするための「Wordの実用的な機能」、効率的な表作成と表現力のあるグラフ作成を中心とした「Excelの実用的な機能」、WordとExcelのデータ連携を用いた「レポート作成テクニック」を習得する。

備考

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT0b
科目名	インフォメーション・テクノロジー0b / Information Technology 0b		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	宮澤				秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
	Miyazawa				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件

内容紹介　このコースはInformation Technology1の後半部分を実施する。Information Technology0aとInformation Technology0bの両方を履修すると、Information Technology1と同内容を履修することになる。
(1)Powerpointによるビジュアルプレゼンテーション…徹底した情報収集、プレゼンテーションの企画・設計・準備の方法、動画や音を入れたスライド制作、プレゼンテーションの実施と相互評価。発表テーマには、コンピュータ犯罪を取り上げ、プレゼンテーション技術の向上とともに、ネット社会の功罪についても学ぶ。
(2)データベースの概念・役割の理解と活用方法…Accessの基本的な操作方法、リレーショナルデータベースの概念、データベースの設計と構築、「抽出、印刷、並べ替え」などのデータの加工について学ぶ。

備考

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT12
科目名	インフォメーション・テクノロジー1 / Information Technology 1		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	☑	☑	☑
授業担当者	宮澤				秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
	Miyazawa				冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　このコースはMicrosoft Officeのソフトウェアの中で、「コンピュータ基礎7」では取り扱わなかった部分を中心に学習する。単にソフトウェアの操作を習得するだけに終わらず、他の教科のレポートやプレゼンテーションに、積極的にコンピュータを活用する力を身につけることを目標とする。
(1)Word、Excel応用編…見栄えのよい文書作成をするための「Wordの実用的な機能」、効率的な表作成と表現力のあるグラフ作成を中心とした「Excelの実用的な機能」、WordとExcelのデータ連携を用いた「レポート作成テクニック」を習得する。
(2)Powerpointによるビジュアルプレゼンテーション…徹底した情報収集、プレゼンテーションの企画・設計・準備の方法、動画や音を入れたスライド制作、プレゼンテーションの実施と相互評価。発表テーマには、コンピュータ犯罪を取り上げ、プレゼンテーション技術の向上とともに、ネット社会の光と影についても学ぶ。
(3)データベースの概念・役割の理解と活用方法…Accessの基本的な操作方法、リレーショナルデータベースの概念、データベースの設計と構築、「抽出、印刷、並べ替え」などのデータの加工について学ぶ。

備考

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT22
科目名	インフォメーション・テクノロジー2 / Information Technology 2		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	☑	☑	☑
授業担当者	合志				秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
	Koshi				冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　IT1を先に履修していなくても受講できる。

内容紹介　このコースは、情報のディジタル化とはどういうものか、画像、音楽、アニメーションの作成・編集テクニックを学び、CG、音楽作品、Tシャツ制作を行う。そしてさまざまなディジタル情報を統合したマルチメディアによる表現としてWebページ作成を行う。IT2でのWebページ作成のレベルは、タグの記述(HTML作成用のソフトウェアは使用しない)とアニメーションGIF、画像、音の取り扱いまでとする。

(1)さまざまな情報のディジタル化…文字・画像・音のディジタル化のしくみや特徴、2進数・16進数表現、情報圧縮の方法などについて学ぶ。
(2)CGの作成・編集…グラフィックソフト「Paintshop Pro」の操作方法を習得し、画像の変換と合成、アニメーション画像やロゴ、さまざまな機器や技法を使ったCG制作、自作のCGによるオリジナルTシャツ制作などを行う。
(3)ディジタルカメラ、スキャナー、タブレット等のマルチメディア機器を使いこなす。
(4)サウンドデータの作成・編集…作曲ソフト「Singer Song Writer」の操作方法を習得し、メロディを作曲し、ふさわしい伴奏をつける。
(5)Webページの基本…効果的なWebページデザインとはどういうものか、基本的なタグの記述方法について学ぶ。
(6)Webページ制作…自作のWebページの企画、情報収集、ページを構成する素材の作成とタグの記述を行い、完成したページの相互評価を行う。

備考

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT32
科目名	インフォメーション・テクノロジー3 / Information Technology 3		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	4	履修期間	1 学期		
授業担当者	合志 Koshi				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件 IT2は履修済みであること。

内容紹介 情報科で現在開講されているどのコースにもないジャンルに取り組むことができるコースである。このコースでの学習の流れは、各自が取り組みたいテーマを決め、計画を立て、方法を調査し、作品制作を行い、それを発表するという一連の活動を行う。
テーマは学術的な内容でなく、趣味的内容でもかまわない。例えばIT2、IT4での既習の学習内容のなかで、より発展的に取り組みたいものを選んだり、flashやクレイアニメーション、映像制作に取り組んだりすることもできる。制作例としては、ゲーム音楽やキャラクターに凝ったコンピュータゲームソフト、より高度な作曲、コンピュータグラフィックス、スタイルシート、JavaScript、Flash、動画を取り扱うレベルのWebページを作成する、などが挙げられる。取り組みは、個人、グループによる共同作業のどちらでもよい。必ず計画した作品を完成させ、コンテストや学校のWebサイトなどで発表することを目標とする。

備考 取り組み内容によって人数に制限があるため、選択前に必ず情報科へ相談に来ること。授業の初回までに取り組み内容についての意思表示がない場合、希望する内容で取り組めない場合がある。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT4
科目名	インフォメーション・テクノロジー4 / Information Technology 4		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	
週間時間数	4	履修期間	1 学期		
授業担当者	合志 Koshi				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件 IT1またはIT2を履修済みであること

内容紹介 データ構造とアルゴリズム（問題を解決するための処理手順）の知識と技術、Visual Basicを用いたプログラミング技法の基礎を学習する
（1）データ構造…基本的なデータ型、2次元までの配列
（2）基本的なアルゴリズムを流れ図で表現する…順次処理、選択処理、反復処理、最大値、最小値、整列、順次探索、二分探索のアルゴリズムと、効率的なアルゴリズムとはどういうものかを学ぶ。
（3）Visual Basicによるプログラミング…VBの基本的な操作や効率的なプログラミング作成ができるよう、徹底的にプログラミングの演習を行う。
（4）ゲームプログラミング

備考 コンピュータゲームで遊ぶことと、コンピュータゲームを作ることは全く違う。論理的な思考ができるよう、徹底的に演習を行うので、「ひたすら根気強く考える、取り組む、あきらめない」心構えが必要。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT5
科目名	インフォメーション・テクノロジー5 / Information Technology 5		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	
週間時間数	2	履修期間	1 学期		
授業担当者	合志 Koshi				

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介 このコースはLEGO MINDSTORMSを用いて、ロボットの製作とコンピュータ制御について学習する。
（1）ロボットのデザインと組み立て（四輪自動車、二足歩行ロボット、犬ロボットなど）
（2）光センサー、タッチセンサーの組み込み
（3）動かすためのプログラミング
（4）動作の確認

備考 受講希望者が定員を超えた場合は12年生を優先する。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT6
科目名	MultiMedia Contents 制作 / MultiMedia Contents		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	合志				秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
	Koshi				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　IT1（またはIT0a）とIT2の既習が望ましい。少人数で授業を進めるため、既習者を優先する。IT1、IT2が未履修の場合は、授業担当教員に相談してから登録すること。また、必ず調査・取材などが済んでいて、発表できるレベルのテーマを持ち込むこと。

内容紹介　情報科以外の科目、例えば比較文化、生活科学、国語、保健などで調査、作成したレポートなどを、PowerPointのスライドやWebページの形式に再構築し、発表を行う。発表媒体をディジタル化することにより、より多数、より効果的な情報発信が可能になる。各コンテンツの材料は持ち込みとするので、テーマについての調査・取材・まとめの時間は含まない。PowerPointを使ったプレゼンテーションへの取り組みとしては、情報科のコースの中で最上級レベルである。スライドやWebページでの効果的な表現方法、PowerPointによる発表スキルの向上を目指す。

備考　持ち込むテーマが違えば、何度履修しても可。履修する毎に単位を認定する。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3MM
科目名	マルチメディア / MultiMedia		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	3 学期		春学期	□	□	□	□	☑	☑
授業担当者	ホール				秋学期	□	□	□	☑	☑	□
	Hall				冬学期	□	□	□	☑	☑	□

履修条件

内容紹介　マルチメディアのクラスでは生徒は2つの大きな責任を担う。
1. スクール・イヤーブックの発行。
2. 月刊学校ニュース放送の制作（MMTV-MultiMedia TeleVision）
イヤーブックのレイアウトと制作に加え、マルチメディを履修する生徒はAdobe PhotoShop、Adobe PageMaker、Adobe Illustratorの使い方も学ぶ。
月刊放送のために学校のスタジオの機器（カメラ、分電盤、ビデオ機器、音声機器）の操作も学ぶ。
SISとOISの10年生、11年生を対象とした3学期にわたるコースである。前年、このクラスを取った生徒が履修を希望した場合、優先的にクラスが取れることがある。

備考　秋学期からの3学期間、必ず連続で取らなければならない。時間帯は一応ブロックⅢ（M,Th)になっているが、担当者と打ち合わせて決める。他の授業登録をした後、担当者と相談すること。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS1HLR
科目名	情報の技術 / Library and Research		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	☑	☑	☑
授業担当者	青山				秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
	Aoyama				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　10年生以上対象。

内容紹介　「レポート作成技術」の学習を通して、いかにして図書館及びインターネット等の情報源を使いこなしてまとめ、自分のものとして発表するかをトレーニングする。本学園で、また、卒業後も自主的に勉強するのに役立つ技術を身につけるのが目標。
1学期間かけてレポートを作成、プレゼンテーションを行う。

備考　7年次の「入門」クラスを取れなかった者を主たる対象とするが、学年に応じた内容の指導を行うので、7年次に履修した者も選択できる。

この授業は「情報」または「総合」として選択できる。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS1RS
科目名	Research Skills / Research Skills		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	合志				秋学期	□	□	□	☑	☑	☑
	Koshi				冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　IT1またはIT0aを先に履修していること。

内容紹介　リサーチスキルを「インターネットの効果的な利用」「図書館の徹底的な活用」「インタビューの方法」「アンケートのとり方」の4つに大きく分け、メディアの特性や具体的な情報の入手方法を学びながら、それらのスキルを生かして、「旅行プランの作成」と「身近な社会問題の発見・提案」をテーマに、2回のプレゼンテーションを行います。あらゆる教科でのレポート作成やプレゼンテーションで必ず必要となるスキルを学ぶコースで、7年生の「知の探検隊」の上級コースという位置づけです。各項目ではなるべく多くの演習を行って、スキルの定着を図ります。なお、PowerPointでのスライド作成を初歩から学ぶコースではありません。

《学習内容》
【インターネット】検索エンジン、調べるためのWebサイトの理解、旅行プランのプレゼンテーション、Web検索演習
【図書館】図書館の特性と機能の理解、図書の分類、図書の検索方法、本、雑誌資料の特性、図書の分類・検索演習
【アンケート】設問設定のコツ、アンケート用紙の作成と実施、Excelを使ったアンケートの集計・分析方法、グラフ表現
【インタビュー】コツや方法の習得、インタビューゲームの実施
【総合演習】アンケート、インターネットを使った調査、企画書の作成、企画のプレゼンテーション

備考　この授業を高等部の生徒が履修する場合には「情報」または「総合」として選択でき、1単位が与えられる。9年生は総合の分野になる。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS1MA
科目名	Marketing / Marketing		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	宮澤				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Miyazawa				冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件　9年生以上　かつIT01またはIT0aを履修していること。

内容紹介　このコースは「いかにして商品が販売されているのか」、「いかにして商品を販売するのか」を、様々な視点から学ぶことを目標とする。
「商品の流通」や「広告宣伝」などを学び、ネット上にオンラインショップを開設運営してもらい、売上や来客数などをレポートしてもらう。

(1)広告・宣伝
広告や宣伝の方法を学び、実際にPOPを作成する。
(2)流通の仕組み
店舗の立地や商品が生産者からどのような流通過程を通じて消費者に届くのかを学ぶ。
(3)Web2.0
従来のインターネットとの違いは何か、それをいかにマーケティングに活かすのかを学ぶ。
(4)アフィリエイト
インターネット上のアフィリエイトプログラムの内容を学び、実際に開設、運営し売上、来客数などをExcelにて分析し、レポートにまとめる。

備考　この授業は選択時に「情報」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS1BM
科目名	コンピュータ基礎 / Computer Basics		

選択・必修	必修	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	☑	□	□	□
授業担当者	宮澤				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Miyazawa				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件

内容紹介　図書館で利用できる各種資料（図書・雑誌・新聞・電子資料・インターネット）を主体的に活用し、必要な情報を探し出し、発表課題に対して、各自が自分の観点でまとめる力やPowerpointを使って発表する力を養う。本学園でのプレゼンテーションはどういうものであるのかを知ること、各教科におけるプレゼンテーションの取り組みに必要な、技術や基本知識を身に付けることが目標である。

備考　7年生で「知の探検隊」を履修していない9年生以上が対象

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT0aM
科目名	インフォメーション・テクノロジー0a / Information Technology 0a		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	宮澤				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Miyazawa				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　このコースはInformation Technology1の前半部分を実施する。Information Technology0aとInformation Technology0bの両方を履修すると、Information Technology1と同内容を履修することになる。
Word、Excel応用編…見栄えのよい文書作成をするための「Wordの実用的な機能」、効率的な表作成と表現力のあるグラフ作成を中心とした「Excelの実用的な機能」、WordとExcelのデータ連携を用いた「レポート作成テクニック」を習得する。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT0bM
科目名	インフォメーション・テクノロジー0b / Information Technology 0b		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	宮澤				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Miyazawa				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　このコースはInformation Technology1の後半部分を実施する。Information Technology0aとInformation Technology0bの両方を履修すると、Information Technology1と同内容を履修することになる。
(1)Powerpointによるビジュアルプレゼンテーション…徹底した情報収集、プレゼンテーションの企画・設計・準備の方法、動画や音を入れたスライド制作、プレゼンテーションの実施と相互評価。発表テーマには、コンピュータ犯罪を取り上げ、プレゼンテーション技術の向上とともに、ネット社会の功罪についても学ぶ。
(2)データベースの概念・役割の理解と活用方法…Accessの基本的な操作方法、リレーショナルデータベースの概念、データベースの設計と構築、「抽出、印刷、並べ替え」などのデータの加工について学ぶ。

備考

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT12M
科目名	インフォメーション・テクノロジー1 / Information Technology 1		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	宮澤				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Miyazawa				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　このコースはMicrosoft Officeのソフトウェアの中で、「コンピュータ基礎7」では取り扱わなかった部分を中心に学習する。単にソフトウェアの操作を習得するだけに終わらず、他の教科のレポートやプレゼンテーションに、積極的にコンピュータを活用する力を身につけることを目標とする。
(1)Word、Excel応用編…見栄えのよい文書作成をするための「Wordの実用的な機能」、効率的な表作成と表現力のあるグラフ作成を中心とした「Excelの実用的な機能」、WordとExcelのデータ連携を用いた「レポート作成テクニック」を習得する。
(2)Powerpointによるビジュアルプレゼンテーション…徹底した情報収集、プレゼンテーションの企画・設計・準備の方法、動画や音を入れたスライド制作、プレゼンテーションの実施と相互評価。発表テーマには、コンピュータ犯罪を取り上げ、プレゼンテーション技術の向上とともに、ネット社会の光と影についても学ぶ。
(3)データベースの概念・役割の理解と活用方法…Accessの基本的な操作方法、リレーショナルデータベースの概念、データベースの設計と構築、「抽出、印刷、並べ替え」などのデータの加工について学ぶ。

備考　9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT22M
科目名	インフォメーション・テクノロジー2 / Information Technology 2		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	合志				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Koshi				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件 IT1を先に履修していなくても受講できる。

内容紹介 このコースは、情報のディジタル化とはどういうものか、画像、音楽、アニメーションの作成・編集テクニックを学び、CG、音楽作品、Tシャツ制作を行う。そしてさまざまなディジタル情報を統合したマルチメディアによる表現としてWebページ作成を行う。IT2でのWebページ作成のレベルは、タグの記述（HTML作成用のソフトウェアは使用しない）とアニメーションGIF、画像、音の取り扱いまでとする。

（1）さまざまな情報のディジタル化…文字・画像・音のディジタル化のしくみや特徴、2進数・16進数表現、情報圧縮の方法などについて学ぶ。
（2）CGの作成・編集…グラフィックソフト「Paintshop Pro」の操作方法を習得し、画像の変換と合成、アニメーション画像やロゴ、さまざまな機器や技法を使ったCG制作、自作のCGによるオリジナルTシャツ制作などを行う。
（3）ディジタルカメラ、スキャナー、タブレット等のマルチメディア機器を使いこなす。
（4）サウンドデータの作成・編集…作曲ソフト「Singer Song Writer」の操作方法を習得し、メロディを作曲し、ふさわしい伴奏をつける。
（5）Webページの基本…効果的なWebページデザインとはどういうものか、基本的なタグの記述方法について学ぶ。
（6）Webページ制作…自作のWebページの企画、情報収集、ページを構成する素材の作成とタグの記述を行い、完成したページの相互評価を行う。

備考 9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT32M
科目名	インフォメーション・テクノロジー3 / Information Technology 3		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	合志				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Koshi				冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件 IT2は履修済みであること

内容紹介 情報科で現在開講されているどのコースにもないジャンルに取り組むことができるコースである。このコースでの学習の流れは、各自が取り組みたいテーマを決め、計画を立て、方法を調査し、作品制作を行い、それを発表するという一連の活動を行う。
テーマは学術的な内容でなく、趣味的内容でもかまわない。例えばIT2、IT4での既習の学習内容のなかで、より発展的に取り組みたいものを選んだり、flashや映像制作に取り組んだりすることもできる。制作例としては、ゲーム音楽やキャラクターに凝ったコンピュータゲームソフト、より高度な作曲、コンピュータグラフィックス、スタイルシート、JavaScript、Flash、動画を取り扱うレベルのWebページを作成する、などが挙げられる。取り組みは、個人、グループによる共同作業のどちらでもよい。必ず計画した作品を完成させ、コンテストや学校のWebサイトなどで発表することを目標とする。

備考 9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。取り組み内容によって人数に制限があるため、選択前に必ず情報科へ相談に来ること。授業の初回までに取り組み内容についての意思表示がない場合、希望する内容で取り組めない場合がある。

教科名	情報 － IT	コースコード	CS3IT4M
科目名	インフォメーション・テクノロジー4 / Information Technology 4		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	合志				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
	Koshi				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件 IT1またはIT2を履修済みであること

内容紹介 データ構造とアルゴリズム（問題を解決するための処理手順）の知識と技術、Visual Basicを用いたプログラミング技法の基礎を学習する
（1）データ構造…基本的なデータ型、2次元までの配列
（2）基本的なアルゴリズムを流れ図で表現する…順次処理、選択処理、反復処理、最大値、最小値、整列、順次探索、二分探索のアルゴリズムと、効率的なアルゴリズムとはどういうものかを学ぶ。
（3）Visual Basicによるプログラミング…VBの基本的な操作や効率的なプログラミング作成ができるよう、徹底的にプログラミングの演習を行う。
（4）ゲームプログラミング

備考 コンピュータゲームで遊ぶことと、コンピュータゲームを作ることは全く違う。論理的な思考ができるよう、徹底的に演習を行うので、「ひたすら根気強く考える、取り組む、あきらめない」心構えが必要。9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

教　科　名	情報 － IT	**コースコード**	CS3IT5M
科　目　名	インフォメーション・テクノロジー5 / Information Technology 5		

選択・必修	自由選択	**単位数**	0	**開講時期**	
週間時間数	2	**履修期間**	1 学期		
授業担当者	合志 Koshi				

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　このコースはLEGO　MINDSTORMSを用いて、ロボットの製作とコンピュータ制御について学習する。
(1)ロボットのデザインと組み立て(四輪自動車、二足歩行ロボット、犬ロボットなど)
(2)光センサー、タッチセンサーの組み込み
(3)動かすためのプログラミング
(4)動作の確認

備考　受講希望者が定員を超えた場合は12年生を優先する。9年生も取ることはできるが、この場合高校の卒業単位には入らない。

「総合」科目と「総合科」について

新教育課程に移行した 2005 年度卒業以後の学年では「総合」が必修となり、高等部 3 年間に 3～6 単位の「総合」の授業を履修しなければなりません。3 単位が卒業に必要な単位数ですが、6 単位が「総合」の単位として認められる上限です。つまり、7 単位以上の科目を「総合」として履修しても、6 単位分しか与えられません。この点が他の教科とは異なるので、注意が必要です。

高等部 1 年で必修の、「比較文化」は社会科の科目ですが、その合計 3 単位中 1 単位は「総合」として与えられるので、残りの 2～5 単位分を卒業までに履修することになります。次ページ以降にある高等部の総合科目をよく考えて選択してください。

一つの科目を、本来の科目としても、「総合」の科目としても履修できるものがあります。たとえば、英語の一部、国語の小論文などは、それぞれ「英語」「国語」として履修するのか、「総合」として履修するのかを、授業選択の際に決定・申請しなければならないので気をつけなくてはなりません。

総合(Integrated Studies)の科目は、上記のように文部科学省の打ち出した新教育課程の実施(「総合的な学習」)に伴って設置された科目です。千里国際学園では、開校当初から全ての科目において、これに近い発想で、既成の科目内容にとらわれない授業が各教科で工夫されてきたので、「総合」科目としても、各教科からその教科の科目としても認定できる科目として、多くの授業科目が提供されています。

同時に、教員個人の得意分野を生かした科目、大学との連携から生まれた科目などもここに含まれています。「5 リスペクト」という学園の生活の基本を学ぶ時間は中等部の必修です。さらに「現代文明を考える」というキャンプ実習を伴うユニークな科目、そして 2005 年度からは、開校当初から続く「SIS 夏のキャンプ」も普段の授業ではできない自分の能力を伸展する場、リーダーシップなどを学ぶ「総合」科目として認定することとなりました。

以上のほかにも、「総合」科目には、いくつかの教科教員が連携してカリキュラムを開発し、文字通り「総合」的に学ぶにふさわしい内容を科目として設置しています。そして、2005 年度からは、特にそうした科目開発と運営を中心課題とする「総合科」が設置され、各教科の代表が集まって、以下の科目内容の整理、開発、運営をしています。情報科科目との連携は特に密になっています。これらの科目の目標は、リサーチ・スキルの習得、つまり自分で計画を立てて、調べ、まとめ、発表する力をつけることです。

次の表の科目は、中等部での必修で、コンピュータや図書館・インターネットを利用した勉強の進め方、調査研究、まとめ、発表法を学び、本学園での学び方を訓練する場です。様々な教科の科目では、上級生になるほどテーマだけが与えられることになる課題に、どう取り組んでいけばよいのかを、保健など

の課題の具体例と共に学びます。

	総合	情報
中等部 1 年	「知の探検隊」「保健総合 7：からだ探検」	「コンピュータ基礎 7」
中等部 2 年	「保健総合 8：自分で作る「からだ」」	
中等部 3 年	「保健総合 9：自分で守る「からだ」」	

取り扱う内容は、科目間、学年間で連動していて、何度か繰り返す中でスキルを確実に身に付けるよう、カリキュラムを組み立てています。

総合／情報「情報の技術」「リサーチスキルズ」、情報「コンピュータ基礎」「IT1」「IT0a/0b」

これらの科目は、中等部 3 年から高等部 3 年までの選択科目として、履修することが出来ます。内容は、中等部の「知の探検隊」「コンピュータ基礎」と同等で、中等部で上記の科目を勉強しなかった人のための開講ですが、すでに一度勉強した人も、さらに高いレベルのレポートやプレゼンテーション製作を目指して、履修することも可能です。

現在のところは、このような内容をもつ総合科ですが、これからもさらに工夫を重ね、よりよいカリキュラムを提供していきたいと考えています。

総合科についての質問は、教務センターか、総合科主任　青山まで。

総合 － Integrated Studies

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1SE
科目名	知の探検隊 / Study Explorers		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：
週間時間数：1.5　履修期間：3 学期
授業担当者：宮澤/青山/TBA
Miyazawa/Aoyama/TBA

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件：7年生全員

内容紹介：SISでの学び方を探求する。具体的には、図書館での図書・雑誌・インターネットなどの情報検索法、見つけた情報の集積方法、さらにその中から必要な部分を取りだして練り直し、新たな自分の作品へと作り変えていくプロセスを、1年間かけて様々な角度から訓練する。最終的には、プレゼンテーションをひとりひとりが行い、各自が自分の作品を人に伝えるところまでを体験する。また、互いの作品のプレゼンテーションを見せ合って、評価し合う。

備考：

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1SES
科目名	知の探検隊 理科編 / Study Explorers for Science		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：
週間時間数：1.5　履修期間：3 学期
授業担当者：宮澤/青山/TBA
Miyazawa/Aoyama/TBA

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件：7年生全員

内容紹介：SISでの学び方を探求する。具体的には、図書館での図書・雑誌・インターネットなどの情報検索法、見つけた情報の集積方法、さらにその中から必要な部分を取りだして練り直し、新たな自分の作品へと作り変えていくプロセスを、1年間かけて様々な角度から訓練する。最終的には、プレゼンテーションをひとりひとりが行い、各自が自分の作品を人に伝えるところまでを体験する。また、互いの作品のプレゼンテーションを見せ合って、評価し合う。

備考：

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX15RES
科目名	5リスペクト / 5 Respects		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：
週間時間数：1　履修期間：1 学期
授業担当者：大迫
Osako

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件：

内容紹介：SISでの生活の基本である、「5 Respects」について考え、また具体的な作業を行う。

備考：

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1HE7r
科目名	からだ探検 / G7 Integrated Health		

選択・必修：必修　単位数：　開講時期：
週間時間数：1　履修期間：2 学期
授業担当者：体育科

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☑	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件：

内容紹介：「からだ探検」をして、自分のことを知る。
自分のからだのしくみやどのように成長してきたか、自分は他人とどう違うのか。
思春期にさしかかって、男女の身体がどう変化していくのか。
ジェンダーの問題もからめて考える。
「からだ」のしくみを知り、健康に過ごす方法を考える。

備考：

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1HE8
科目名	自分で作る「からだ」 / G8 Integrated Health		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	1	履修期間	2 学期		春学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
授業担当者	志垣/合志/宮澤				秋学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐
	Shigaki/Koshi/Miyazawa				冬学期	☐	☑	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　Gr.8　保健総合「自分で作るからだ」では、健康と食生活のつながりや脳の働きを、実習、実験を通して学ぶとともに、リサーチ（多くの情報の中から、必要な情報を取り出し、まとめる力）、プレゼンテーション、レポート作成のスキルの習得を目指します。

備考

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1HE3
科目名	自分で守る「からだ」 / G9 Integrated Health		

選択・必修	必修	単位数		開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
授業担当者	泉田				秋学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☑	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　スポーツ障害の予防、生活習慣病、ストレスマネージメント、妊娠、出産、避妊、中絶、HIVをふくめた性感染症といったトピックを扱っていく上で、正しい知識を身につけ、かつ、安全に健康に一生をすごすために、どうしたら自分のからだを守っていけるか、そのための正しい判断と行動ができるように学ぶ。

備考　9年生の間に必ず1回選択する。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1HLR
科目名	情報の技術 / Library and Research		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	青山				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Aoyama				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　10年生以上対象。

内容紹介　「レポート作成技術」の学習を通して、いかにして図書館及びインターネット等の情報源を使いこなしてまとめ、自分のものとして発表するかをトレーニングする。本学園で、また、卒業後も自主的に勉強するのに役立つ技術を身につけるのが目標。
1学期間かけてレポートを作成、プレゼンテーションを行う。

備考　7年次の「知の探検隊」の授業を受けなかった者を主たる対象とするが、学年に応じた内容の指導を行うので、7年次に履修した者も選択できる。
この授業は「情報」または「総合」として選択できる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1RS
科目名	Research Skills / Research Skills		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	合志				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Koshi				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　9年生以上対象。IT1またはIT0aを先に履修していること。

内容紹介　リサーチスキルを「インターネットの効果的な利用」「図書館の徹底的な活用」「インタビューの方法」「アンケートのとり方」の4つに大きく分け、メディアの特性や具体的な情報の入手方法を学びながら、それらのスキルを生かして、「旅行プランの作成」と「身近な社会問題の発見・提案」をテーマに、2回のプレゼンテーションを行います。あらゆる教科でのレポート作成やプレゼンテーションで必ず必要となるスキルを学ぶコースで、7年生の「知の探検隊」の上級コースという位置づけです。各項目ではなるべく多くの演習を行って、スキルの定着を図ります。なお、PowerPointでのスライド作成を初歩から学ぶコースではありませんので、PowerPointでのプレゼンテーション未経験者は、先にIT1またはIT0Bを受講して下さい。

《学習内容》
【インターネット】検索エンジン、調べるためのWebサイトの理解、旅行プランのプレゼンテーション、Web検索演習
【図書館】図書館の特性と機能の理解、図書の分類、図書の検索方法、本、雑誌資料の特性、図書の分類・検索演習
【アンケート】設問設定のコツ、アンケート用紙の作成と実施、Excelを使ったアンケートの集計・分析方法、グラフ表現
【インタビュー】コツや方法の習得、インタビューゲームの実施
【総合演習】アンケート、インターネットを使った調査、企画書の作成、企画のプレゼンテーション

備考　この授業を高等部の生徒が履修する場合には「情報」または「総合」として選択でき、1単位が与えられる。9年生は総合の分野になる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1CS
科目名	文化研究 / Cultural Study		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	大阪外国語大学の教員（とりまとめ 平尾）				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Hirao				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　放課後に、大阪外国語大学の提供する授業に参加し、大学生とともに学習する。4月10日頃から7月の下旬まで週1回、90分の授業を十数回受講することになる。内容に関しては3月に外大から来るリストを調べて選択する。様々な国の研究、文学そして文化論があり、比較思想序説、日本語学、更にこころとからだの科学までいろいろな分野がある。5千円程の受講料がかかる。単位と成績は秋学期に総合科目として与えられる。

備考

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LC5i
科目名	Language and Culture 5: Model United Nations i		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
授業担当者	Avery				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。

備考　Open to i level.
Although this course is in spring, it will be very helpful if students could let me know if they plan to the course in February. The reason for this is because we need to apply for seats at the MUN and I need to know how many students from SIS will be attending. Thank you.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LC5h
科目名	Language and Culture 5: Model United Nations h		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	5	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Avery				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。

備考　Open to h and h+ level.
Although this course is in winter, it will be very helpful if students could let me know if they plan to the course in September. The reason for this is because we need to apply for seats at the MUN and I need to know how many students from SIS will be attending. Thank you.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LC7ih
科目名	Language and Culture 7: Bilingualism		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	井藤				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Ito				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。

備考　以前はhレベルのコースとしていましたが、iレベルの人でもこの内容に興味がある人にはぜひ履修していただきたいと思い、i,hレベル両方にオープンしています。ただし、リーディング資料とエッセイライティングの課題はhクラスのレベルにあわせている、ということを理解しておいて下さい。尚、iレベルで履修する人は必ず事前に相談に来て下さい。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LC8ih
科目名	Language and Culture 8 : English Through Music		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	難波K				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	K. Namba				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。

備考　s, i, hレベル対象
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LC9ih
科目名	Language and Culture 9: An Introduction to Cultural Psychology		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	山本				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Yamamoto				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。

備考　Open to h level, i level with permission.
i, h両方向けとなっているが，授業は基本的に全て英語で行われ，題材もhレベルのものになるので，iレベルの人は履修前に話にきて，内容の確認をして欲しい。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 – Integrated Studies	コースコード	EX1LC18h
科目名	Language and Culture 18: Research Writing h		

選択・必修　自由選択　単位数　2　開講時期
週間時間数　4　履修期間　1 学期
授業担当者　Brown

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。
備考　Open to grades 10-12, h and h+ levels.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 – Integrated Studies	コースコード	EX1LC21ih
科目名	言語学入門 / Language and Culture 21: An Introduction to Linguistics		

選択・必修　自由選択　単位数　1　開講時期
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　難波K
K. Namba

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件
内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。
備考　Open to h+, h, i
Readingの題材は、h, h+向けであるので、i レベルの生徒は、そのつもりでとること。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 – Integrated Studies	コースコード	EX1LC22i
科目名	Language and Culture 22: Schindler's List		

選択・必修　自由選択　単位数　2　開講時期
週間時間数　5　履修期間　1 学期
授業担当者　Mills

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。
備考　Open to G10-12 i level.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 – Integrated Studies	コースコード	EX1LC26h
科目名	Language and Culture 26:Nonfiction II:Social & Historical Issues		

選択・必修　自由選択　単位数　1　開講時期
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　Brown

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。
備考　Open to h and h+ levels. Nonfiction I (LC16) is a different course, a companion to Nonfiction II, but the texts studied focus on personal and cultural issues; you can take this course even if you have taken LC16H, Nonfiction I.
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 – Integrated Studies	コースコード	EX1LC28i
科目名	Language and Culture 28: Media in English		

選択・必修　自由選択　単位数　1　開講時期
週間時間数　3　履修期間　1 学期
授業担当者　Namba, F.

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。
備考　この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LC36i
科目名	Language and Culture 36: Topics for Today		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	3	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Ray				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Ray				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい。

備考　この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LL14h
科目名	Language and Literature 14: Native Americans in Literature		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	Ray				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
					冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　内容はENから始まる同じコースコードの英語科の科目を参照して下さい

備考　Open to G10-12 h and h+ level.
奇数年のみに開講される。
この授業は選択時に「英語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LT
科目名	論理的な思考 / Logical Thinking		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	真砂				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Masago				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　この授業は考える力をつけることを目標としている。
授業内容としては、楽しみながら、順序立てて考えを整理し、組み立てていくゲームや論理パズルを中心に据えている。一方、言葉の論理的な繋がりの重要性も無視できないことから、接続関係の学習を取り入れたり、2進法のように数学的な題材を使ったりすることも考えている。
例えば、次のような問題を期末試験に出した。～ か輔、き輔、く輔 の3人がいます。このうち真実を述べるのはひとりだけです。か輔が「き輔はうそつきだ。」と言いました。この発言から く輔 について何がわかりますか？　説明して答えなさい。～
とにかく早く答えさえ出ればいいとか、じっくり考えるのが面倒だとかいう人は退屈するかもしれない。しかし、そういう人にこそ、やる気になって取ってほしい授業だ。

備考　必要とおもわれる学期に不定期に開講される。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1LTM
科目名	論理的な思考 / Logical Thinking		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	真砂				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Masago				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　この授業は考える力をつけることを目標としている。
授業内容としては、楽しみながら、順序立てて考えを整理し、組み立てていくゲームや論理パズルを中心に据えている。一方、言葉の論理的な繋がりの重要性も無視できないことから、接続関係の学習を取り入れたり、2進法のように数学的な題材を使ったりすることも考えている。
例えば、次のような問題を期末試験に出した。～ か輔、き輔、く輔 の3人がいます。このうち真実を述べるのはひとりだけです。か輔が「き輔はうそつきだ。」と言いました。この発言から く輔 について何がわかりますか？　説明して答えなさい。～
とにかく早く答えさえ出ればいいとか、じっくり考えるのが面倒だとかいう人は退屈するかもしれない。しかし、そういう人にこそ、やる気になって取ってほしい授業だ。

備考　必要とおもわれる学期に不定期に開講される。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1MR
科目名	数学講読 / Math Reading		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	馬場				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　興味のある数学の話題を各自で決め、それについて易しい本を読んだり、インターネットで調べたりしてレポートする。

備考　この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1PM
科目名	物理数学 / Physics Math		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	高橋				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
					冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　数学Ⅰα・Ⅰβを修得済みの者。

内容紹介　物理で学習する諸法則の公式などを、数学的に導き、それを利用して問題を解いていく。所定の教科書・またはプリントを使って授業を行う。また、レポート課題を課す。筆記試験は行わない。

備考　履修条件は上記の通りであるが、特に将来物理を履修する予定の者か、現在物理を履修中、および既に物理Ⅰaまたは物理Ⅰbまたは物理Ⅱを修得済みの者が望ましい。
この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1WU
科目名	世界理解 / Global Understanding		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	1	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	大迫				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Osako				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介

備考

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1RMC
科目名	現代文明を見つめ直す / Modern Conveniences: New Perspective, New Appreciation		

選択・必修	自由選択	単位数	2	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	平井/田中守/木村/真砂				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Hirai/M. Tanaka/Kimura/Masago				冬学期	☐	☐	☐	☑	☐	☐

履修条件

内容紹介　冬学期の週二時間の授業と春休み中の一週間程度の実習の両方に参加する。

備考　10年生を対象とする。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1TC
科目名	茶道 / Tea Ceremony		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	中村鏡・木村				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	K. Nakamura/Kimura				冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件

内容紹介　茶道を日本の文化や美意識の結集した究極のもてなしととらえ、茶道の基礎知識を身につけることで、日本文化の理解を深めることを学習の目標とする。また、茶道のこころに触れることを通して、人に対する心遣いを学ぶ場としたい。
授業内容は講義と実技週一時間ずつの割合で構成する。講義では茶道の歴史や精神、茶道で使われる言葉や季節の言葉、茶室や茶道具の基礎知識を中心に学習する。実技では茶席での心得や客としての作法を身につけ、基本的なお点前（盆略点前）ができるようになることを目指す。
他、茶菓代は実費を引き落としで徴収する。

備考　使用テキスト　千 宗室 監修『学校茶道（初級編）』

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1CP
科目名	キャンプ総合 / Integrated Camp		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数		履修期間	学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
授業担当者	各キャンプのディレクター教員				秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
	Director teacher of each camp				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　1．秋学期の科目選択時(5月)に、生徒自身が申請、科目登録したキャンプのみ単位として認める。
2．キャンプの評価は，秋学期の他の科目と同時にディレクターが提出。　3．単位として認めるのは、高校3年間で1単位、1回のキャンプのみ。
4．2005年度から実施。

内容紹介　「SIS夏のキャンプ」のうち、下記のガイドラインに沿った内容でディレクター教員が実施すると決めたキャンプに登録、参加することで、総合の単位1を認める。

高等学校単位認定のガイドライン

・実活動時間が30時間以上
　例：2泊3日+準備ミーティング6時間
・準備ミーティング　1回以上
・レポート提出

各キャンプの内容詳細は、毎年別途配布される案内を参照のこと。

備考

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1CH
科目名	保育 / Child Care		

選択・必修	自由選択	単位数	1	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
授業担当者	泉田				秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Izumida				冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件

内容紹介　内容はHFから始まる同じコースコードの生活科学科の科目を参照して下さい。

備考　この授業は選択時に「生活科学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1SSMT
科目名	スタディ・スキルズ（ミラクル・タイプ） / Study Skills (Miracle Type)		

選択・必修：自由選択　単位数：2　開講時期
週間時間数：4　履修期間：1 学期
授業担当者：宗正 Munemasa

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	□	□

履修条件：授業担当者、または科目や担任の先生方から受講のお勧めをもらった生徒や、9年生、10年生のうちの選択希望者。

内容紹介：特に学習の方法や、教科ごとの学習の考え方、学習のための環境作りが身についていなかったりするために、学力が思うように伸びない生徒に対して、学習のヒントを与えたり、学習のヘルプを行う。
集まった生徒の現状に合わせて学習内容を決めていくが、これまでの例としては、食事管理やスケジュール管理、パズルやクイズ・ゲームを用いての学習の組み立て、記憶力や推理力の鍛え方、語彙の増やし方、学習の整理の仕方、苦手教科の学習方法、やる気の起こし方、レポート作成の仕方、テスト準備の仕方、などを中心に学んだ。個人別臨時家庭教師の時間も設けた。君の学習に「ミラクル」を起こそう！
科目の性格上、段階的な成績はつけず、単位取得の有無のみの判定となる。

備考：原則として、少人数で運営する。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX3e
科目名	小論文 / Composition		

選択・必修：自由選択　単位数：1　開講時期
週間時間数：2　履修期間：1 学期
授業担当者：国語科（担当者は時間割を見て確認してください）

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	☑
秋学期	□	□	□	□	□	☑
冬学期	□	□	□	□	☑	☑

履修条件：

内容紹介：内容はJNから始まる同じコースコードの国語科の科目を参照して下さい。

備考：この授業は選択時に「国語」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1CO
科目名	カラーコーディネート / Color Coordination		

選択・必修：自由選択　単位数：1　開講時期
週間時間数：2　履修期間：1 学期
授業担当者：泉田 Izumida

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	☑	☑	☑
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件：

内容紹介：内容はHFから始まる同じコースコードの生活科学科の科目を参照して下さい。

備考：この授業は選択時に「生活科学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1MA
科目名	Marketing / Marketing		

選択・必修：自由選択　単位数：1　開講時期
週間時間数：2　履修期間：1 学期
授業担当者：宮澤 Miyazawa

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	□	□	□	□	□	□
秋学期	□	□	□	□	□	□
冬学期	□	□	□	☑	☑	☑

履修条件：対象：9年生以上　且つIT1(IT0a)を履修していること。

内容紹介：このコースは「いかにして商品が販売されているのか」、「いかにして商品を販売するのか」を、様々な視点から学ぶことを目標とする。
「商品の流通」や「広告宣伝」などを学び、ネット上にオンラインショップを開設運営してもらい、売上や来客数などをレポートしてもらう。

（1）広告・宣伝
広告や宣伝の方法を学び、実際にPOPを作成する。
（2）流通の仕組み
店舗の立地や商品が生産者からどのような流通過程を通じて消費者に届くのかを学ぶ。
（3）Web2.0
従来のインターネットとの違いは何か、それをいかにマーケティングに活かすのかを学ぶ。
（4）アフィリエイト
インターネット上のアフィリエイトプログラムの内容を学び、実際に開設、運営し売上、来客数などをExcelにて分析し、レポートにまとめる。

備考：この授業は選択時に「情報」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1P
科目名	数学的思考力を鍛える演習 / Mathematics Seminar		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　平尾
Hirao

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件
内容紹介
備考　この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1SH78i
科目名	Grade 7/8i Study Hall		

選択・必修　自由選択　単位数
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　ブラウン
Brown

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件
内容紹介
備考

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1SH78h
科目名	Grade 7/8h Study Hall		

選択・必修　自由選択　単位数
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　ブラウン
Brown

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件
内容紹介
備考

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1SH78hp
科目名	Grade 7/8hp Study Hall		

選択・必修　自由選択　単位数
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　エイブリー
Avery

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件
内容紹介
備考

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1IBME
科目名	IB Math Extraction / IB Math Extraction		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　3　履修期間　1 学期
授業担当者　馬場
Baba

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☑	☑

履修条件　数学ⅠⅡABの内容を学習済みが望ましい
内容紹介　IB Math の中で日本の高校数学で扱われていないものを抜粋して学習し、世界標準の高校数学の知識獲得を目指します。主な内容は、複素数平面、ベクトルの外積、空間図形の方程式、行列式、一次変換、逆三角関数の微分積分、微分方程式など。IB Math の教科書を使用しますが、講義は日本語で行います。
備考　この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1RSM
科目名	Research Skills / Research Skills		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	合志				秋学期	□	□	☑	□	□	□
	Koshi				冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　9年生以上対象。IT1またはIT0aを先に履修していること。

内容紹介　リサーチスキルを「インターネットの効果的な利用」「図書館の徹底的な活用」「インタビューの方法」「アンケートのとり方」の4つに大きく分け、メディアの特性や具体的な情報の入手方法を学びながら、それらのスキルを生かして、「旅行プランの作成」と「身近な社会問題の発見・提案」をテーマに、2回のプレゼンテーションを行います。あらゆる教科でのレポート作成やプレゼンテーションで必ず必要となるスキルを学ぶコースで、7年生の「知の探検隊」の上級コースという位置づけです。各項目ではなるべく多くの演習を行って、スキルの定着を図ります。なお、PowerPointでのスライド作成を初歩から学ぶコースではありませんので、PowerPointでのプレゼンテーション未経験者は、先にIT1またはIT0Bを受講して下さい。

《学習内容》
【インターネット】検索エンジン、調べるためのWebサイトの理解、旅行プランのプレゼンテーション、Web検索演習
【図書館】図書館の特性と機能の理解、図書の分類、図書の検索方法、本、雑誌資料の特性、図書の分類・検索演習
【アンケート】設問設定のコツ、アンケート用紙の作成と実施、Excelを使ったアンケートの集計・分析方法、グラフ表現
【インタビュー】コツや方法の習得、インタビューゲームの実施
【総合演習】アンケート、インターネットを使った調査、企画書の作成、企画のプレゼンテーション

備考　この授業を高等部の生徒が履修する場合には「情報」または「総合」として選択でき、1単位が与えられる。9年生は総合の分野になる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1MAM
科目名	Marketing / Marketing		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	宮澤				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Miyazawa				冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　対象：9年生以上　且つIT1(IT0a)を履修していること。

内容紹介　このコースは「いかにして商品が販売されているのか」、「いかにして商品を販売するのか」を、様々な視点から学ぶことを目標とする。
「商品の流通」や「広告宣伝」などを学び、ネット上にオンラインショップを開設運営してもらい、売上や来客数などをレポートしてもらう。

(1)広告・宣伝
広告や宣伝の方法を学び、実際にPOPを作成する。
(2)流通の仕組み
店舗の立地や商品が生産者からどのような流通過程を通じて消費者に届くのかを学ぶ。
(3)Web2.0
従来のインターネットとの違いは何か、それをいかにマーケティングに活かすのかを学ぶ。
(4)アフィリエイト
インターネット上のアフィリエイトプログラムの内容を学び、実際に開設、運営し売上、来客数などをExcelにて分析し、レポートにまとめる。

備考　この授業は選択時に「情報」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1SSMTM
科目名	スタディ・スキルズ（ミラクル・タイプ） / Study Skills (Miracle Type)		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	4	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	宗正				秋学期	□	□	□	□	□	□
	Munemasa				冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　授業担当者、または科目や担任の先生方から受講のお勧めをもらった生徒や、9年生、10年生のうちの選択希望者。

内容紹介　特に学習の方法や、教科ごとの学習の考え方、学習のための環境作りが身についていなかったりするために、学力が思うように伸びない生徒に対して、学習のヒントを与えたり、学習のヘルプを行う。
集まった生徒の現状に合わせて学習内容を決めていくが、これまでの例としては、食事管理やスケジュール管理、パズルやクイズ・ゲームを用いての学習の組み立て、記憶力や推理力の鍛え方、語彙の増やし方、学習の整理の仕方、苦手教科の学習方法、やる気の起こし方、レポート作成の仕方、テスト準備の仕方、などを中心に学んだ。個人別臨時家庭教師の時間も設けた。君の学習に「ミラクル」を起こそう！
科目の性格上、段階的な成績はつけず、単位取得の有無のみの判定となる。

備考　原則として、少人数で運営する。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1MRM
科目名	数学講読 / Math Reading		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	馬場				秋学期	□	□	□	□	□	□
					冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件　中学数学3を修得済みの者。

内容紹介　興味のある数学の話題を各自で決め、それについて易しい本を読んだり、インターネットで調べたりしてレポートする。

備考　この授業は選択時に「数学」として取るか「総合」として取るかがコースコードによって決まる。

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1TCM
科目名	茶道 / Tea Ceremony		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	□	□	□	□
授業担当者	中村鏡・木村				秋学期	□	□	□	□	□	□
	K. Nakamura/Kimura				冬学期	□	□	☑	□	□	□

履修条件

内容紹介　茶道を日本の文化や美意識の結集した究極のもてなしととらえ、茶道の基礎知識を身につけることで、日本文化の理解を深めることを学習の目標とする。また、茶道のこころに触れることを通して、人に対する心遣いを学ぶ場としたい。
授業内容は講義と実技週一時間ずつの割合で構成する。講義では茶道の歴史や精神、茶道で使われる言葉や季節の言葉、茶室や茶道具の基礎知識を中心に学習する。実技では茶席での心得や客としての作法を身につけ、基本的なお点前（盆略点前）ができるようになることを目指す。
他、茶菓代は実費を引き落としで徴収する。

備考　使用テキスト　千 宗室 監修『学校茶道（初級編）』

教科名	総合 － Integrated Studies	コースコード	EX1HLRM
科目名	情報の技術 / Library and Research		

選択・必修	自由選択	単位数	0	開講時期	学年	7	8	9	10	11	12
週間時間数	2	履修期間	1 学期		春学期	□	□	☑	□	□	□
授業担当者	青山				秋学期	□	□	☑	□	□	□
	Aoyama				冬学期	□	□	□	□	□	□

履修条件　10年生以上対象。

内容紹介　「レポート作成技術」の学習を通して、いかにして図書館及びインターネット等の情報源を使いこなしてまとめ、自分のものとして発表するかをトレーニングする。本学園で、また、卒業後も自主的に勉強するのに役立つ技術を身につけるのが目標。
1学期間かけてレポートを作成、プレゼンテーションを行う。

備考　7年次の「知の探検隊」の授業を受けなかった者を主たる対象とするが、学年に応じた内容の指導を行うので、7年次に履修した者も選択できる。
この授業は「情報」または「総合」として選択できる。

第二外国語の履修について

第二外国語は帰国生が海外で学んできた英語、日本語以外の言語を千里国際学園に入学した後も保持、伸長したいという目的のためにつくられた講座です。一般の授業とは区別して、音楽のプライベートレッスンのように、少人数で別料金を徴収し、講師の方々をお呼びして開講しています。

現在は次の五つの言語について授業が行われています。

中国語、　フランス語、　ドイツ語、　スペイン語、　韓国語

全くの初心者が授業を取ることができるようになるのは、高等部 1 年生の秋学期からになります。これを LEVEL1 と呼び、冬学期の LEVEL2、春学期の LEVEL3 へと続けていくことができます。

これらが終了した生徒や既習者は、中上級になります。初めて授業を取る中上級者は事前に担当教員と面談の上、レベルチェックを受けて下さい。中上級者は次の学期の授業選択が終わり、時間割を確認する段階で担当者と次学期の授業時間を決めることになります。基本は放課後ですが、うまく時間が見つかれば、他の授業のない時間に入れることもできます。

1 学期間の受講料は以下のようになります。

週 4 時間　64,000 円　(一学期 48 時間)
週 3 時間　48,000 円　(一学期 36 時間)
週 2 時間　32,000 円　(一学期 24 時間)

<u>この授業は、学期ごとに履修届を書き、保護者の署名をもらって、生徒インフォメーションセンターに提出して初めての登録が完了します。</u>

第二外国語 － Modern Languages

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3CH1
科目名	中国語 Level 1 ／ Chinese Level 1		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　柳
Liu

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　初めて中国語を学ぶ人のための授業。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3CH2
科目名	中国語 Level 2 ／ Chinese Level 2		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　柳
Liu

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Level 1を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 1の続き。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3CH3
科目名	中国語 Level 3 ／ Chinese Level 3		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　柳
Liu

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☑	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Level 2を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 2の続き。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3CHAF
科目名	中国語 ／ Chinese After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　柳
Liu

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3FR1
科目名	フランス語 Level 1 ／ French Level 1		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　ターラー
Turlur

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　初めてフランス語を学ぶ人のための授業。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3FR2
科目名	フランス語 Level 2 ／ French Level 2		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　ターラー
Turlur

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Level 1を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 1の続き。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3FR3
科目名	フランス語 Level 3 ／ French Level 3		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　ターラー
Turlur

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Level 2を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 2の続き。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3FRAF
科目名	フランス語 ／ French After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　ターラー
Turlur

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3GM1
科目名	ドイツ語 Level 1 ／ German Level 1		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　桂木
Katsuragi

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　初めてドイツ語を学ぶ人のための授業。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3GM2
科目名	ドイツ語 Level 2 ／ German Level 2		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　桂木
Katsuragi

開講時期 学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Level 1を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 1のつづき。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3GM3
科目名	ドイツ語 Level 3 / German Level 3		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　桂木
Katsuragi

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Level 2を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 2のつづき。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3GMAF
科目名	ドイツ語 / German After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　桂木
Katsuragi

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3SP1
科目名	スペイン語 Level 1 / Spanish Level 1		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　ムニョス
Munoz

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件
内容紹介　初めてスペイン語を学ぶ人のための授業。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3SP2
科目名	スペイン語 Level 2 / Spanish Level 2		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　ムニョス
Munoz

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Level 1を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 1のつづき。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3SP3
科目名	スペイン語 Level 3 / Spanish Level 3		

選択・必修　自由選択　　単位数　1
週間時間数　3　　履修期間　1 学期
授業担当者　ムニョス
Munoz

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Level 2を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 2のつづき。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3SPAF
科目名	スペイン語 / Spanish After School		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　ムニョス
Munoz

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3KO1
科目名	韓国語 Level 1 / Korean Level 1		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　3　履修期間　1 学期
授業担当者　趙
Cho

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　なし
内容紹介　初めて韓国語を学ぶ人のための授業。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3KO2
科目名	韓国語 Level 2 / Korean Level 2		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　3　履修期間　1 学期
授業担当者　趙
Cho

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　Level 1を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 1のつづき。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3KO3
科目名	韓国語 Level 3 / Korean Level 3		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　3　履修期間　1 学期
授業担当者　趙
Cho

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐
冬学期	☐	☐	☐	☐	☐	☐

履修条件　Level 2を履修、もしくはそれと同等以上の者。
内容紹介　Level 2のつづき。
備考

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3KOAF
科目名	韓国語 / Korean After School		

選択・必修　自由選択　単位数　1
週間時間数　2　履修期間　1 学期
授業担当者　趙
Cho

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
秋学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑
冬学期	☐	☐	☐	☑	☑	☑

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3CHAFM
科目名	中国語 / Chinese After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　0
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　柳
Liu

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3FRAFM
科目名	フランス語 / French After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　0
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　ターラー
Turlur

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3GMAFM
科目名	ドイツ語 / German After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　0
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　桂木
Katsuragi

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3SPAFM
科目名	スペイン語 / Spanish After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　0
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　ムニョス
Munoz

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。

教科名	第二外国語 － Modern Languages	コースコード	ML3KOAFM
科目名	韓国語 / Korean After School		

選択・必修　自由選択　　単位数　0
週間時間数　2　　履修期間　1 学期
授業担当者　趙
Cho

開講時期

学年	7	8	9	10	11	12
春学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
秋学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐
冬学期	☑	☑	☑	☐	☐	☐

履修条件　既習生のみ。
内容紹介　中・上級、各レベルのグループに分けて放課後を中心に授業をする。
備考　レベルと開講時間は担当者と事前に相談してから授業登録する。